平　成　24　年　度

広　島　市　病　院　事　業　会　計

決　算　審　査　意　見　書

広　島　市　監　査　委　員

広 監 第 ４ ８ 号
平成２５年９月６日

広島市長　　松　井　一　實　様

広島市監査委員　佐　伯　克　彦
同　　井　上　周　子
同　　永　田　雅　紀
同　　安　達　千代美

平成２４年度広島市病院事業決算審査意見について

地方公営企業法第３０条第２項の規定により審査に付された平成２４年度広島市病院事業の決算並びに証書類，事業報告書及び政令で定めるその他の書類について，審査を終了したので次のとおり意見を提出する。

目　　次

ページ

第１　審査の対象 ･･････ 1
第２　審査の期間 ･･････ 1
第３　審査の方法 ･･････ 1
第４　審査の結果 ･･････ 1
１　業務の状況 ･･････ 2
(1)　診療科目数及び病床数 ･･････ 2
(2)　患者数 ･･････ 2
(3)　病床利用率 ･･････ 2
２　予算の執行状況 ･･････ 5
(1)　収益的収入及び支出 ･･････ 5
(2)　資本的収入及び支出 ･･････ 7
(3)　企業債の状況 ･･････ 10
(4)　一般会計からの繰入状況 ･･････ 12
３　経営成績 ･･････ 13
(1)　収支の状況 ･･････ 13
(2)　収益について ･･････ 17
(3)　費用について ･･････ 21
(4)　損益及び医業収支比率等の状況 ･･････ 28
(5)　広島市民病院の経営成績 ･･････ 30
(6)　舟入病院の経営成績 ･･････ 40
(7)　リハビリテーション病院の経営成績 ･･････ 50
(8)　安佐市民病院の経営成績 ･･････ 59
(9)　安芸市民病院の経営成績 ･･････ 69
４　財政状態 ･･････ 79
(1)　資産・負債・資本の状況 ･･････ 79
(2)　欠損金等の状況 ･･････ 81
(3)　運転資金の状況 ･･････ 82
５　キャッシュ・フローの状況 ･･････ 83
６　むすび ･･････ 84

資料編 ･･････ 87

（注）
1　本文中及び図表中の額は，原則として，億円又は万円単位とし，単位未満の端数を切り捨てている。したがって，内訳を合計した額が合計欄の額等と一致しない場合がある。
2　上記の額以外の数値は，原則として，表示単位未満の端数を四捨五入している。したがって，内訳を合計した数値が合計の数値と一致しない場合がある。また，病床利用率等の比率の増減については，四捨五入した比率を基に求めている。
3　消費税及び地方消費税相当分の取扱いについては，原則として除いているが，含んでいる場合はその旨を注記している。

平成 24 年度広島市病院事業決算審査意見

第１　審査の対象

１　決算

平成 24 年度広島市病院事業決算

２　決算附属書類

⑴　平成 24 年度証書類

⑵　平成 24 年度広島市病院事業報告書

⑶　その他の書類

ア　平成 24 年度広島市病院事業収益費用明細書

イ　同　　固定資産明細書

ウ　同　　企業債・長期借入金明細書

第２　審査の期間

平成 25 年 7 月 4 日から同年 8 月 21 日まで

第３　審査の方法

審査は，市長から審査に付された決算並びに事業報告書及びその他の書類について，地方公営企業関係法令に準拠して作成されているかを確認し，証書類と照合審査するとともに，細部にわたっては，関係職員から説明を聴取するなどにより実施した。

第４　審査の結果

決算並びに事業報告書及びその他の書類は，いずれも地方公営企業関係法令に準拠して適正に作成されており，証書類と照合審査の結果，その計数は正確であり，かつ，当年度の経営成績と当年度末現在の財政状態を明瞭に表示していることを認めた。経営成績，財政状態等及びそれに対する意見は，次に述べるとおりである。

1　業務の状況

(1) 診療科目数及び病床数

平成 24 年度末の病院（広島市民病院，舟入病院，リハビリテーション病院，安佐市民病院及び安芸市民病院）全体の診療科目数は延べ 80 科で，病床数は 1,700 床である。

資料編
P92-93,
P108-109,
P124-125,
P138-139,
P154-155

平成24年度末の診療科目数及び病床数は，平成23年度末と同数である。

(2) 患者数

年間患者延数は 130 万 2,421 人で，その内訳は入院が 54 万 8,132 人，外来が 75 万 4,289 人となっており，平成 23 年度と比べて入院が 9,922 人，外来が 6,437 人減少している。

資料編
P92-93,
P108-109,
P124-125,
P138-139,
P154-155

平成24年度の年間患者延数は，平成23年度と比べて1万6,359人（1.2%）減少し，5病院すべてで減少している。

入院・外来別の過去5年間の推移を見ると，入院患者延数は平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少しており，外来患者延数は年々減少している。

(3) 病床利用率

病床利用率は，安芸市民病院は 94.1%で平成 23 年度と比べて上昇している。広島市民病院は 96.3%，リハビリテーション病院は 92.0%，安佐市民病院は 87.7%，舟入病院は 74.5%で，平成 23 年度と比べていずれも低下している。

資料編
P92-93,
P108-109,
P124-125,
P138-139,
P154-155

平成24年度の病床利用率は，平成23年度と比べて，安芸市民病院は入院患者延数が増加したことなどから上昇しているが，他の4病院は入院患者延数の減少などにより低下している。

病床利用率の過去5年間の推移を病院別に見ると，広島市民病院及び舟入病院は平成23年度までは上昇していたが，平成24年度は低下している。リハビリテーション病院は平成22年度までは上昇していたが，平成23年度以降は低下している。安佐市民病院は平成22年度を除き低下している。安芸市民病院は平成23年度までは低下していたが，平成24年度は上昇している。

第1表　業務の状況

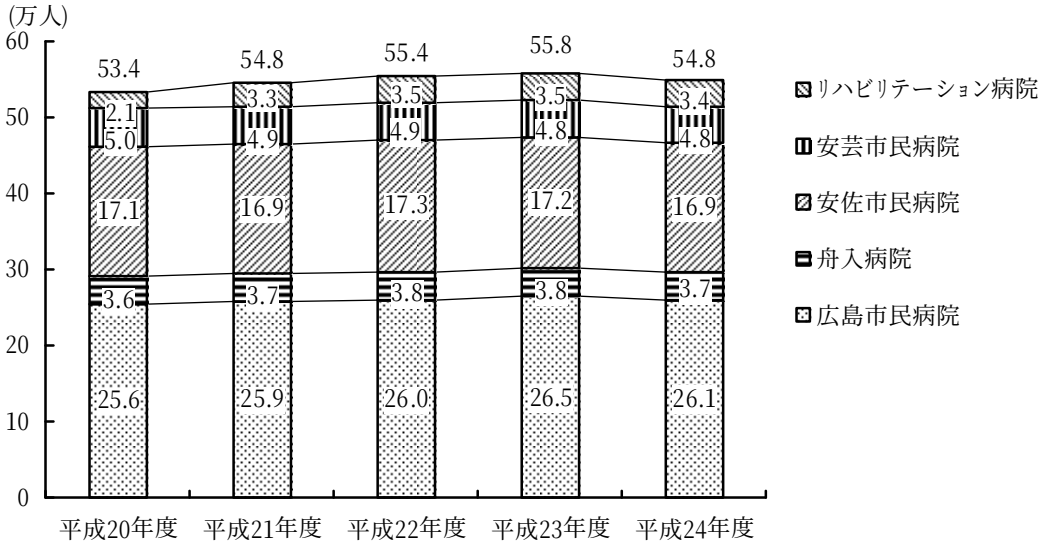
区分		単位	平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率（%）
病院全体	診療科目数	科	80	80	0	0.0
	病床数	床	1,700	1,700	0	0.0
	年間患者延数	人	130万2,421	131万8,780	△ 1万6,359	△ 1.2
	入院	人	54万8,132	55万8,054	△ 9,922	△ 1.8
	外来	人	75万4,289	76万　726	△ 6,437	△ 0.8
	1日平均患者数					
	入院	人	1,502	1,525	△ 23	△ 1.5
	外来	人	3,035	3,057	△ 22	△ 0.7

第1-2表　業務の状況（病院別）

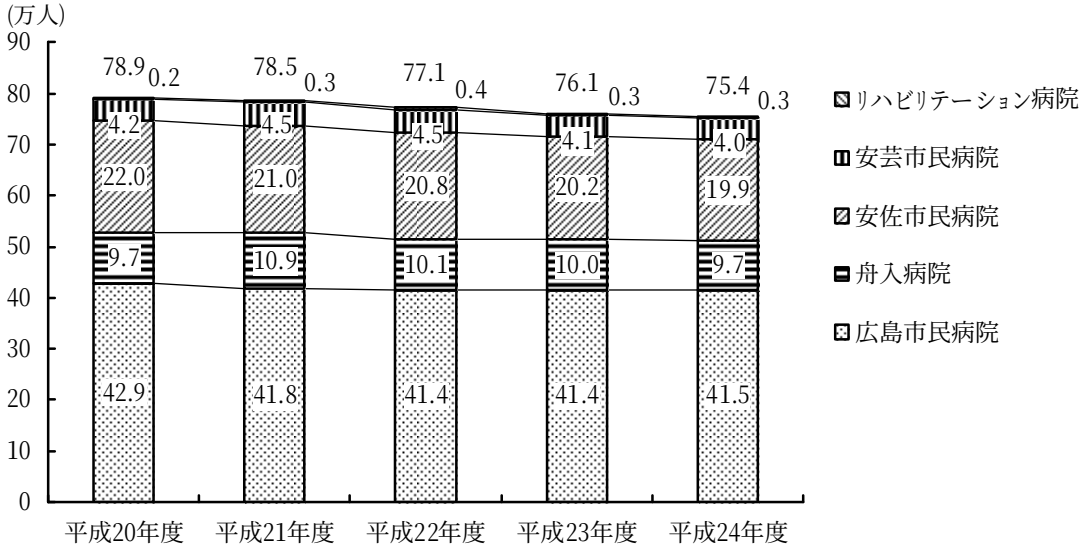
区分		単位	平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率（%）
広島市民病院	診療科目数	科	28	28	0	0.0
	病床数	床	743	743	0	0.0
	年間患者延数	人	67万6,598	67万8,687	△ 2,089	△ 0.3
	入院	人	26万1,177	26万5,115	△ 3,938	△ 1.5
	外来	人	41万5,421	41万3,572	1,849	0.4
	1日平均患者数					
	入院	人	716	724	△ 8	△ 1.1
	外来	人	1,703	1,695	8	0.5
	病床利用率	%	96.3	97.5	△ 1.2	－
	平均在院日数	日	12.3	12.5	△ 0.2	△ 1.6
舟入病院	診療科目数	科	14	14	0	0.0
	病床数	床	190	190	0	0.0
	年間患者延数	人	13万3,050	13万8,441	△ 5,391	△ 3.9
	入院	人	3万6,502	3万7,988	△ 1,486	△ 3.9
	外来	人	9万6,548	10万　453	△ 3,905	△ 3.9
	1日平均患者数					
	入院	人	100	104	△ 4	△ 3.8
	外来	人	338	351	△ 13	△ 3.7
	病床利用率	%	74.5	77.5	△ 3.0	－
	平均在院日数	日	10.0	10.1	△ 0.1	△ 1.0
リハビリテーション病院	診療科目数	科	9	9	0	0.0
	病床数	床	100	100	0	0.0
	年間患者延数	人	3万6,946	3万8,450	△ 1,504	△ 3.9
	入院	人	3万3,586	3万5,006	△ 1,420	△ 4.1
	外来	人	3,360	3,444	△ 84	△ 2.4
	1日平均患者数					
	入院	人	92	96	△ 4	△ 4.2
	外来	人	14	14	0	0.0
	病床利用率	%	92.0	95.6	△ 3.6	－
	平均在院日数	日	77.3	78.1	△ 0.8	△ 1.0
安佐市民病院	診療科目数	科	23	23	0	0.0
	病床数	床	527	527	0	0.0
	年間患者延数	人	36万8,202	37万3,854	△ 5,652	△ 1.5
	入院	人	16万8,774	17万2,043	△ 3,269	△ 1.9
	外来	人	19万9,428	20万1,811	△ 2,383	△ 1.2
	1日平均患者数					
	入院	人	462	470	△ 8	△ 1.7
	外来	人	817	827	△ 10	△ 1.2
	病床利用率	%	87.7	89.2	△ 1.5	－
	平均在院日数	日	12.6	13.2	△ 0.6	△ 4.5
安芸市民病院	診療科目数	科	6	6	0	0.0
	病床数	床	140	140	0	0.0
	年間患者延数	人	8万7,625	8万9,348	△ 1,723	△ 1.9
	入院	人	4万8,093	4万7,902	191	0.4
	外来	人	3万9,532	4万1,446	△ 1,914	△ 4.6
	1日平均患者数					
	入院	人	132	131	1	0.8
	外来	人	163	170	△ 7	△ 4.1
	病床利用率	%	94.1	93.5	0.6	－
	平均在院日数	日	40.9	41.9	△ 1.0	△ 2.4

（注）　病床利用率及び平均在院日数は，舟入病院にあっては感染症病床の50床及び原爆被爆者健康診断優先の4床(平成25年1月31日以前は6床)を除いて算出している。

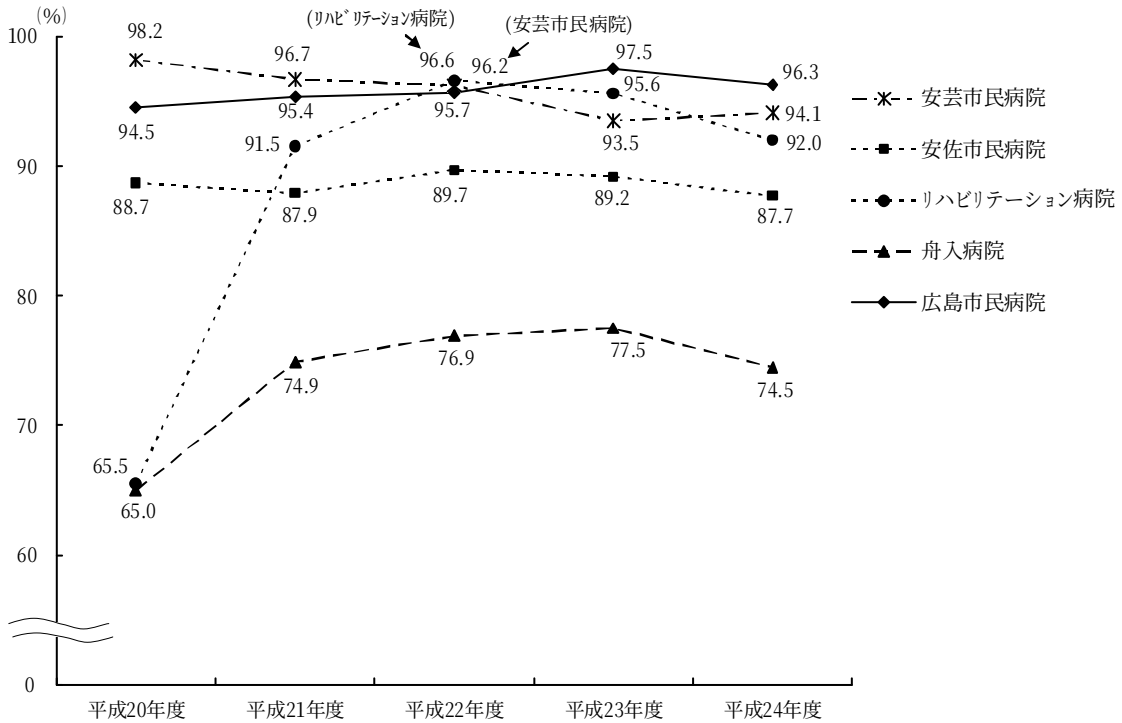
第1図　年間入院患者延数の推移



第2図　年間外来患者延数の推移



第3図　病床利用率の推移



2　予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は，決算額 501 億 2,753 万円で，予算額を 7 億 888 万円下回っている。また，収益的支出は，決算額 492 億 6,110 万円で，不用額 19 億 7,573 万円となっている。

ア　収益的収入

予算額と決算額の差の主なものは医業収益であり，広島市民病院等で入院収益が見込みを下回ったことなどによるものである。

第2表　予算の執行状況（収益的収入）

区分	予算額（A）		決算額（B）		予算額に対する決算額の増△減（B－A）	
	億	万円	億	万円	億	万円
医業収益	477	4456	470	4740	△ 6	9716
医業外収益	30	9184	30	6545	△	2639
特別利益		0		1467		1466
計	508	3641	501	2753	△ 7	0888

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第2-2表　予算の執行状況（収益的収入：病院別）

区分		予算額（A）		決算額（B）		予算額に対する決算額の増△減（B－A）	
		億	万円	億	万円	億	万円
広島市民病院	医業収益	270	6729	265	4006	△ 5	2723
	医業外収益	13	4821	13	1810	△	3010
	特別利益		0		779		779
	計	284	1551	278	6596	△ 5	4954
舟入病院	医業収益	32	9780	30	9844	△ 1	9935
	医業外収益	5	1987	5	0754	△	1232
	特別利益		0		268		268
	計	38	1768	36	0867	△ 2	0900
リハビリテーション病院	医業収益	15	9375	15	5799	△	3576
	医業外収益	2	8136	3	1249		3112
	特別利益		0		86		86
	計	18	7512	18	7134	△	378
安佐市民病院	医業収益	140	8687	141	6524		7836
	医業外収益	8	1592	8	0872	△	719
	特別利益		0		333		333
	計	149	0280	149	7729		7449
安芸市民病院	医業収益	16	9882	16	8565	△	1316
	医業外収益	1	2647	1	1858	△	789
	特別利益		0		0		0
	計	18	2530	18	0424	△	2105
合計		508	3641	501	2753	△ 7	0888

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

イ　収益的支出

不用額の主なものは医業費用であり，広島市民病院における給与費及び材料費，安佐市民病院における給与費などの執行残である。

第3表　予算の執行状況（収益的支出）

区分	予算額（A）		決算額（B）		不用額（A－B）	
	億	万円	億	万円	億	万円
医業費用	499	8580	479	8604	19	9975
医業外費用	10	7008	10	3577		3431
特別損失	1	3495	2	3928	△ 1	0433
予備費		4600		0		4600
計	512	3683	492	6110	19	7573

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第3-2表　予算の執行状況（収益的支出：病院別）

区分		予算額（A）		決算額（B）		不用額（A－B）	
		億	万円	億	万円	億	万円
広島市民病院	医業費用	276	4657	265	3462	11	1194
	医業外費用	5	8796	5	7878		917
	特別損失		8479	1	4214	△	5734
	予備費		3000		0		3000
	計	283	4933	272	5555	10	9378
舟入病院	医業費用	38	5084	36	7810	1	7273
	医業外費用	1	3903	1	3632		271
	特別損失		913		2688	△	1774
	予備費		200		0		200
	計	40	0101	38	4131	1	5970
リハビリテーション病院	医業費用	20	4418	20	2713		1704
	医業外費用	1	4712	1	4659		52
	特別損失		572		456		116
	予備費		200		0		200
	計	21	9903	21	7829		2074
安佐市民病院	医業費用	145	9475	139	1136	6	8339
	医業外費用	1	5494	1	3350		2144
	特別損失		3157		4905	△	1748
	予備費		1000		0		1000
	計	147	9127	140	9392	6	9734
安芸市民病院	医業費用	18	4944	18	3481		1462
	医業外費用		4101		4056		44
	特別損失		371		1663	△	1292
	予備費		200		0		200
	計	18	9617	18	9202		415
合計		512	3683	492	6110	19	7573

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は，決算額 61 億 5,675 万円で，予算額を 2 億 5,883 万円下回っている。また，資本的支出は，決算額 79 億 1,699 万円，翌年度繰越額 2 億 5,256 万円で，不用額 1 億 2,697 万円となっている。

資料編
P98-99,
P114-115,
P130-131,
P144-145,
P160-161

ア　資本的収入

予算額と決算額の差の主なものは企業債であり，広島市民病院及び安佐市民病院において建設改良費の執行が見込みを下回ったことなどによるものである。

第4表　予算の執行状況（資本的収入）

区分	予算額（A）		決算額（B）		予算額に対する決算額の増△減（B－A）	
	億	万円	億	万円	億	万円
企業債	39	7900	37	2930	△ 2	4970
出資金	19	4567	19	4591		23
補助金	1	0017		9266	△	751
負担金	3	8973	3	7035	△	1938
固定資産売却代金		―		1821		1821
敷金返還金		100		31	△	69
計	64	1558	61	5675	△ 2	5883

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第4-2表　予算の執行状況（資本的収入：病院別）

区分		予算額（A）		決算額（B）		予算額に対する決算額の増△減（B－A）	
		億	万円	億	万円	億	万円
広島市民病院	企業債	8	4990	8	0270	△	4720
	出資金	9	6712	9	6715		2
	補助金		8797		8287	△	510
	負担金		7951		6774	△	1177
	計	19	8452	19	2047	△	6404
舟入病院	企業債		8500		7230	△	1270
	出資金	2	6974	2	6976		1
	負担金	1	0845	1	0846		0
	敷金返還金		100		31	△	69
	計	4	6420	4	5083	△	1336
リハビリテーション病院	企業債		890		700	△	190
	出資金	1	8149	1	8151		2
	負担金	1	8149	1	8151		2
	計	3	7188	3	7003	△	184
安佐市民病院	企業債	29	9430	28	2910	△ 1	6520
	出資金	4	6406	4	6420		14
	補助金		1220		978	△	241
	負担金		1889		1125	△	764
	固定資産売却代金		―		159		159
	計	34	8945	33	1593	△ 1	7352
安芸市民病院	企業債		4090		1820	△	2270
	出資金		6325		6327		2
	負担金		137		137		0
	固定資産売却代金		―		1662		1662
	計	1	0552		9947	△	604
合計		64	1558	61	5675	△ 2	5883

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

イ　資本的支出

建設改良費は建物及び構築物の建設改良工事や医療機器等の取得などの経費である。平成24年度においては，安佐市民病院でがん治療体制充実施設改修その他工事等を行い，広島市民病院等で医療機器の整備等を行っている。

建設改良費を翌年度に繰り越したのは，広島市民病院及び安佐市民病院において施設整備の入札手続き等に日時を要し，工事着手が遅延したこと，安佐市民病院において関連工事の遅延等に伴い,医療機器の整備が遅延したことによるものである。

不用額は，主として広島市民病院，舟入病院及び安佐市民病院等の建設改良費などの執行残である。

第5表　予算の執行状況（資本的支出）

区　　分	予算額（A）		決算額（B）		翌年度繰越額（C）		不用額（A－B－C）	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
建設改良費	26	4788	22	6834	2	5256	1	2697
企業債償還金	50	8764	50	8764		－		0
長期借入金償還金	5	6100	5	6100		－		0
計	82	9653	79	1699	2	5256	1	2697

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第5-2表　予算の執行状況（資本的支出：病院別）

区　　分		予算額（A）		決算額（B）		翌年度繰越額（C）		不用額（A－B－C）	
		億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
広島市民病院	建設改良費	11	3463	9	7721	1	4013		1727
	企業債償還金	16	3793	16	3793		－		0
	長期借入金償還金	5	6100	5	6100		－		0
	計	33	3357	31	7615	1	4013		1728
舟入病院	建設改良費		8695		7289		－		1405
	企業債償還金	4	3403	4	3403		－		0
	計	5	2098	5	0693		－		1405
リハビリテーション病院	建設改良費		890		705		－		184
	企業債償還金	3	6298	3	6298		－		0
	計	3	7188	3	7003		－		184
安佐市民病院	建設改良費	13	7650	11	7623	1	1242		8784
	企業債償還金	25	4235	25	4235		－		0
	計	39	1885	37	1858	1	1242		8784
安芸市民病院	建設改良費		4090		3494		－		595
	企業債償還金	1	1033	1	1033		－		0
	計	1	5123	1	4527		－		595
合　　計		82	9653	79	1699	2	5256	1	2697

（注）　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

ウ　補塡財源

資本的収入の決算額61億5,675万円から前年度財源充当額130万円及び資本的支出の決算額79億1,699万円を差し引いた収支不足額17億6,153万円については，過年度分損益勘定留保資金等により補塡している。

エ　損益勘定留保資金等

平成24年度において，資本的収支不足額17億6,153万円を当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額（293万円），過年度分損益勘定留保資金（174億7,443万円のうち17億1,619万円）及び平成24年度同意済企業債未発行分（4,240万円）により補塡し，当年度分損益勘定留保資金46億7,304万円を内部留保した結果，年度末の損益勘定留保資金は204億3,128万円となっている。

第6表　損益勘定留保資金等の状況

区分	当年度分(平成24年度分)消費税及び地方消費税資本的収支調整額 (A)	過年度分(平成23年度末)損益勘定留保資金 (B)	うち，補塡財源使用額 (B')	平成24年度同意済企業債未発行分 (C)	補塡財源使用額 (D=A+B'+C)	当年度分(平成24年度分)損益勘定留保資金 (E)	平成24年度末損益勘定留保資金 (B-B'+E)
	万円	億 万円	億 万円	万円	億 万円	億 万円	億 万円
広島市民病院	165	94 1086	12 5532	―	12 5698	28 2262	109 7816
舟入病院	15	24 3326	5593	―	5609	2 1182	25 8915
安佐市民病院	105	54 8948	3 7580	2580	4 0265	16 3131	67 4500
安芸市民病院	7	1 4081	2912	1660	4580	727	1 1896
合計	293	174 7443	17 1619	4240	17 6153	46 7304	204 3128

(注)　リハビリテーション病院は，資金不足相当額を一般会計から繰り入れており，損益勘定留保資金が生じない。

消費税及び地方消費税資本的収支調整額について

資本的支出に係る消費税及び地方消費税額から資本的収入に係る消費税及び地方消費税額を差し引いた額で，企業の内部に留保された資金をいう。その発生時期により当年度分と過年度分に分けられる。

損益勘定留保資金について

収益的収支のうち減価償却費，固定資産除却費等現金支出を伴わない費用の合計額で，企業の内部に留保された資金をいう。ただし，当年度に欠損金が生じたときは，その額を差し引く。その発生時期により当年度分と過年度分に分けられる。

同意済企業債未発行分について

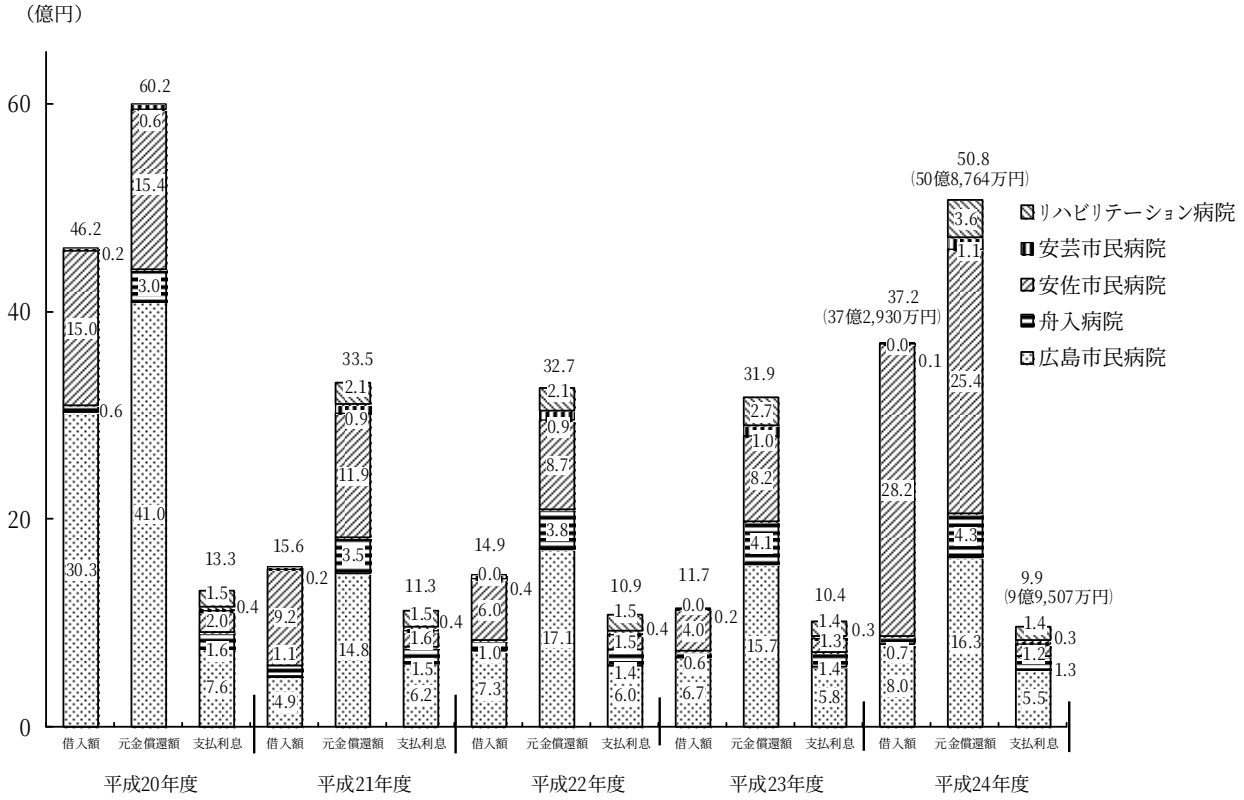
当該年度において起債の同意があった企業債で，予算執行済とした建設改良費の財源に充てられるもののうち未発行のものをいう。

(3) 企業債の状況

建設改良費（22 億 6,834 万円）の財源として企業債を 19 億 9,170 万円借り入れ，公的資金補償金免除繰上償還により 17 億 3,760 万円を借り換えた。また，企業債を 50 億 8,764 万円償還した結果，年度末の企業債未償還残高は 453 億 6,687 万円となっている。

平成24年度の借入額は，安佐市民病院におけるがん治療体制充実施設改修その他工事等による建設改良費の増加及び安佐市民病院等における公的資金補償金免除繰上償還による低利率の企業債への借換えにより，平成23年度と比べて25億4,980万円増加している。

第4図　企業債借入額等の推移



公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換えについて

1　公的資金補償金免除繰上償還について

公債費負担の軽減対策として，財政健全化計画又は公営企業経営健全化計画を策定し，行政改革・経営改革を行う地方公共団体を対象に，当該地方公共団体に貸し付けられた公的資金（旧資金運用部資金，旧公営企業金融公庫資金等）のうち年利5%以上のものについて，平成19年度から平成24年度までの間で，一定の条件を満たす場合に，地方債の繰上償還を補償金免除により行うものである。

2　借換額について

病院事業局では，該当する公的資金の繰上償還に充てるため，平成24年度において，17億3,760万円を低利率（0.277～0.45%）の企業債へ借り換えている。

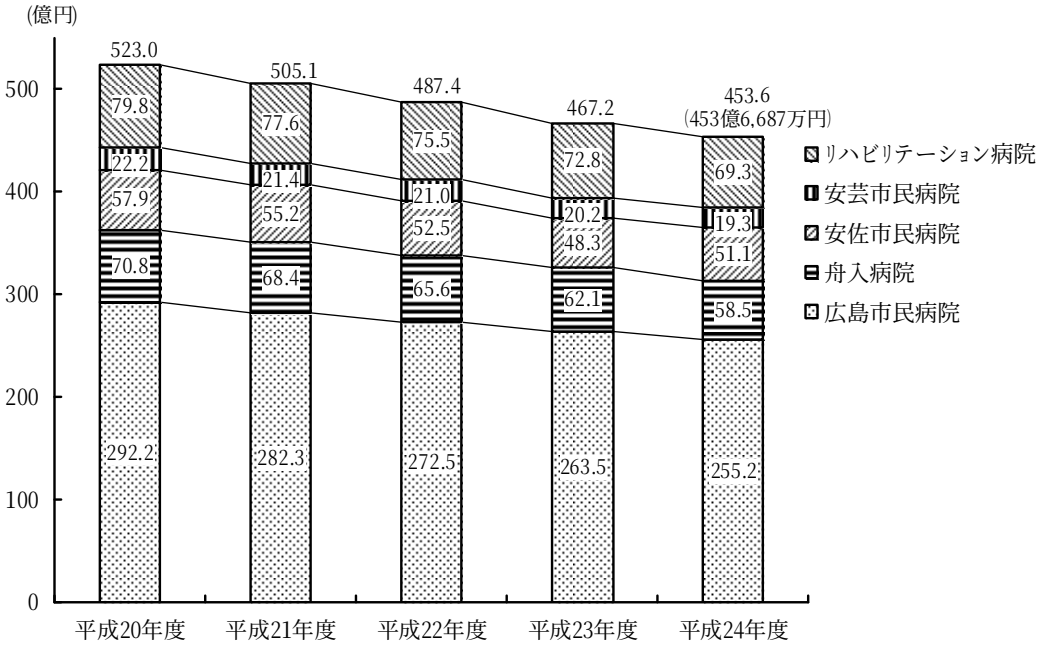
3　企業債利息の縮減額について

平成24年度において，17億3,760万円の借換えを行った結果，償還期間中の企業債利息の縮減額は，4億1,888万円となり，平成19年度から平成24年度までの合計では，15億7,456万円となっている。

区　　分	平成19年度	平成20年度	平成24年度	合　　計
	億　万円	億　万円	億　万円	億　万円
借　　換　　額	5　3250	32　8950	17　3760	55　5960
企業債利息縮減額	4413	11　1154	4　1888	15　7456

企業債未償還残高の過去5年間の推移を見ると，年々減少している。

第5図　企業債未償還残高の推移



(4) 一般会計からの繰入状況

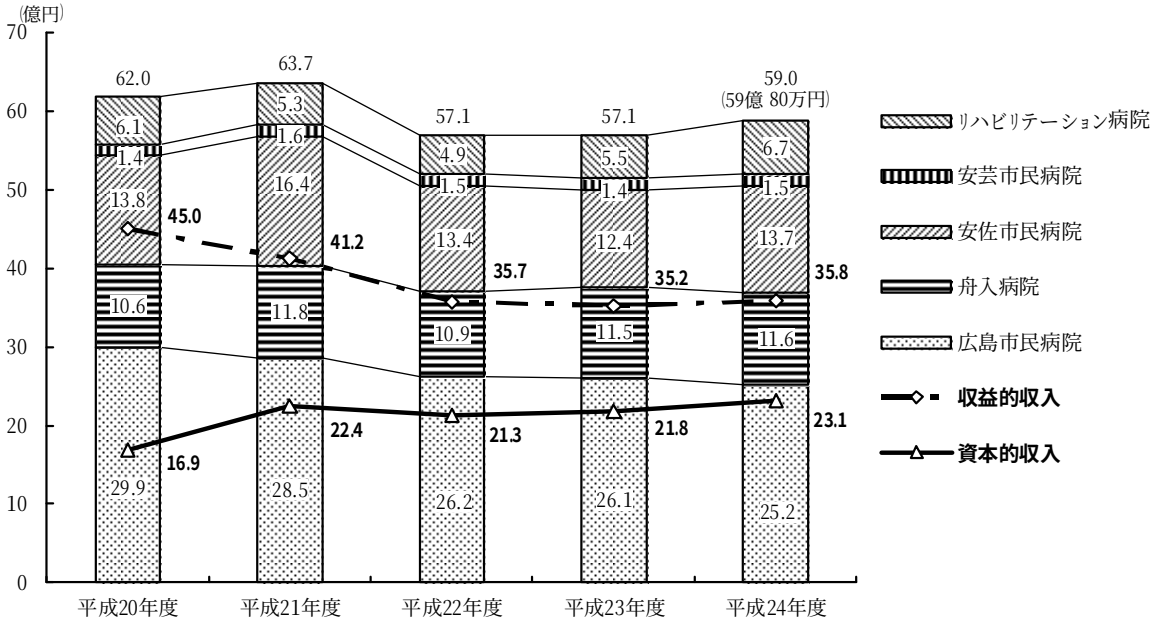
繰入額の合計は 59 億 80 万円で，収益的収入へ 35 億 8,453 万円，資本的収入へ 23 億 1,626 万円それぞれ繰り入れられている。

一般会計からの繰入れは，負担金，補助金及び出資金からなっている。

救急医療に要する経費等，診療収入として患者等に負担させるのは適当ではない経費，高度又は特殊な医療に要する経費等，能率的な経営を行っても採算をとることが困難であると認められる経費などについて，一定の基準に基づき一般会計から繰り入れられている。

平成24年度の繰入額は，平成23年度と比べて1億8,753万円増加しており，収益的収入への繰入額が5,801万円，資本的収入への繰入額が1億2,951万円それぞれ増加している。

第6図　一般会計からの繰入額の推移



一般会計からの繰入額の内訳

区分			平成24年度		平成23年度		増△減	
収益的収入への繰入額			億	万円	億	万円	億	万円
	負担金	救急医療に係る収支不足額	10	1869	9	0284	1	1585
		特殊医療に係る収支不足額	7	1558	8	0014	△	8456
		高度医療に係る収支不足額	1	4180	1	4446	△	265
		企業債利息	6	3029	6	6339	△	3309
		その他	10	1949	9	2426		9523
	補助金	舟入病院退職給与金補助		5866		9141	△	3275
	計		35	8453	35	2652		5801
資本的収入への繰入額								
	出資金	企業債元金償還金	19	4567	18	4706		9861
		建設改良費		23		31	△	7
	負担金	企業債元金償還金（不採算部門）	3	7031	3	3928		3103
		建設改良費（不採算部門）		3		8	△	4
	計		23	1626	21	8674	1	2951
合計			59	0080	57	1326	1	8753

3　経営成績

(1) 収支の状況

意見書
P30,P40,P50,P59,
P69-70
資料編
P96-97,P112-113,
P128-129,P142-143,
P158-159

収益は 500 億 5,470 万円，費用は 491 億 9,170 万円で，その結果，収支は 8 億 6,299 万円の純利益となっている。

ア　収　益

平成24年度の収益は500億5,470万円で，平成23年度と比べて11億9,469万円（2.4%）増加している。これは主として広島市民病院及び安佐市民病院において診療収入が増加したことによるものである。

イ　費　用

平成24年度の費用は491億9,170万円で，平成23年度と比べて6億425万円（1.2%）増加している。これは主として広島市民病院において診療材料費等の材料費及び委託料等の経費が，安佐市民病院において給与費が増加したことによるものである。

ウ　損　益

平成24年度の収支は8億6,299万円の純利益となっており，その額は平成23年度に比べて5億9,043万円増加している。純利益が生じたのは，平成23年度に引き続き2年連続である。

損益について病院別に見ると，広島市民病院及び安佐市民病院で純利益が，舟入病院，リハビリテーション病院及び安芸市民病院で純損失が生じている。

第7表　損益計算書

区分	平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
収益	億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	469	9418	456	7256	13	2162	2.9
診療収入	445	6038	433	3766	12	2271	2.8
入院収益	327	6010	317	7048	9	8962	3.1
外来収益	118	0028	115	6718	2	3309	2.0
一般会計負担金	12	5103	11	3356	1	1747	10.4
その他	11	8276	12	0133	△	1856	△ 1.5
医業外収益	30	4596	31	6241	△ 1	1645	△ 3.7
一般会計負担金	22	7484	23	0154	△	2670	△ 1.2
その他	7	7112	8	6086	△	8974	△ 10.4
特別利益		1455		2502	△	1047	△ 41.9
計　(A)	500	5470	488	6000	11	9469	2.4
費用							
医業費用	479	5747	473	4793	6	0953	1.3
給与費	240	0539	238	8753	1	1786	0.5
材料費	125	4401	121	2373	4	2027	3.5
経費	74	7645	72	9455	1	8190	2.5
減価償却費	37	4159	38	5620	△ 1	1460	△ 3.0
その他	1	9000	1	8590		409	2.2
医業外費用	9	9507	10	4832	△	5324	△ 5.1
支払利息及び企業債取扱諸費	9	9507	10	4832	△	5324	△ 5.1
特別損失	2	3915	1	9118		4797	25.1
計　(B)	491	9170	485	8744	6	0425	1.2
純利益（△純損失）　(A－B)	8	6299	2	7256	5	9043	－

(注)　診療収入＝入院収益＋外来収益

第7-2表　損益計算書（病院別）

区分			平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率
			億　万円	億　万円	億　万円	%
広島市民病院	収益	医業収益	265 0693	255 7257	9 3436	3.7
		診療収入	253 2595	244 6859	8 5736	3.5
		入院収益	184 8412	177 7096	7 1316	4.0
		外来収益	68 4183	66 9763	1 4420	2.2
		一般会計負担金	5 9650	4 9875	9774	19.6
		その他	5 8447	6 0522	△ 2074	△ 3.4
		医業外収益	13 0491	15 5288	△ 2 4797	△ 16.0
		一般会計負担金	8 9135	10 9960	△ 2 0824	△ 18.9
		その他	4 1355	4 5328	△ 3973	△ 8.8
		特別利益	771	1266	△ 494	△ 39.0
		計（A）	278 1956	271 3812	6 8144	2.5
	費用	医業費用	265 1483	260 4850	4 6633	1.8
		給与費	131 8365	131 2773	5591	0.4
		材料費	81 2438	77 7348	3 5090	4.5
		経費	29 2296	28 4151	8144	2.9
		減価償却費	21 7453	21 9916	△ 2463	△ 1.1
		その他	1 0929	1 0659	270	2.5
		医業外費用	5 5417	5 8034	△ 2617	△ 4.5
		支払利息及び企業債取扱諸費	5 5417	5 8034	△ 2617	△ 4.5
		特別損失	1 4205	1 2073	2131	17.7
		計（B）	272 1106	267 4958	4 6147	1.7
	純利益（△純損失）（A－B）		6 0850	3 8854	2 1996	－
舟入病院	収益	医業収益	30 9354	30 9514	△ 160	△ 0.1
		診療収入	26 2038	26 2635	△ 596	△ 0.2
		入院収益	14 6808	14 8278	△ 1469	△ 1.0
		外来収益	11 5229	11 4356	873	0.8
		一般会計負担金	3 7625	3 7056	569	1.5
		その他	9690	9823	△ 132	△ 1.3
		医業外収益	5 0620	5 1292	△ 672	△ 1.3
		一般会計負担金	3 5524	3 2568	2955	9.1
		その他	1 5095	1 8724	△ 3628	△ 19.4
		特別利益	265	200	64	32.3
		計（C）	36 0239	36 1008	△ 768	△ 0.2
	費用	医業費用	36 7550	36 8276	△ 725	△ 0.2
		給与費	19 1993	19 6374	△ 4380	△ 2.2
		材料費	5 3260	4 9358	3901	7.9
		経費	7 6695	7 7618	△ 922	△ 1.2
		減価償却費	4 4261	4 3841	420	1.0
		その他	1339	1083	256	23.7
		医業外費用	1 3290	1 4077	△ 786	△ 5.6
		支払利息及び企業債取扱諸費	1 3290	1 4077	△ 786	△ 5.6
		特別損失	2686	1186	1500	126.5
		計（D）	38 3527	38 3539	△ 12	△ 0.0
	純利益（△純損失）（C－D）		△ 2 3287	△ 2 2531	△ 756	－
リハビリテーション病院	収益	医業収益	15 5660	15 6706	△ 1046	△ 0.7
		診療収入	13 0337	13 1578	△ 1240	△ 0.9
		入院収益	12 6955	12 7662	△ 707	△ 0.6
		外来収益	3382	3915	△ 533	△ 13.6
		一般会計負担金	2049	1691	358	21.2
		その他	2 3273	2 3437	△ 163	△ 0.7
		医業外収益	3 1161	2 7323	3837	14.0
		一般会計負担金	2 9244	2 5717	3526	13.7
		その他	1917	1605	311	19.4
		特別利益	85	166	△ 80	△ 48.5
		計（E）	18 6907	18 4196	2711	1.5
	費用	医業費用	20 2649	19 9403	3245	1.6
		給与費	13 2269	12 9565	2703	2.1
		材料費	4740	4642	97	2.1
		経費	3 4281	3 3602	679	2.0
		減価償却費	3 0686	3 0877	△ 190	△ 0.6
		その他	671	715	△ 44	△ 6.2
		医業外費用	1 4498	1 4931	△ 432	△ 2.9
		支払利息及び企業債取扱諸費	1 4498	1 4931	△ 432	△ 2.9
		特別損失	456	721	△ 264	△ 36.7
		計（F）	21 7604	21 5055	2548	1.2
	純利益（△純損失）（E－F）		△ 3 0696	△ 3 0859	162	－

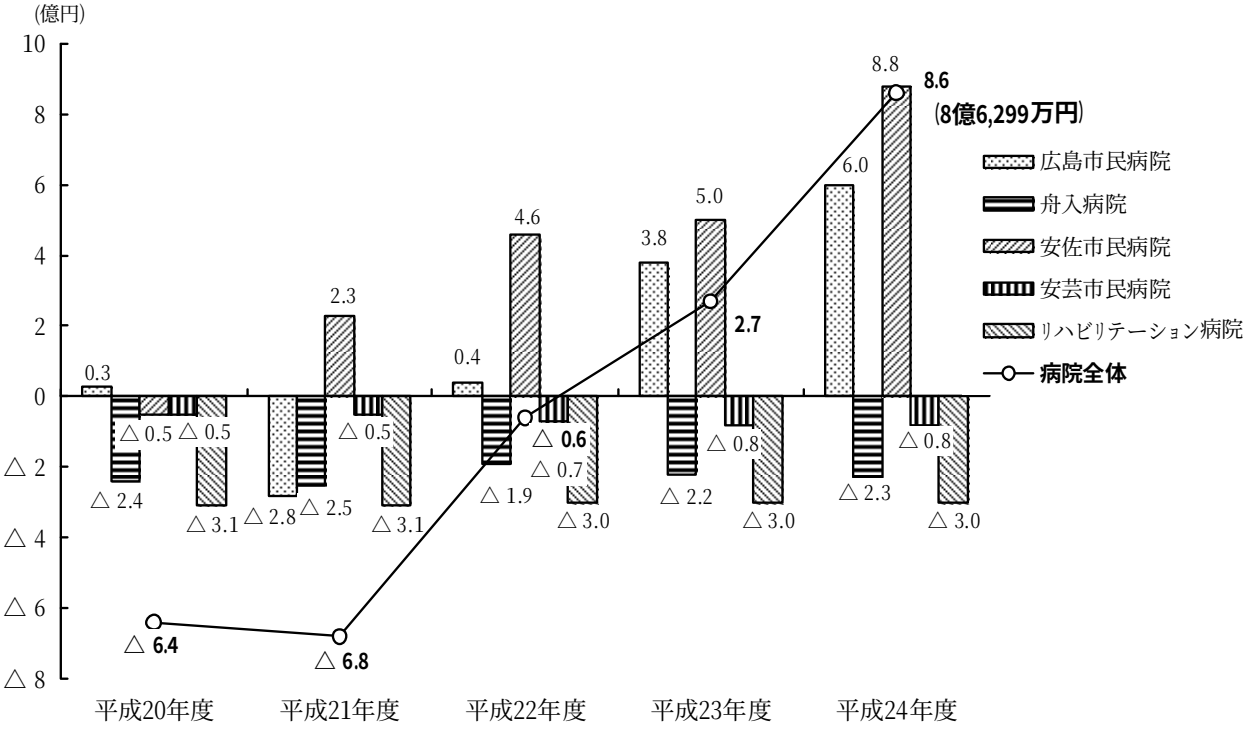
区分			平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
			億	万円	億	万円	億	万円	%
安佐市民病院	収益	医業収益	141	5508	137	9500	3	6007	2.6
		診療収入	137	1680	133	6277	3	5403	2.6
		入院収益	102	9883	100	3623	2	6260	2.6
		外来収益	34	1796	33	2653		9142	2.7
		一般会計負担金	2	4214	2	3392		821	3.5
		その他	1	9613	1	9831	△	217	△ 1.1
		医業外収益	8	0483	6	9925	1	0558	15.1
		一般会計負担金	6	6220	5	4517	1	1703	21.5
		その他	1	4262	1	5407	△	1144	△ 7.4
		特別利益		332		626	△	294	△ 46.9
		計（G）	149	6324	145	0052	4	6271	3.2
	費用	医業費用	139	0599	138	2003		8596	0.6
		給与費	75	6930	74	9053		7877	1.1
		材料費	38	3961	38	1023		2938	0.8
		経費	16	9838	16	3539		6299	3.9
		減価償却費	7	3839	8	2375	△	8536	△ 10.4
		その他		6029		6011		17	0.3
		医業外費用	1	2602	1	3924	△	1322	△ 9.5
		支払利息及び企業債取扱諸費	1	2602	1	3924	△	1322	△ 9.5
		特別損失		4903		3943		959	24.3
		計（H）	140	8105	139	9872		8233	0.6
	純利益（△純損失）（G－H）		8	8218	5	0180	3	8038	－
安芸市民病院	収益	医業収益	16	8201	16	4276		3924	2.4
		診療収入	15	9386	15	6416		2969	1.9
		入院収益	12	3950	12	0387		3562	3.0
		外来収益	3	5436	3	6028	△	592	△ 1.6
		一般会計負担金		1563		1340		223	16.7
		その他		7250		6519		731	11.2
		医業外収益	1	1840	1	2411	△	571	△ 4.6
		一般会計負担金		7358		7390	△	31	△ 0.4
		その他		4481		5020	△	539	△ 10.7
		特別利益		0		242	△	242	△ 100.0
		計（I）	18	0041	17	6930		3110	1.8
	費用	医業費用	18	3463	18	0259		3204	1.8
		給与費		980		986	△	5	△ 0.6
		経費	17	4532	17	0543		3989	2.3
		減価償却費		7919		8608	△	689	△ 8.0
		その他		30		120	△	89	△ 74.5
		医業外費用		3699		3865	△	165	△ 4.3
		支払利息及び企業債取扱諸費		3699		3865	△	165	△ 4.3
		特別損失		1663		1193		470	39.4
		計（J）	18	8827	18	5318		3508	1.9
	純利益（△純損失）（I－J）		△	8785	△	8387	△	398	－

エ　損益の推移

過去 5 年間の推移を見ると，平成 21 年度を除き純損失は減少しており，平成 23 年度及び平成 24 年度は純利益が生じている。

損益の過去5年間の推移を病院別に見ると，広島市民病院では，平成21年度において純損失が生じた以外は純利益が生じている。安佐市民病院では，平成20年度において純損失が生じていたが，平成21年度以降は純利益が生じている。舟入病院，リハビリテーション病院及び安芸市民病院では，毎年度純損失が生じている。

第7図　損益の推移



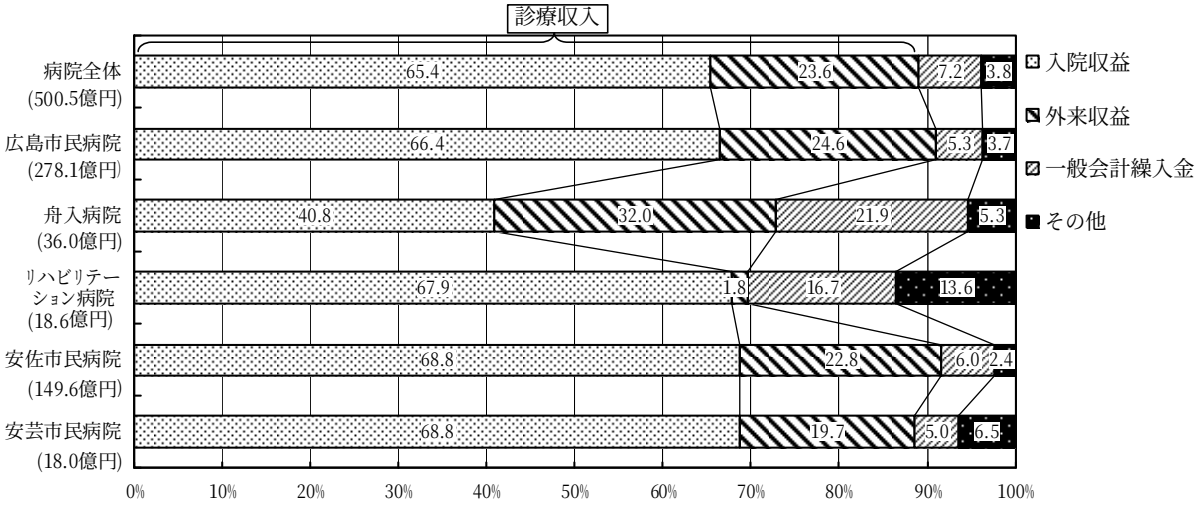
(2) 収益について

ア　収益の構成比

収益を構成比で見ると，診療収入が 89.0%と大部分を占め，その内訳は，入院収益が 65.4%，外来収益が 23.6%となっている。

舟入病院及びリハビリテーション病院は,診療収入の比率が他の3病院と比べて低く，一般会計繰入金の比率が高くなっている。これは，救急医療や特殊医療に係る収支不足額に対する一般会計繰入金の収益に占める割合が,他の3病院よりも高くなっていることによるものである。

第8図　収益の構成比



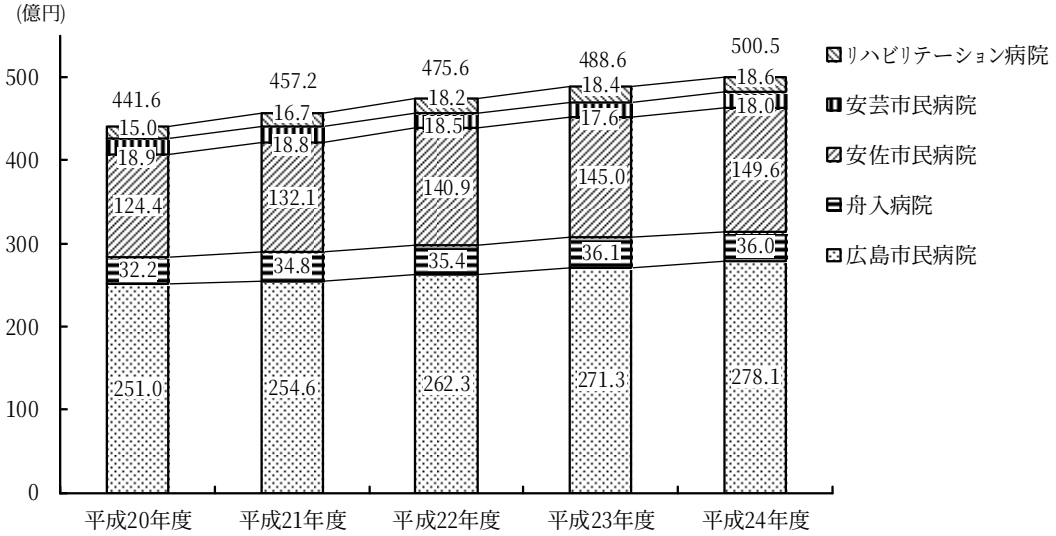
（注）診療収入＝入院収益＋外来収益

イ　収益の推移

収益は，平成 23 年度と比べて 11 億 9,469 万円増加している。過去 5 年間の推移を見ると年々増加している。

収益の過去5年間の推移を病院別に見ると，広島市民病院，リハビリテーション病院及び安佐市民病院は年々増加している。舟入病院は平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。安芸市民病院は平成23年度までは減少していたが，平成24年度は増加している。

第9図　収益の推移



ウ　患者１人１日当たりの診療収入の状況

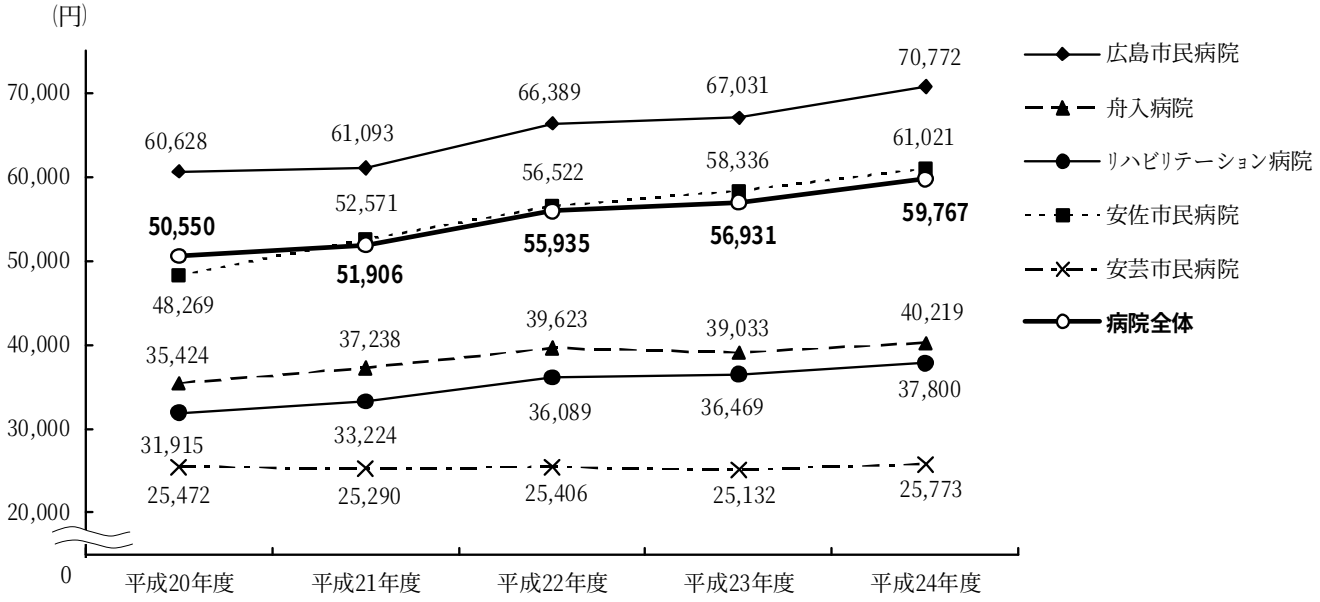
病院の機能度を反映するとされている患者１人１日当たりの診療収入は，入院患者が５万９,767円，外来患者が１万５,644円で，平成23年度と比べて入院患者が2,836円，外来患者が439円それぞれ増加している。

資料編
P92-93，
P108-109，
P124-125，
P138-139，
P154-155

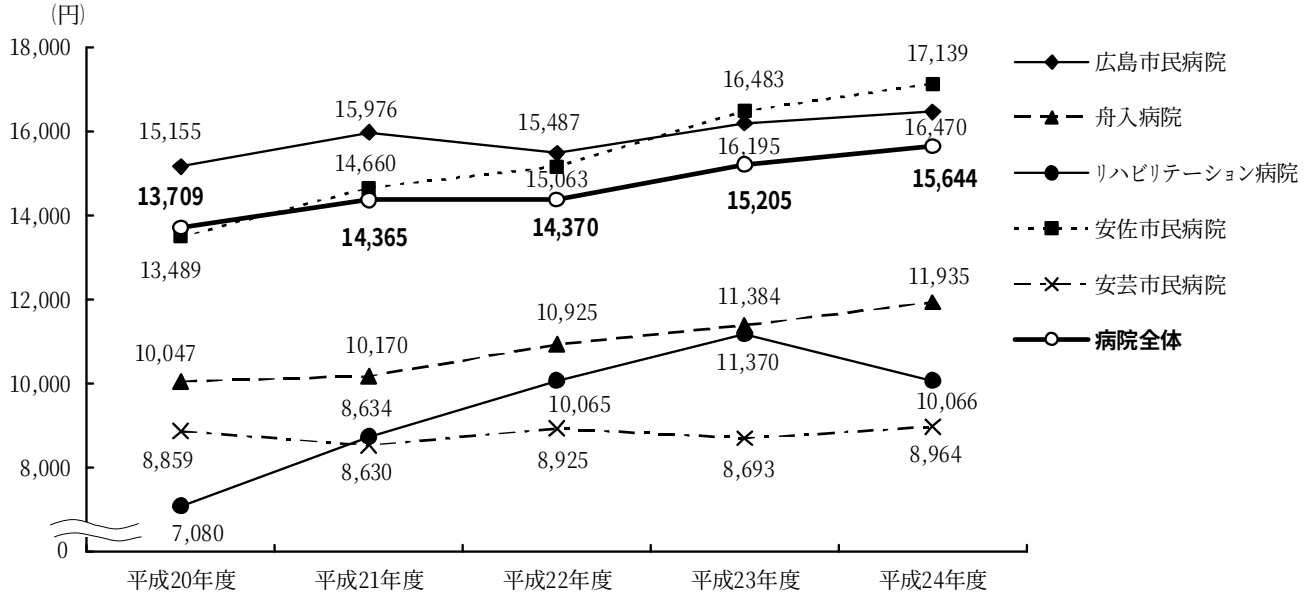
広島市民病院及び安佐市民病院の入院患者1人1日当たりの診療収入が他の3病院と比べて多いのは，より高度な専門医療などを実施していることによるものである。また，安芸市民病院の入院患者1人1日当たりの診療収入が他の4病院と比べて少ないのは，主として病床数の約4割が療養病床であることによるものである。

病院全体の入院患者及び外来患者の1人1日当たりの診療収入の過去5年間の推移を見ると，いずれも年々増加している。

第10図　入院患者1人1日当たりの診療収入の推移



第11図　外来患者1人1日当たりの診療収入の推移



エ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

(ｱ) 医療費個人負担分の収納率等の状況

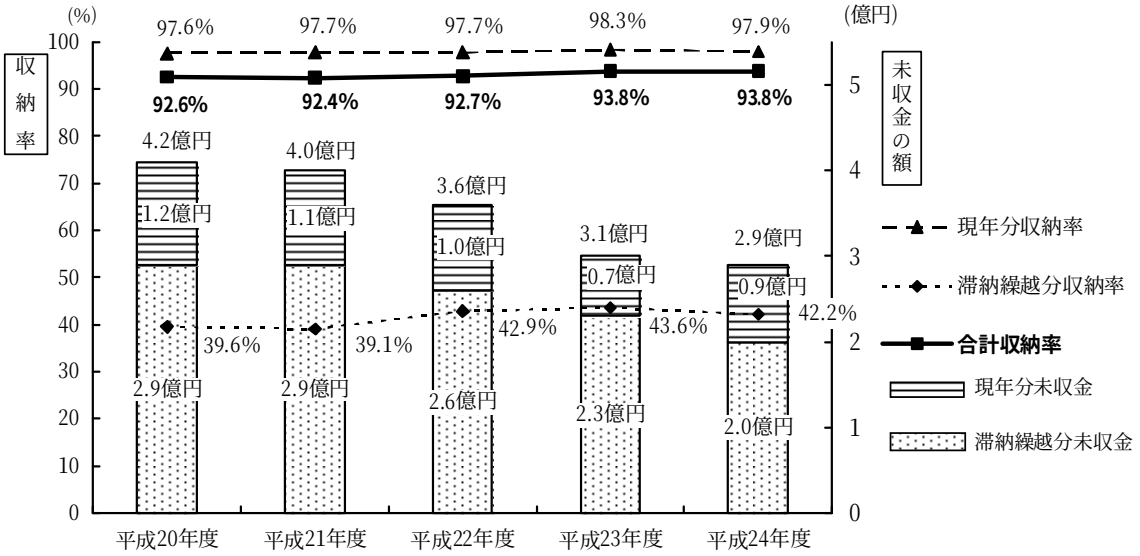
入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は 93.8%で，平成 23 年度と同率となっている。これは，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）を達成している。

意見書
P31-32,P41-42,
P51,P60-61,
P71-72

医療費個人負担分の回収は，訪問による調査及び徴収，連帯保証人への請求，支払督促の申立てのほか，平成21年度からは弁護士法人に回収業務を委託するなどにより実施している。

収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分は平成23年度までは上昇したが，平成24年度は低下している。滞納繰越分は平成21年度においては低下したが，平成22年度，平成23年度は上昇し，平成24年度は再び低下している。合計分は平成21年度においては低下したが，平成22年度以降は上昇し，平成24年度は前年度と同率となっている。また，未収金の額は年々減少している。

第12図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移



入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況

区分		調定額	収入済額	未収金	収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億　万円	億　万円	億　万円	%	%	
入院	現年分	27 4081	26 6516	7565	97.2	－	－
	滞納繰越分	2 7595	1 1752	1 5843	42.6	－	－
	計	30 1677	27 8268	2 3409	92.2	－	－
外来	現年分	16 6425	16 4786	1639	99.0	－	－
	滞納繰越分	7229	2944	4284	40.7	－	－
	計	17 3654	16 7731	5923	96.6	－	－
合計	現年分	44 0507	43 1302	9205	97.9	97.9	0.0
	滞納繰越分	3 4824	1 4696	2 0128	42.2	48.2	△ 6.0
	計	47 5332	44 5999	2 9333	93.8	93.7	0.1

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

(ｲ) 医療費個人負担分の不納欠損の状況

入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損は 647 件,1,545 万円で，平成 23 年度と比べて合計件数は減少したが，合計金額は増加している。

不納欠損の過去5年間の推移を見ると,合計件数は増加と減少を繰り返しているが，合計金額は平成23年度を除き増加している。

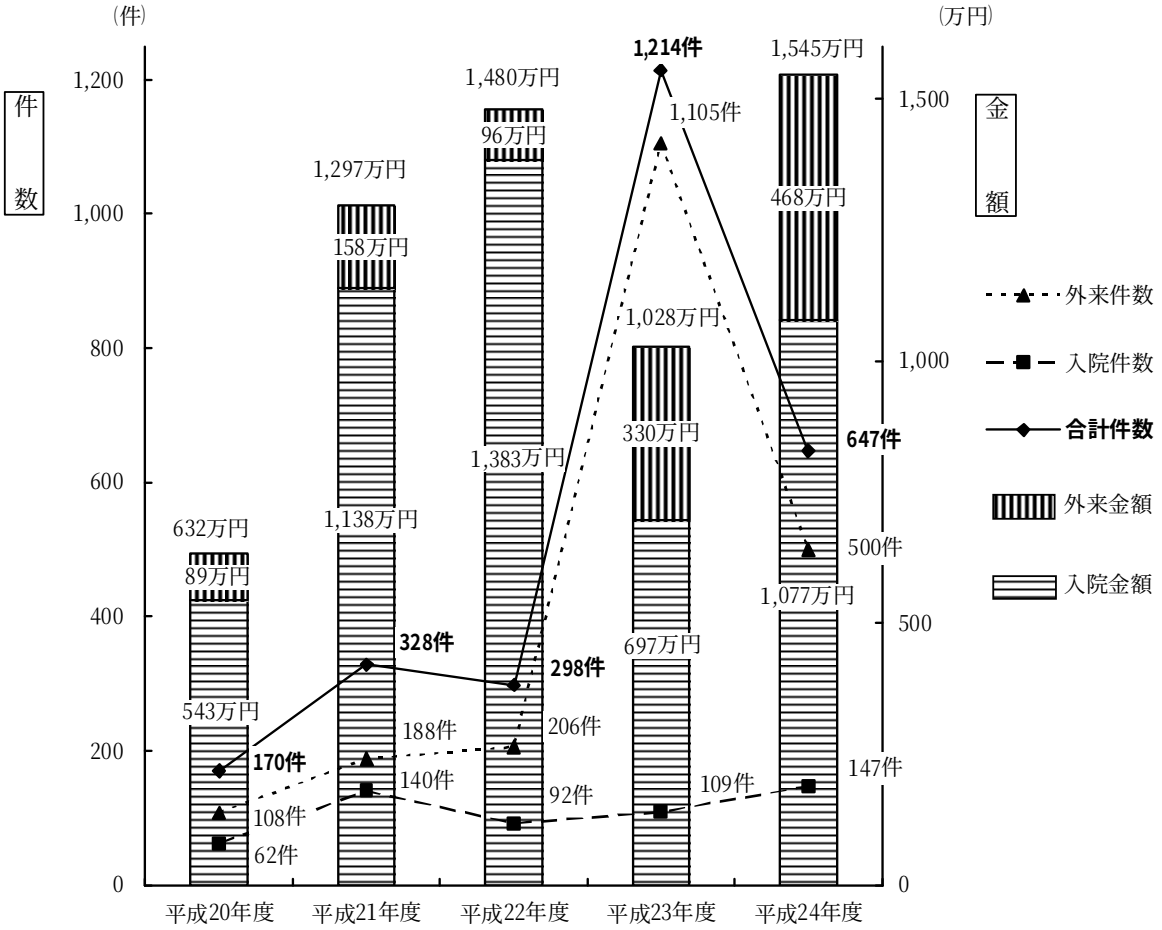
不納欠損を行った理由は，時効の援用，所在不明及び破産免責等による債権放棄である。

第8表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の状況

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減(A－B)	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
	件	万円	件	万円	件	万円
入　　院	147	1077	109	697	38	380
外　　来	500	468	1105	330	△　605	137
合　　計	647	1545	1214	1028	△　567	517

（注）　1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第13図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の推移



（注）1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

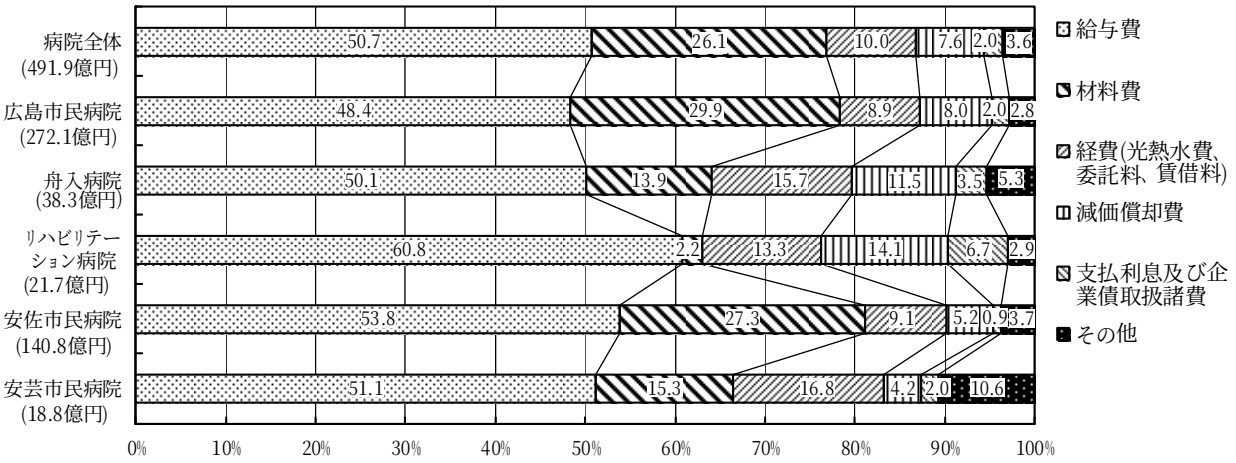
(3) 費用について

ア　費用の構成比

費用を構成比で見ると,給与費の比率が 50.7%と最も高く,次に材料費が 26.1%となっている。

材料費の比率は，広島市民病院が29.9%，安佐市民病院が27.3%と比較的高いのに対し，他の3病院では，舟入病院が13.9%，安芸市民病院が15.3%，リハビリテーション病院が2.2%と相対的に低くなっている。これは，広島市民病院及び安佐市民病院がより高度な専門医療を実施していることによるものである。

第14図　費用の構成比



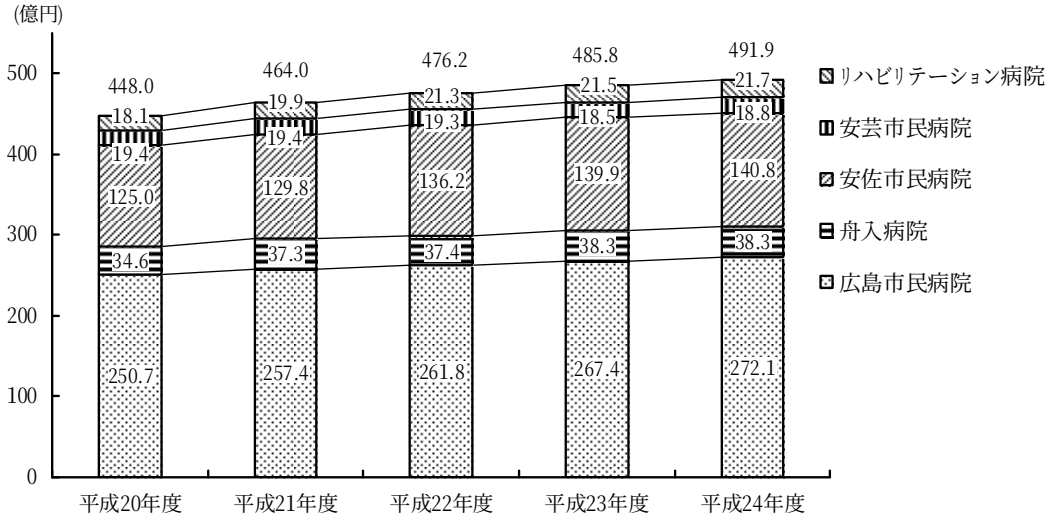
（注）安芸市民病院の費用の構成比は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第 47-2 表　費用の内訳」(P70)参照）による。

イ　費用の推移

費用は，平成 23 年度と比べて 6 億 425 万円増加している。過去 5 年間の推移を見ると年々増加している。

費用の過去5年間の推移を病院別に見ると，広島市民病院，リハビリテーション病院及び安佐市民病院は年々増加している。舟入病院は平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。安芸市民病院は平成23年度までは減少していたが，平成24年度は増加している。

第15図　費用の推移



意見書
P33-35,P43-45,
P52-54,P62-64,
P73-74
資料編
P94-95,P104-105,
P110-111,P120-121,
P126-127,P134-135,
P140-141,P150-151,
P156-157,P164-165

ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数の状況

平成 24 年度末の職員数（休職者等を除き，嘱託・臨時職員及び安芸市民病院の指定管理者である社団法人広島市医師会の職員数を含む。）は 3,270 人で，平成 23 年度末と比べて 94 人増加している。

平成24年度末の職員数が平成23年度末と比べて増加したのは，安佐市民病院におけるがん診療体制の強化等によるものである。

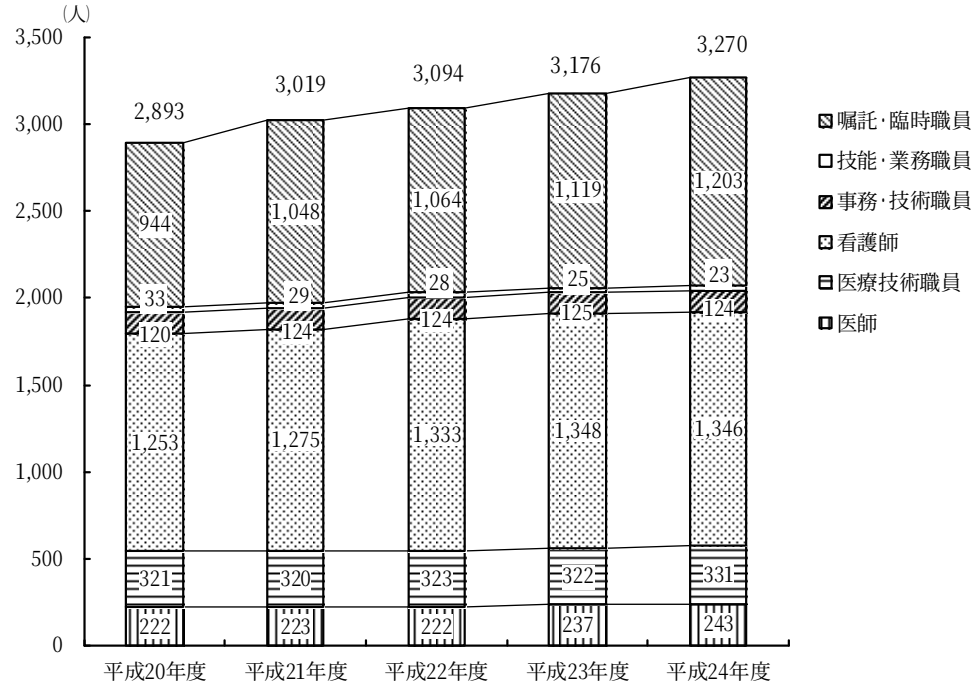
職員数の過去5年間の推移を見ると，嘱託・臨時職員の増等により年々増加している。

第9表　職員数の状況

区　　分	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増△減 (A－B)	対前年度 増 減 率
	人	人	人	%
医　　師	(10) 243	(10) 237	(0) 6	[0.0] 2.5
医療技術職員	(18) 331	(15) 322	(3) 9	[20.0] 2.8
看　　護　　師	(85) 1,346	(83) 1,348	(2) △ 2	[2.4] △ 0.1
事務・技術職員	(9) 124	(9) 125	(0) △ 1	[0.0] △ 0.8
技能・業務職員	(14) 23	(15) 25	(△ 1) △ 2	[△ 6.7] △ 8.0
小　　計	(136) 2,067	(132) 2,057	(4) 10	[3.0] 0.5
嘱託・臨時職員	(29) 1,203	(31) 1,119	(△ 2) 84	[△ 6.5] 7.5
合　　計	(165) 3,270	(163) 3,176	(2) 94	[1.2] 3.0

(注) 1　職員数は，年度末の休職者等を除き，安芸市民病院の指定管理者である（社）広島市医師会の職員数を加えたものである。
2　職員数欄の(　)は，安芸市民病院の指定管理者である（社）広島市医師会の職員数で内数である。
3　対前年度増減率欄の[　]は，安芸市民病院の指定管理者である(社）広島市医師会の職員の対前年度増減率である。

第16図　職員数の推移



(ｲ) 給与費の状況

給与費（安芸市民病院の指定管理者である社団法人広島市医師会の職員の給与費を含む。）は 249 億 6,029 万円で，平成 23 年度と比べて 1 億 3,558 万円増加している。職員１人当たりの平均給与費（退職給与金等を除く。）は 732 万円で，平成 23 年度と比べて 9 万円減少している。

給与費は，病院事業における費用の中で最も高い割合を占め，収支に大きく影響する。給与費が増加したのは，退職給与金が減少したものの，職員の増加などに伴い手当等が増加したことによるものである。

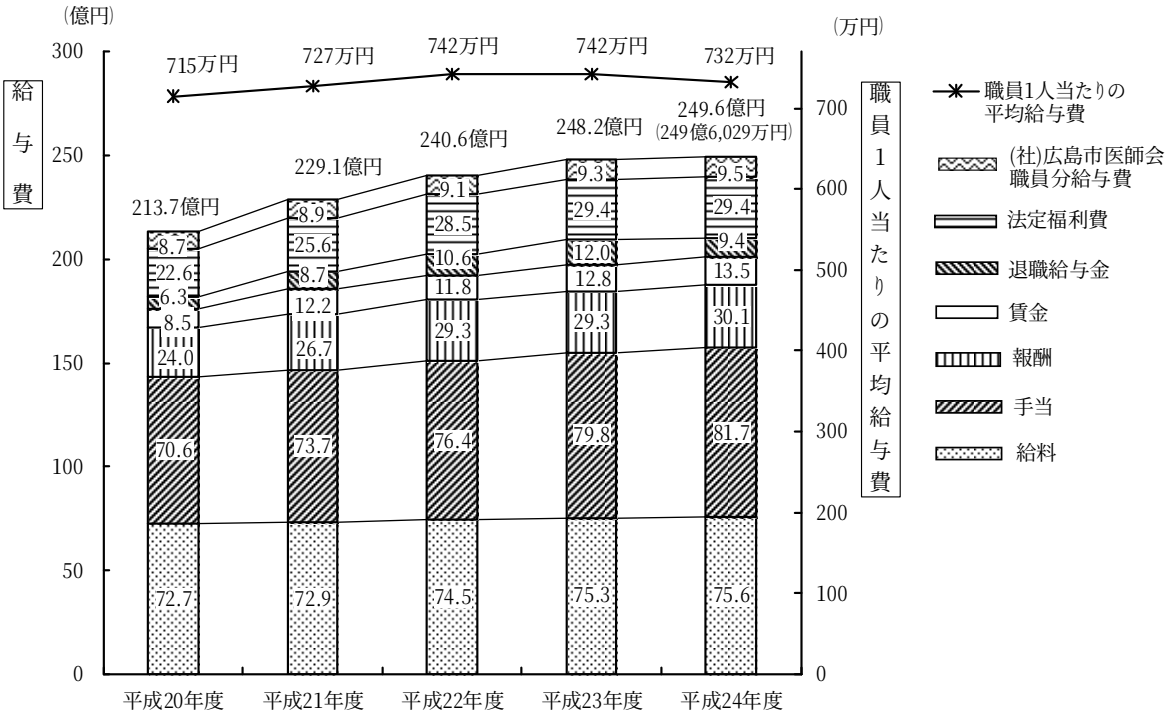
給与費等の過去5年間の推移を見ると，給与費は年々増加している。また，職員1人当たりの平均給与費は，平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。

第10表　給与費の状況

区分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）		対前年度増減率
	億	万円	億	万円	億	万円	%
給与費（C）	240	0539	238	8753	1	1786	0.5
給料	75	6280	75	3144		3136	0.4
手当	81	7575	79	8311	1	9263	2.4
報酬	30	1685	29	3859		7825	2.7
賃金	13	5326	12	8237		7088	5.5
退職給与金	9	4971	12	0662	△ 2	5691	△ 21.3
法定福利費	29	4700	29	4537		162	0.1
安芸市民病院の指定管理者である(社)広島市医師会職員分給与費（D）	9	5489	9	3716		1772	1.9
計（C＋D）	249	6029	248	2470	1	3558	0.5
職員１人当たりの平均給与費	732万円		742万円		△ 9万円		△ 1.3

(注) 1　災害補償費は，その決算額がある場合には，法定福利費に含める。
2　職員1人当たりの平均給与費（退職給与金その他退職に係る費用を除く。)は，年度末の嘱託・臨時職員及び安芸市民病院の指定管理者である（社）広島市医師会の職員を含めて算出したものである。

第17図　給与費の推移



(ｳ) 給与費対医業収益の比率の状況

給与費対医業収益の比率（給与費は退職給与金等を除く。）は 51.0%で，平成23 年度と比べて 0.6 ポイント低下している。

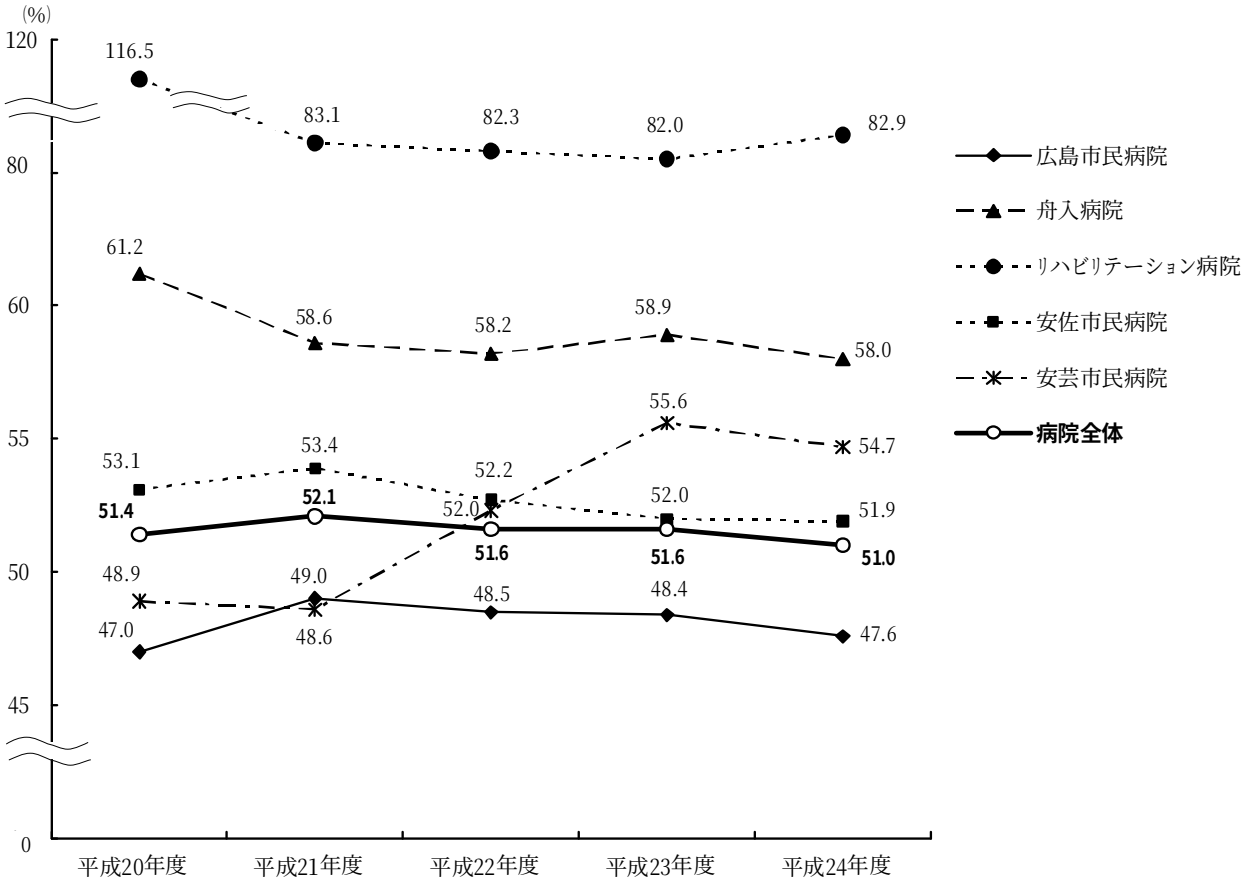
平成24年度の病院全体の給与費対医業収益の比率が平成23年度と比べて低下したのは，入院・外来収益の増加による医業収益の増加率が，職員の増加による給与費のそれを上回ったことによるものである。

病院別に見ると，広島市民病院，安佐市民病院及び安芸市民病院では医業収益の増加率が給与費のそれを上回ったことにより低下している。舟入病院では医業収益及び給与費がいずれも減少したものの，給与費の減少率が医業収益のそれを上回ったことにより低下している。リハビリテーション病院では医業収益が減少し給与費が増加したことにより上昇している。

病院事業は人的サービスが主体となるいわゆる労働集約型の事業であり，費用の中で給与費が最も高い割合を占めることから，給与水準と職員の配置等をいかに適切なものにするかが経営の重要なポイントとなる。給与費対医業収益の比率は，経営の良好な医療機関の場合は50%あるいはそれ未満といわれているが，病院別に見ると広島市民病院を除く4病院は50%を上回っている。

病院全体の給与費対医業収益の比率の過去5年間の推移を見ると，平成21年度を除き低下している。

第18図　給与費対医業収益の比率の推移



（注）1　給与費は，退職給与金その他退職に係る費用を除いて算出した数値である。
2　病院全体及び安芸市民病院の比率は，指定管理者である（社）広島市医師会の職員の給与費を含めて算出している。

エ　材料費の状況

材料費は 128 億 3,221 万円で，平成 23 年度と比べて 4 億 1,438 万円増加している。材料費対医業収益の比率は 27.3%で，平成 23 年度と比べて 0.1 ポイント上昇している。

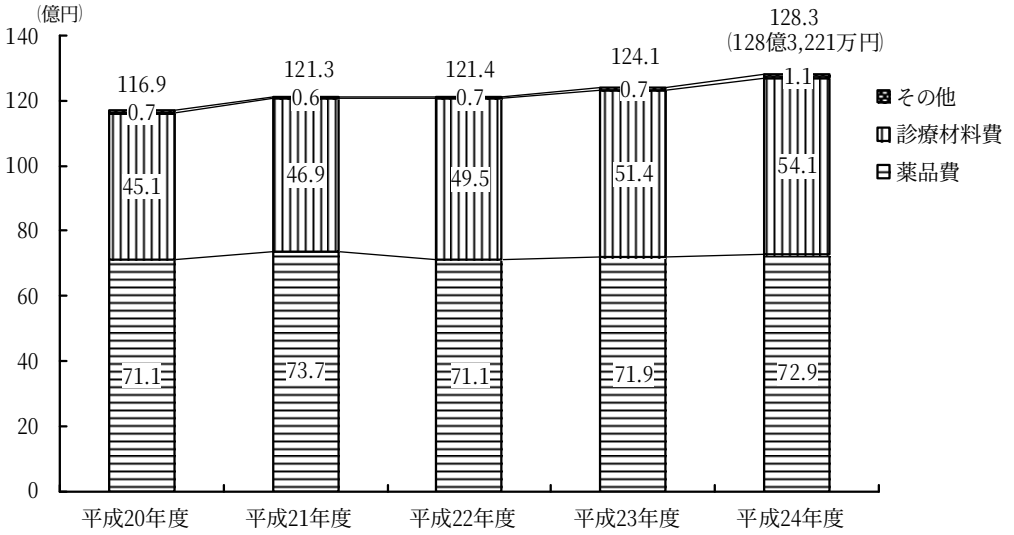
意見書
P36,P46,
P55,P65,
P70,P75

材料費は，診療収入と密接に関連する費用であり，その主なものは薬品費及び診療材料費である。

平成24年度の材料費が平成23年度と比べて増加したのは，主として広島市民病院の薬品費及び診療材料費が増加したためである。

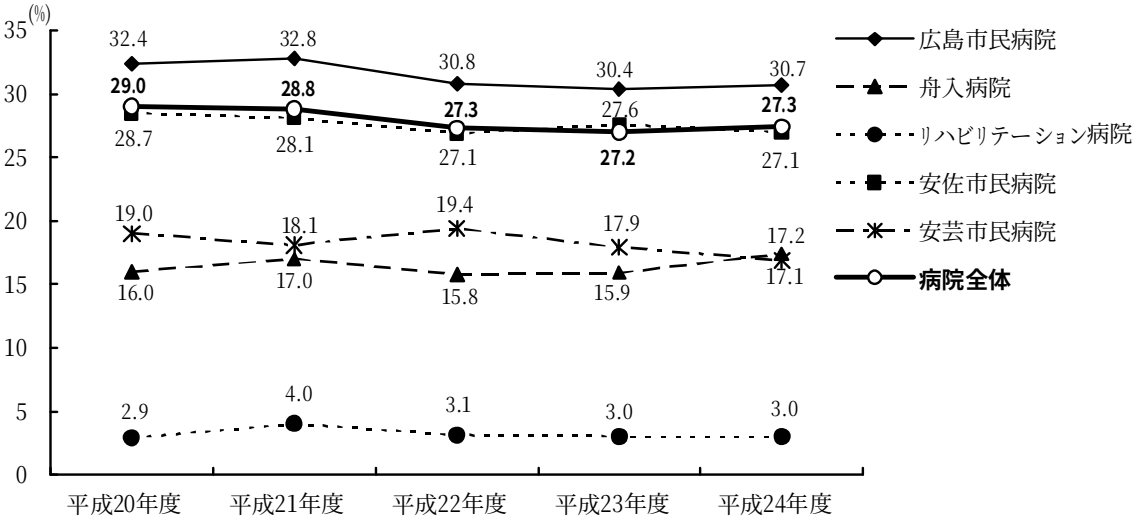
材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は年々増加している。また，病院全体の材料費対医業収益の比率は，平成23年度までは低下していたが，平成24年度は上昇している。

第19図　材料費の推移



（注）　安芸市民病院の材料費の額は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表　費用の内訳」(P70)参照）による。

第20図　材料費対医業収益の比率の推移



（注）安芸市民病院の材料費に係る比率は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表　費用の内訳」(P70)参照）による。

オ　経費の状況

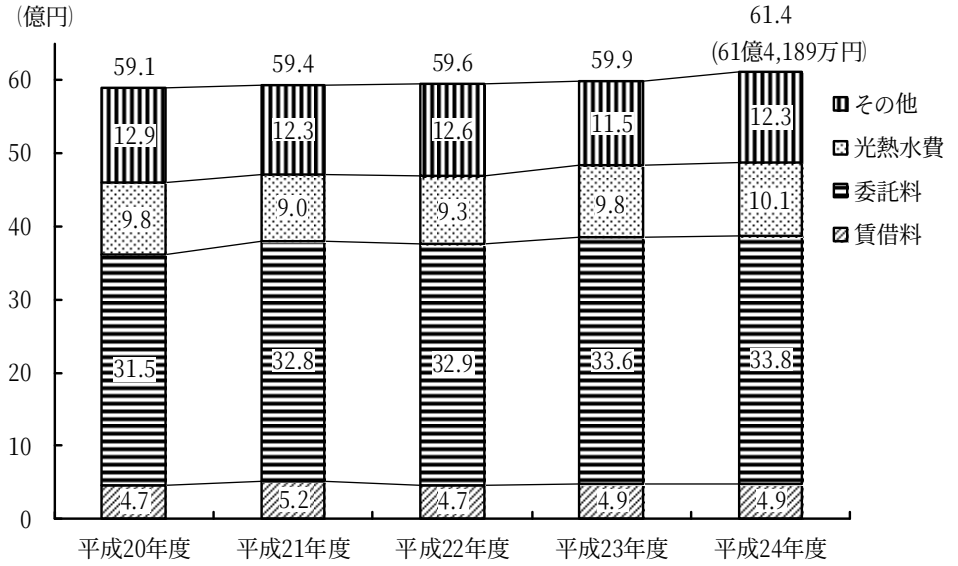
経費は 61 億 4,189 万円で，平成 23 年度と比べて 1 億 4,853 万円増加している。

意見書
P37,P47,
P56,P66,
P70,P76

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料である。平成24年度の経費が平成23年度と比べて増加したのは，主として広島市民病院の光熱水費及び委託料が増加したためである。

経費の過去5年間の推移を見ると，年々増加している。

第21図　経費の推移



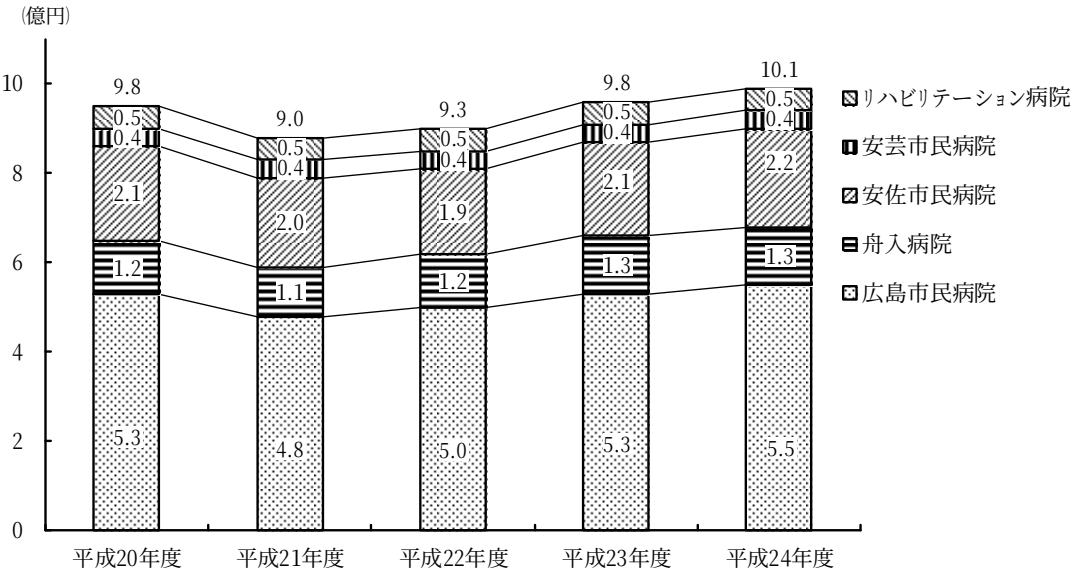
（注） 安芸市民病院の経費の額は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表 費用の内訳」(P70)参照）による。

(ｱ) 光熱水費

光熱水費は，電気使用料，ガス使用料及び水道使用料である。

光熱水費の過去5年間の推移を見ると，平成21年度を除き増加している。

第22図　光熱水費の推移



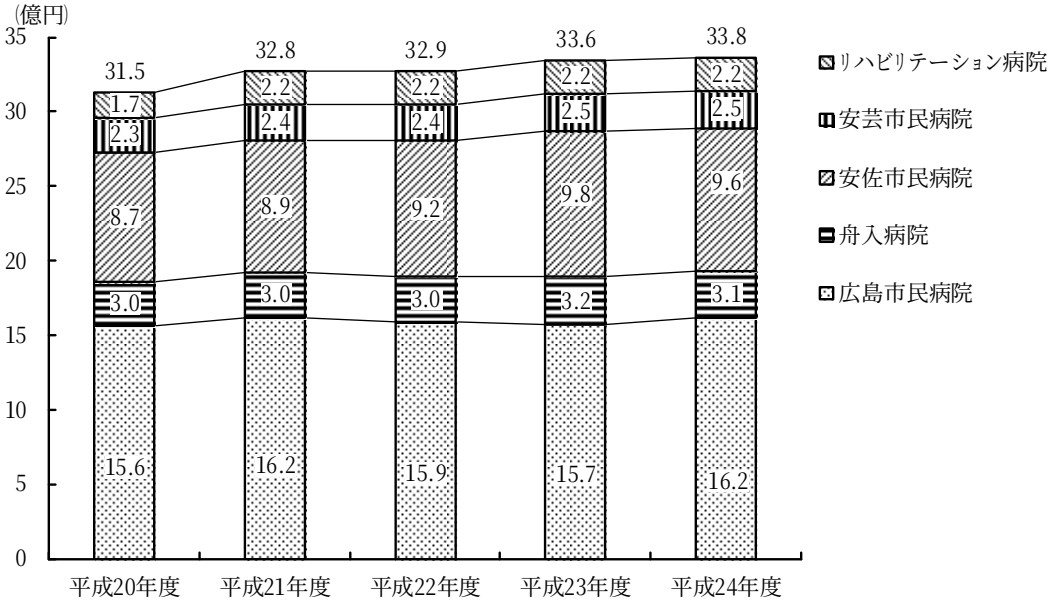
（注） 安芸市民病院の光熱水費の額は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表 費用の内訳」(P70)参照）による。

(ｲ) 委託料

委託料は，医療機器等の保守点検業務，給食業務及び検査業務等の委託に係る費用である。

委託料の過去5年間の推移を見ると，年々増加している。

第23図　委託料の推移



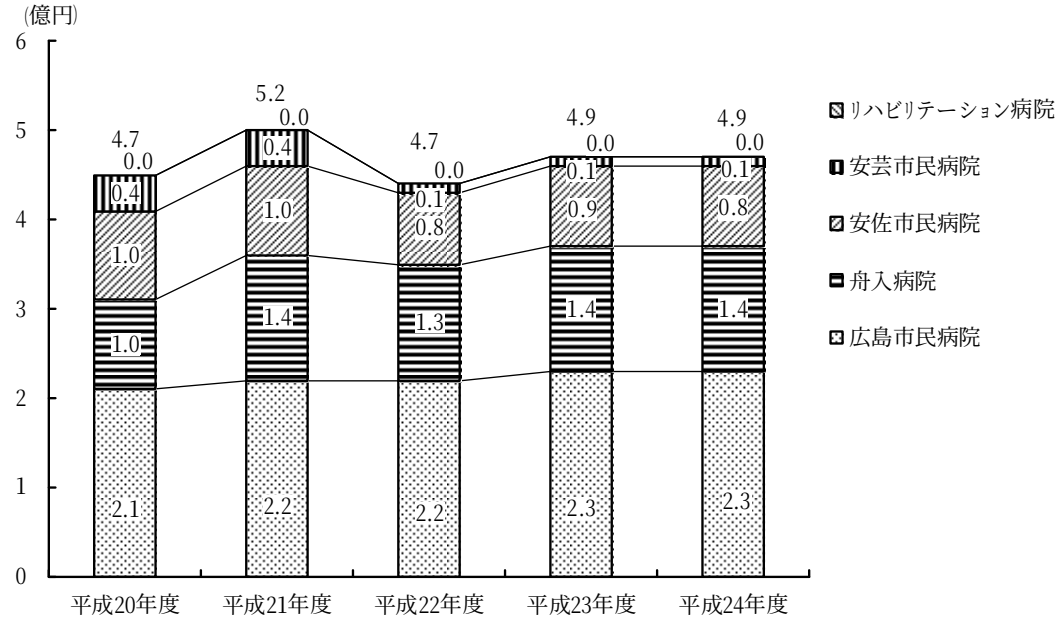
（注） 安芸市民病院の委託料の額は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表 費用の内訳」(P70)参照）による。

(ｳ) 賃借料

賃借料は，医療機器等の借上料及びタクシー借上料等である。

賃借料の過去5年間の推移を見ると，平成22年度を除き増加している。

第24図　賃借料の推移



（注） 安芸市民病院の賃借料の額は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成した管理運営業務の収支決算書に基づき算出した数値（「第47-2表 費用の内訳」(P70)参照）による。

(4) 損益及び医業収支比率等の状況

医業損失は 9 億 6,328 万円，経常利益は 10 億 8,759 万円，純利益は 8 億 6,299 万円となっている。

医業収支比率は 98.0%，経常収支比率は 102.2%，総収支比率は 101.8%であり，平成 23 年度と比べていずれの比率も上昇している。

経常収支比率は平成 22 年度以降 3 年連続で，総収支比率は平成 23 年度に引き続き 2 年連続で 100%を上回っている。

意見書
P38-39,P48-49,
P57-58,P67-68,
P77-78
資料編
P104-105,
P120-121,
P134-135,
P150-151,
P164-165

ア　医業損失及び医業収支比率

平成24年度の医業損失は平成23年度と比べて7億1,208万円減少している。これは，医業収益が診療収入の増等により，医業費用が材料費の増等により，いずれも増加したが，医業収益の増加額が医業費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は98.0%であり，平成23年度と比べて1.5ポイント上昇している。

イ　経常利益及び経常収支比率

平成24年度の経常利益は平成23年度と比べて6億4,887万円増加している。これは，経常収益が医業収益の増等により，経常費用が医業費用の増等により，いずれも増加したが，経常収益の増加額が経常費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は102.2%であり，平成23年度と比べて1.3ポイント上昇している。

ウ　純利益及び総収支比率

平成24年度の純利益は8億6,299万円で，平成23年度と比べて5億9,043万円増加している。これは，総収益が経常収益の増等により，総費用が経常費用及び特別損失の増により，いずれも増加したが，総収益の増加額が総費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は101.8%であり，平成23年度と比べて1.2ポイント上昇している。

なお，これらの指標は100%を超えて比率が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，医業収支比率は100%を下回っているが，経常収支比率及び総収支比率はいずれも100%を上回っている。

第11表　損益等の状況

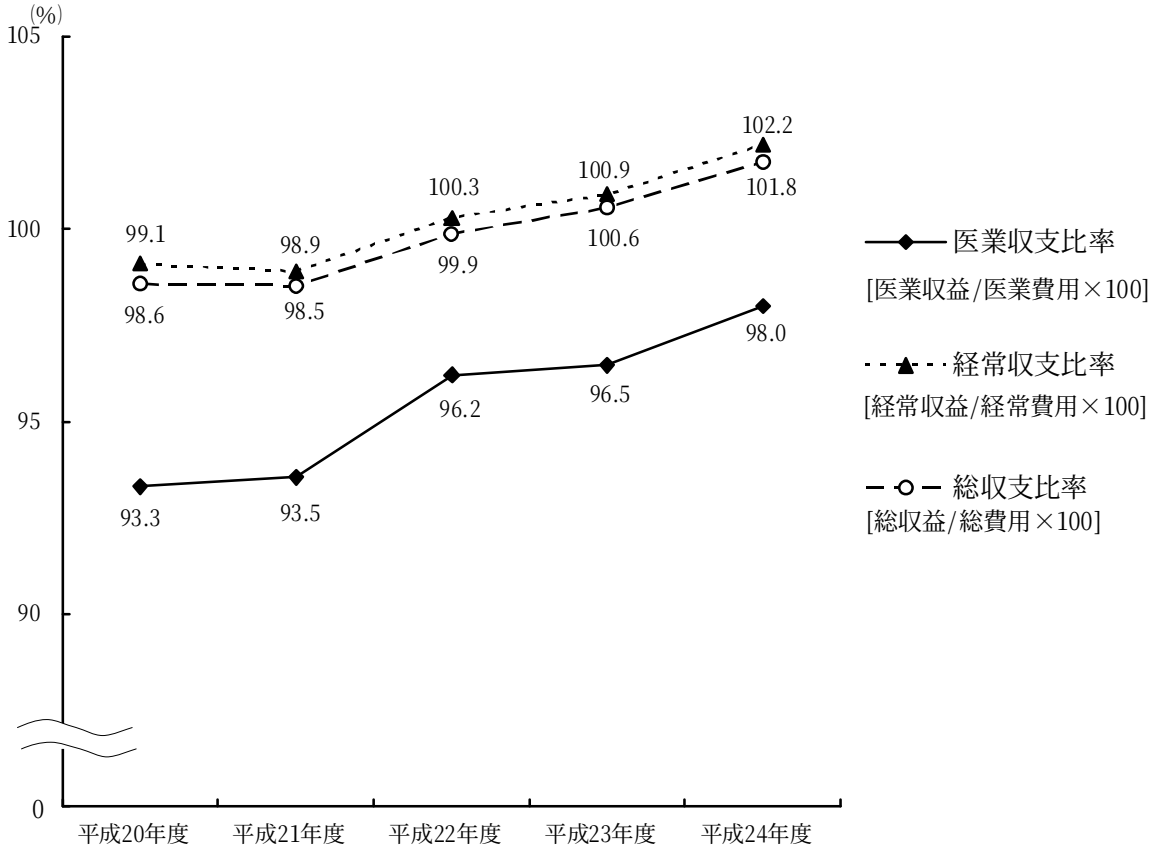
区分		平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
		億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	(A)	469	9418	456	7256	13	2162	2.9
医業費用	(B)	479	5747	473	4793	6	0953	1.3
医業利益(△医業損失)	(A－B)	△ 9	6328	△ 16	7537	7	1208	－
医業外収益	(C)	30	4596	31	6241	△ 1	1645	△ 3.7
医業外費用	(D)	9	9507	10	4832	△	5324	△ 5.1
経常収益	(E＝A＋C)	500	4014	488	3498	12	0516	2.5
経常費用	(F＝B＋D)	489	5254	483	9626	5	5628	1.1
経常利益	(E－F)	10	8759	4	3871	6	4887	－
特別利益	(G)		1455		2502	△	1047	△ 41.9
特別損失	(H)	2	3915	1	9118		4797	25.1
総収益	(I＝E＋G)	500	5470	488	6000	11	9469	2.4
総費用	(J＝F＋H)	491	9170	485	8744	6	0425	1.2
純利益	(I－J)	8	6299	2	7256	5	9043	－

区分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	98.0	96.5	1.5
経常収支比率	(E／F×100)	102.2	100.9	1.3
総収支比率	(I／J×100)	101.8	100.6	1.2

エ　医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると，医業収支比率は，年々上昇している。経常収支比率及び総収支比率は，平成21年度を除き上昇している。

第25図　医業収支比率等の推移



(注)1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
　　2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

(5) 広島市民病院の経営成績

ア　収支の状況

(ｱ) 収　益

平成24年度の収益は278億1,956万円で，平成23年度と比べて6億8,144万円（2.5%）増加している。これは，診療収入が8億5,736万円増加したことなどによるものである。

(ｲ) 費　用

平成24年度の費用は272億1,106万円で，平成23年度と比べて4億6,147万円増加（1.7%）している。これは，材料費が3億5,090万円増加したことなどによるものである。

(ｳ) 損　益

平成24年度の収支は6億850万円の純利益となっており，その額は平成23年度の純利益3億8,854万円と比べて2億1,996万円増加している。

第12表　損益計算書〔広島市民病院〕

区分	平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
収益	億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	265	0693	255	7257	9	3436	3.7
診療収入	253	2595	244	6859	8	5736	3.5
入院収益	184	8412	177	7096	7	1316	4.0
外来収益	68	4183	66	9763	1	4420	2.2
一般会計負担金	5	9650	4	9875		9774	19.6
その他	5	8447	6	0522	△	2074	△ 3.4
医業外収益	13	0491	15	5288	△ 2	4797	△ 16.0
一般会計負担金	8	9135	10	9960	△ 2	0824	△ 18.9
その他	4	1355	4	5328	△	3973	△ 8.8
特別利益		771		1266	△	494	△ 39.0
計（A）	278	1956	271	3812	6	8144	2.5
費用							
医業費用	265	1483	260	4850	4	6633	1.8
給与費	131	8365	131	2773		5591	0.4
材料費	81	2438	77	7348	3	5090	4.5
経費	29	2296	28	4151		8144	2.9
減価償却費	21	7453	21	9916	△	2463	△ 1.1
その他	1	0929	1	0659		270	2.5
医業外費用	5	5417	5	8034	△	2617	△ 4.5
支払利息及び企業債取扱諸費	5	5417	5	8034	△	2617	△ 4.5
特別損失	1	4205	1	2073		2131	17.7
計（B）	272	1106	267	4958	4	6147	1.7
純利益（△純損失）（A－B）	6	0850	3	8854	2	1996	－

（注）　診療収入＝入院収益＋外来収益

イ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

(ｱ) 医療費個人負担分の収納状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分の収納率は97.9%，滞納繰越分の収納率は46.5%となっており，現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は94.4%で，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）を達成している。

収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分は,平成21年度においては低下したが，平成22年度，平成23年度に上昇し，平成24年度は再び低下している。滞納繰越分は，低下と上昇を繰り返している。合計分は，平成21年度を除き上昇している。また，未収金は，年々減少している。

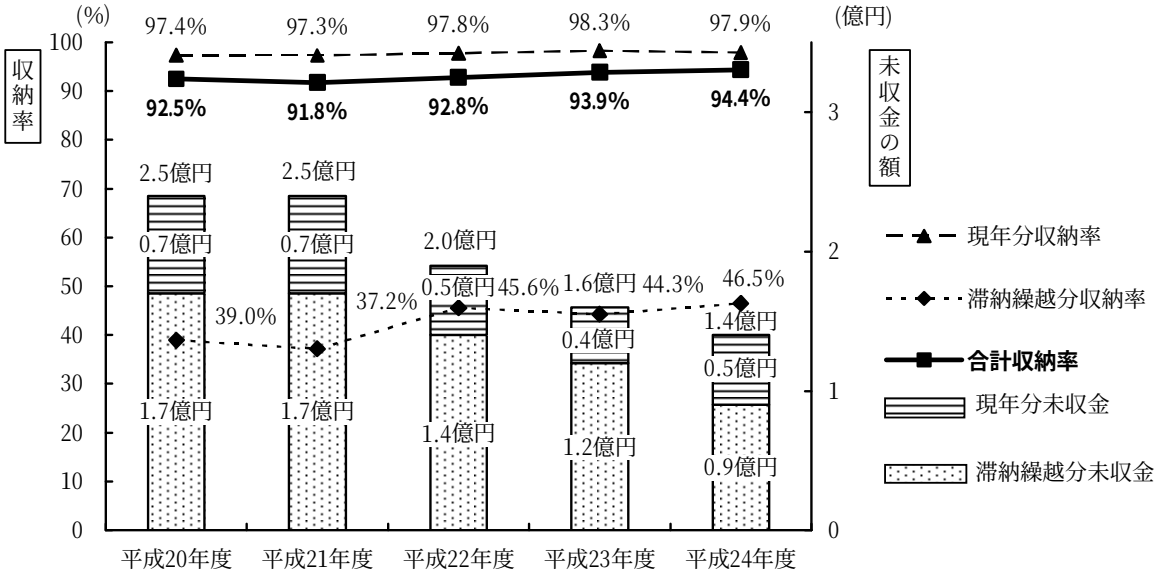
第13表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況〔広島市民病院〕

区分		調定額		収入済額		未収金		収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億	万円	億	万円	億	万円	%	%	
入院	現年分	14	7931	14	3794		4136	97.2	―	―
	滞納繰越分	1	3524		6491		7032	48.0	―	―
	計	16	1455	15	0286	1	1169	93.1	―	―
外来	現年分	9	9880	9	8913		966	99.0	―	―
	滞納繰越分		4711		1985		2726	42.1	―	―
	計	10	4592	10	0899		3693	96.5	―	―
合計	現年分	24	7812	24	2708		5103	97.9	97.9	0.0
	滞納繰越分	1	8236		8476		9759	46.5	48.2	△ 1.7
	計	26	6048	25	1185	1	4862	94.4	93.7	0.7

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
　　2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
　　4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

第26図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移

〔広島市民病院〕



(ｲ) 医療費個人負担分の不納欠損の状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損は，534件，1,339万円であり，平成23年度と比べて合計件数は減少し，合計金額は増加している。不納欠損を行った主な理由は，時効の援用による債権放棄である。

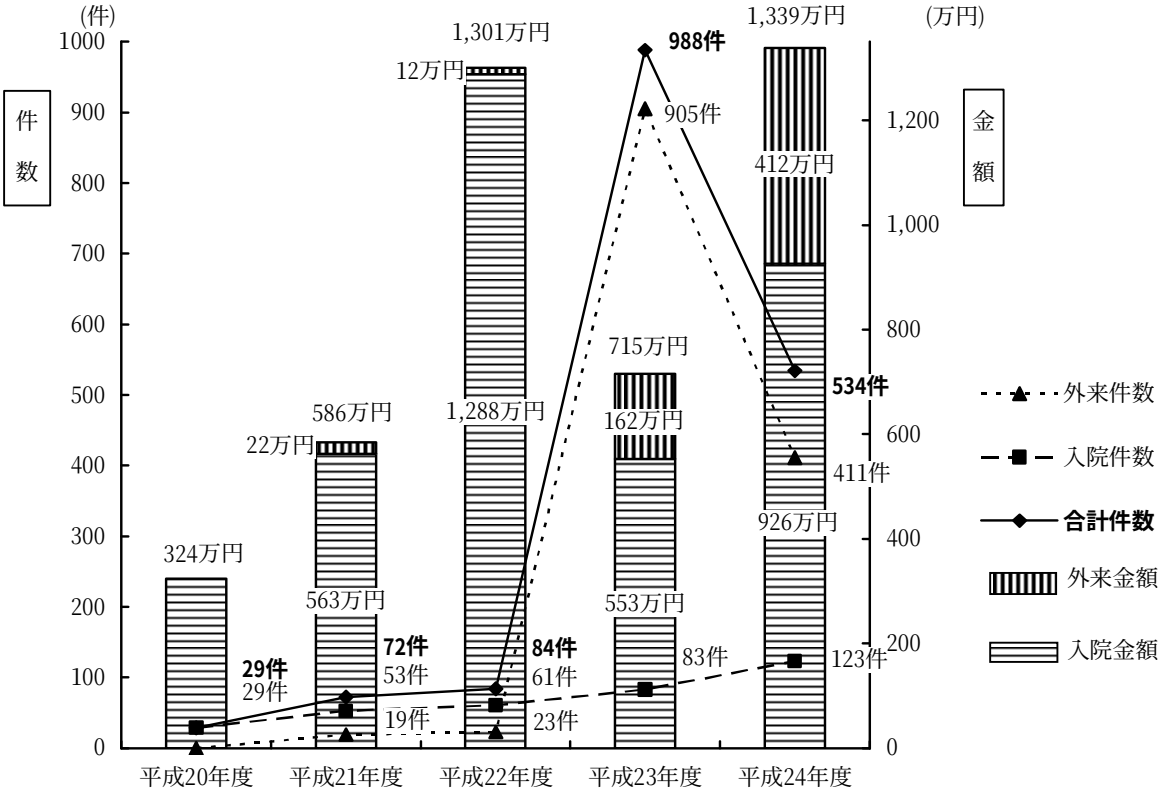
不納欠損の過去5年間の推移を見ると，合計件数は平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。また，合計金額は平成23年度を除き増加している。

第14表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の状況〔広島市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減(A－B)	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
	件	万円	件	万円	件	万円
入　　院	123	926	83	553	40	373
外　　来	411	412	905	162	△　494	250
合　　計	534	1339	988	715	△　454	623

（注）　1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第27図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の推移〔広島市民病院〕



ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数の状況

平成24年度末の職員数（休職者等を除き，嘱託・臨時職員を含む。）は1,668人で，平成23年度末と比べて68人（4.3%）増加している。

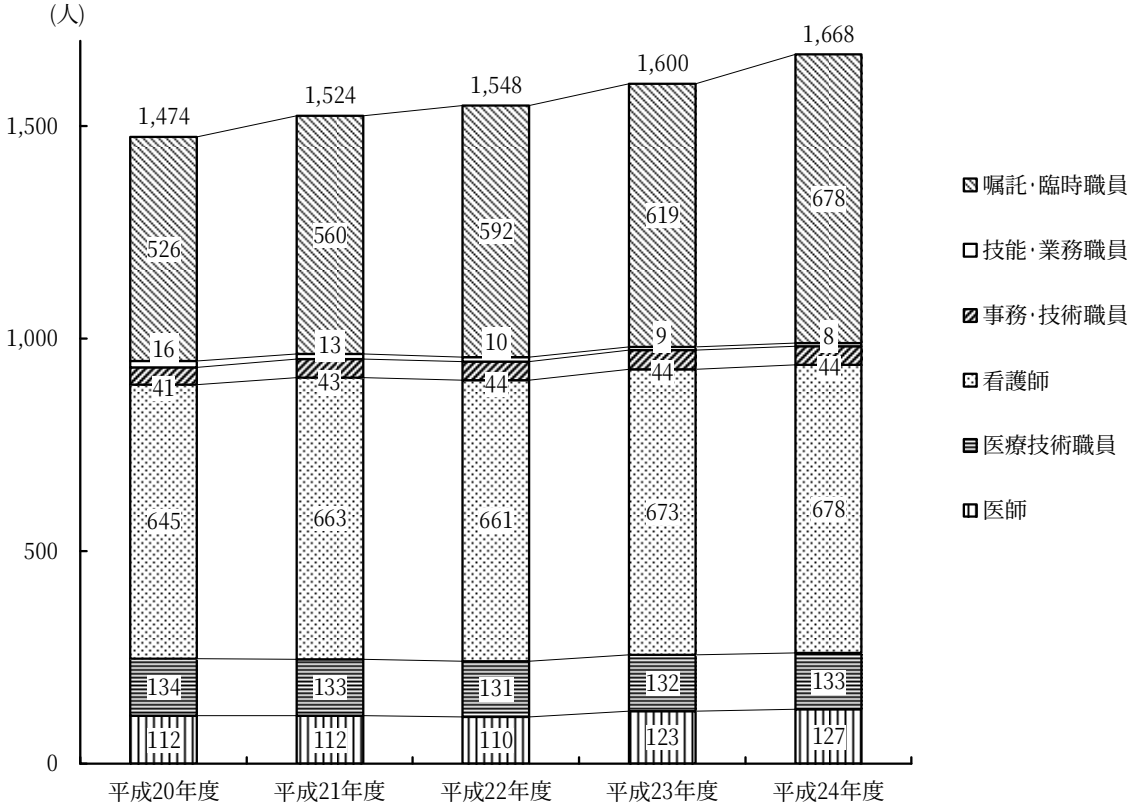
職員数の過去5年間の推移を見ると，年々増加している。

第15表　職員数の状況〔広島市民病院〕

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	人	人	人	%
医師	127	123	4	3.3
医療技術職員	133	132	1	0.8
看護師	678	673	5	0.7
事務・技術職員	44	44	0	0.0
技能・業務職員	8	9	△ 1	△ 11.1
小計	990	981	9	0.9
嘱託・臨時職員	678	619	59	9.5
合計	1,668	1,600	68	4.3

（注）　職員数は，年度末の休職者等を除いたものである。

第28図　職員数の推移〔広島市民病院〕



(ｲ) 給与費の状況

平成24年度の給与費は131億8,365万円で，平成23年度と比べて5,591万円（0.4%）増加している。これは，主として手当が増加したことによるものである。

また，職員1人当たりの平均給与費（退職給与金を除く。）は756万円で，平成23年度と比べて17万円（2.3%）減少している。

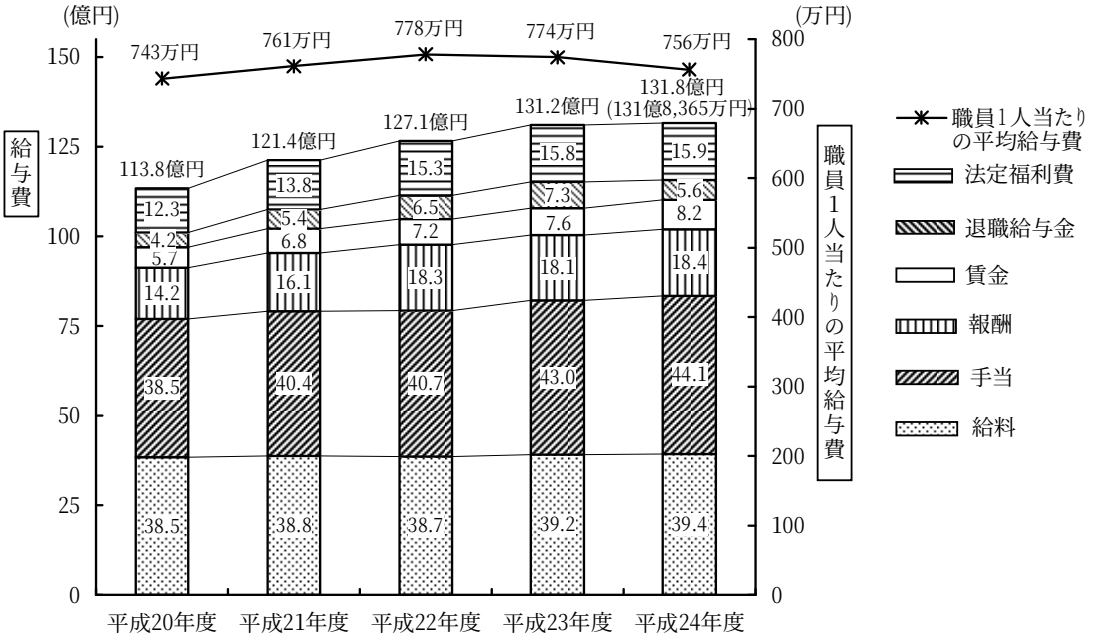
給与費等の過去5年間の推移を見ると，給与費は年々増加している。また，職員1人当たりの平均給与費は，平成22年度までは増加していたが，平成23年度以降は減少している。

第16表　給与費の状況〔広島市民病院〕

区分		平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）		対前年度増減率
		億	万円	億	万円	億	万円	%
給与費		131	8365	131	2773		5591	0.4
	給料	39	4271	39	2474		1796	0.5
	手当	44	1449	43	0690	1	0759	2.5
	報酬	18	4279	18	1006		3273	1.8
	賃金	8	2866	7	6014		6851	9.0
	退職給与金	5	6216	7	3901	△ 1	7685	△ 23.9
	法定福利費	15	9282	15	8686		595	0.4
職員1人当たりの平均給与費		756万円		774万円		△ 17万円		△ 2.3

(注)　1 災害補償費は，その決算額がある場合には，法定福利費に含める。
　　2 職員1人当たりの平均給与費は，退職給与金を除いて算出したものである。

第29図　給与費の推移〔広島市民病院〕



(ｳ) 給与費対医業収益の比率等の状況

平成24年度の給与費対医業収益の比率（給与費は退職給与金を除く。）は47.6%で，平成23年度と比べて0.8ポイント低下している。これは，医業収益及び給与費がいずれも増加したものの，医業収益の増加率が給与費のそれを上回ったことによるものである。

また，職員1人当たりの医業収益は1,589万円で，平成23年度と比べて9万円減少している。

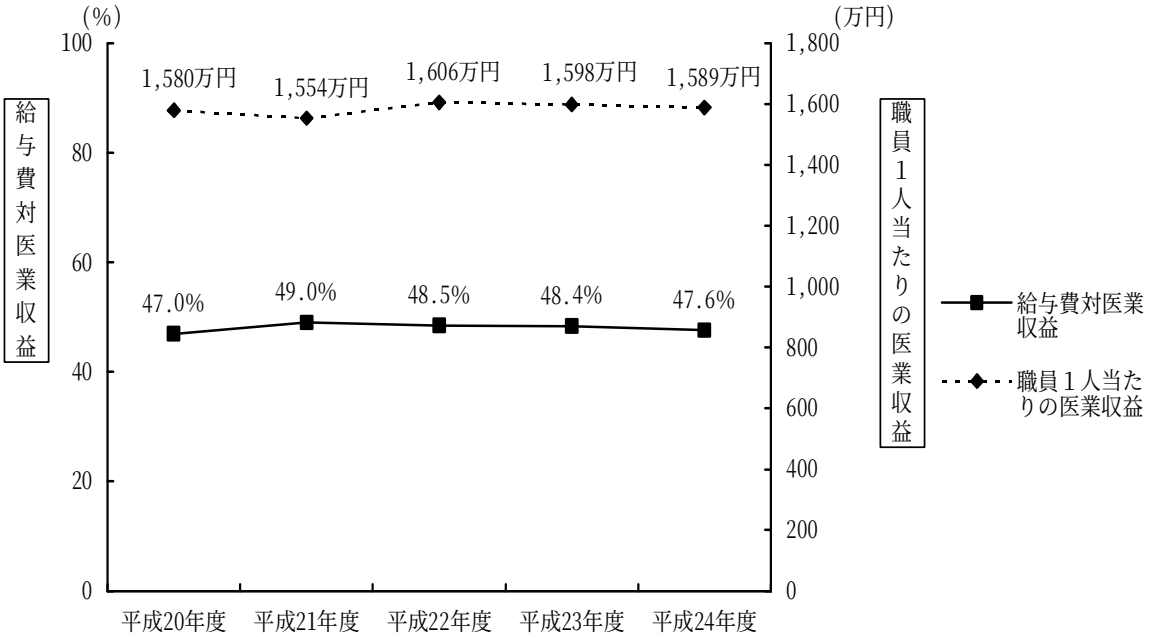
給与費対医業収益の比率等の過去5年間の推移を見ると，給与費対医業収益の比率は，平成21年度を除き低下している。また，職員1人当たりの医業収益は，平成22年度を除き減少している。

第17表　給与費対医業収益の比率等の状況〔広島市民病院〕

区　　分		平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）
給与費対医業収益	$\left[\frac{給与費}{医業収益}\times 100\right]$ (%)	47.6	48.4	△ 0.8
職員1人当たりの医業収益	$\left[\frac{医業収益}{職員数}\right]$ (万円)	1,589	1,598	△ 9

（注）　給与費対医業収益比率は，退職給与金を除いて算出したものである。

第30図　給与費対医業収益の比率等の推移〔広島市民病院〕



エ　材料費の状況

平成24年度の材料費は81億2,438万円で，平成23年度と比べて3億5,090万円（4.5%）増加している。これは，主として診療材料費が増加したことによるものである。

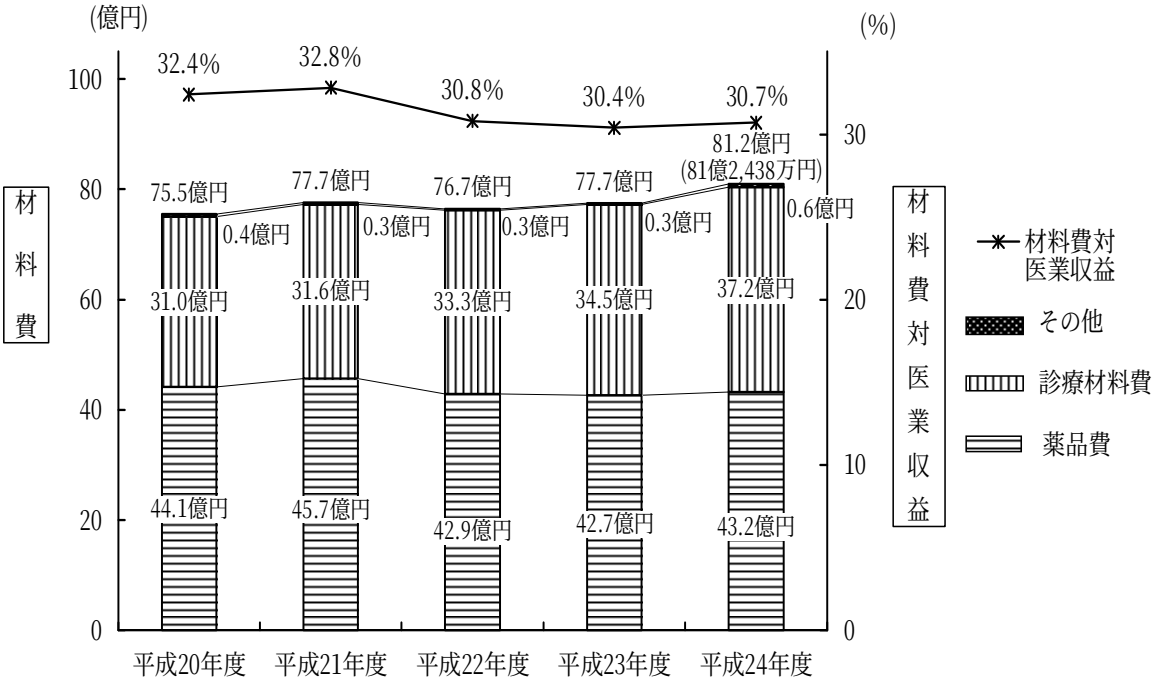
材料費対医業収益の比率は30.7%で，平成23年度と比べて0.3ポイント上昇している。

材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は，平成22年度を除き増加している。また，材料費対医業収益の比率は，平成21年度においては上昇したが，平成22年度，平成23年度に低下し，平成24年度は再び上昇している。

第18表　材料費の状況〔広島市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）		対前年度増減率
	億	万円	億	万円	億	万円	%
材　料　費	81	2438	77	7348	3	5090	4.5
薬　品　費	43	2618	42	7669		4948	1.2
診療材料費	37	2939	34	5980	2	6959	7.8
そ　の　他		6880		3697		3183	86.1
材料費対医業収益	30.7%		30.4%		0.3		－

第31図　材料費の推移〔広島市民病院〕



オ　経費の状況

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料であり，平成24年度においては，平成23年度と比べて光熱水費及び委託料は増加し，賃借料は減少している。

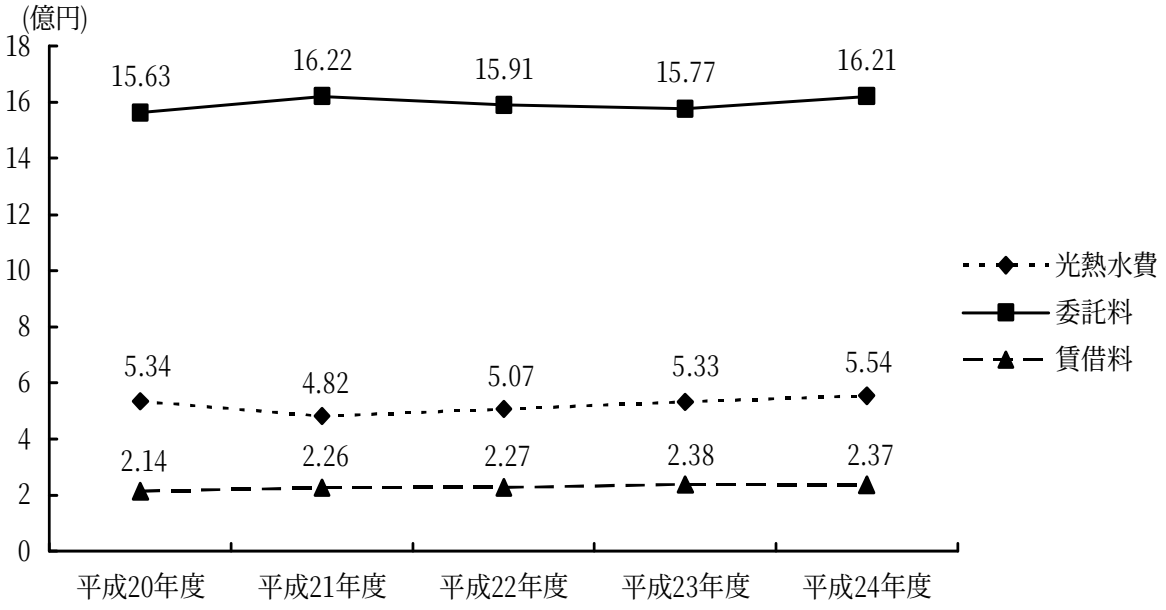
光熱水費が増加したのは，電気使用料の増等によるものである。委託料が増加したのは，マルチスライスＸ線ＣＴ装置の保守点検業務に係る委託料の増等によるものである。

主な経費の過去5年間の推移を見ると，光熱水費は，平成21年度を除き増加している。委託料は平成21年度においては増加したが，平成22年度，平成23年度に減少し，平成24年度は再び増加している。賃借料は，平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。

第19表　主な経費の状況〔広島市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	対前年度増減率
	億	万円	億	万円	万円	%
光熱水費	5	5422	5	3323	2099	3.9
委託料	16	2165	15	7717	4447	2.8
賃借料	2	3757	2	3825	△ 68	△ 0.3

第32図　主な経費の推移〔広島市民病院〕



カ　損益及び医業収支比率等の状況

(ｱ) 医業損失及び医業収支比率

平成24年度の医業損失は789万円で，平成23年度と比べて4億6,802万円減少している。これは，医業収益が診療収入の増等により，医業費用が材料費の増等により，いずれも増加したが，医業収益の増加額が医業費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は，100.0%であり，平成23年度と比べて1.8ポイント上昇している。

(ｲ) 経常利益及び経常収支比率

平成24年度の経常利益は7億4,284万円で，平成23年度と比べて2億4,622万円増加している。これは，経常収益が医業収益の増等により，経常費用が医業費用の増等により，いずれも増加したが，経常収益の増加額が経常費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は102.7%であり，平成23年度と比べて0.8ポイント上昇している。

(ｳ) 純利益及び総収支比率

平成24年度の純利益は6億850万円で，平成23年度と比べて2億1,996万円増加している。これは，総収益が経常収益の増等により，総費用が経常費用及び特別損失の増により，いずれも増加したが，総収益の増加額が総費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は102.2%であり，平成23年度と比べて0.7ポイント上昇している。

なお，これらの指標は100%を超えて指標が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，医業収支比率は100%となっているが，経常収支比率及び総収支比率は100%を上回っている。

第20表　損益等の状況〔広島市民病院〕

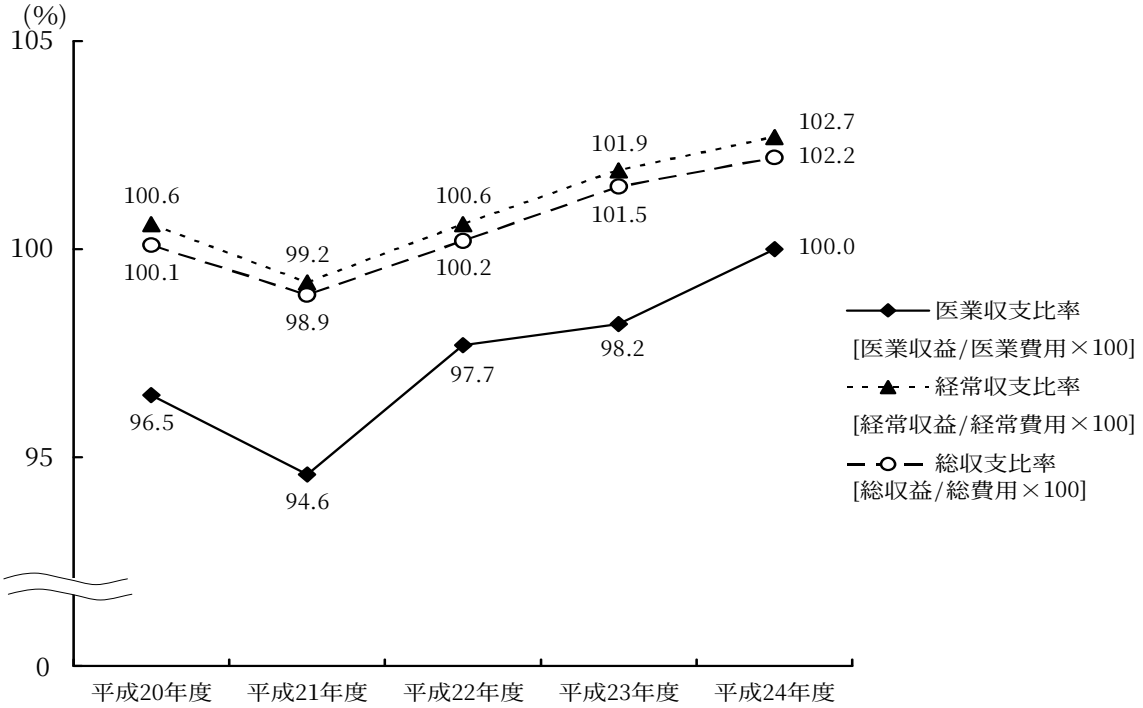
区　　分		平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
		億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	(A)	265	0693	255	7257	9	3436	3.7
医業費用	(B)	265	1483	260	4850	4	6633	1.8
医業利益(△医業損失)	(A－B)	△	789	△ 4	7592	4	6802	－
医業外収益	(C)	13	0491	15	5288	△ 2	4797	△ 16.0
医業外費用	(D)	5	5417	5	8034	△	2617	△ 4.5
経常収益	(E＝A＋C)	278	1184	271	2546	6	8638	2.5
経常費用	(F＝B＋D)	270	6900	266	2884	4	4016	1.7
経常利益(△経常損失)	(E－F)	7	4284	4	9661	2	4622	－
特別利益	(G)		771		1266	△	494	△ 39.0
特別損失	(H)	1	4205	1	2073		2131	17.7
総収益	(I＝E＋G)	278	1956	271	3812	6	8144	2.5
総費用	(J＝F＋H)	272	1106	267	4958	4	6147	1.7
純利益(△純損失)	(I－J)	6	0850	3	8854	2	1996	－

区　　分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	100.0	98.2	1.8
経常収支比率	(E／F×100)	102.7	101.9	0.8
総収支比率	(I／J×100)	102.2	101.5	0.7

(I) 医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると，いずれも平成21年度を除き上昇している。

第33図　医業収支比率等の推移〔広島市民病院〕



（注）1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
　　2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

(6) 舟入病院の経営成績

ア　収支の状況

(ｱ) 収　益

平成24年度の収益は36億239万円で，平成23年度と比べて768万円（0.2%）減少している。これは，他会計補助金が3,275万円減少したことなどによるものである。

(ｲ) 費　用

平成24年度の費用は38億3,527万円で，平成23年度と比べて12万円（0.0%）減少している。これは，給与費が4,380万円減少したことなどによるものである。

(ｳ) 損　益

平成24年度の収支は2億3,287万円の純損失となっており，その額は平成23年度の純損失2億2,531万円と比べて756万円増加している。

第21表　損益計算書〔舟入病院〕

区分	平成24年度		平成23年度		増△減	対前年度増減率
収益	億	万円	億	万円	万円	%
医業収益	30	9354	30	9514	△ 160	△ 0.1
診療収入	26	2038	26	2635	△ 596	△ 0.2
入院収益	14	6808	14	8278	△ 1469	△ 1.0
外来収益	11	5229	11	4356	873	0.8
一般会計負担金	3	7625	3	7056	569	1.5
その他		9690		9823	△ 132	△ 1.3
医業外収益	5	0620	5	1292	△ 672	△ 1.3
他会計補助金		5866		9141	△ 3275	△ 35.8
一般会計負担金	3	5524	3	2568	2955	9.1
その他		9229		9583	△ 353	△ 3.7
特別利益		265		200	64	32.3
計（A）	36	0239	36	1008	△ 768	△ 0.2
費用						
医業費用	36	7550	36	8276	△ 725	△ 0.2
給与費	19	1993	19	6374	△ 4380	△ 2.2
材料費	5	3260	4	9358	3901	7.9
経費	7	6695	7	7618	△ 922	△ 1.2
減価償却費	4	4261	4	3841	420	1.0
その他		1339		1083	256	23.7
医業外費用	1	3290	1	4077	△ 786	△ 5.6
支払利息及び企業債取扱諸費	1	3290	1	4077	△ 786	△ 5.6
雑損失		0		0	0	－
特別損失		2686		1186	1500	126.5
計（B）	38	3527	38	3539	△ 12	△ 0.0
純利益（△純損失）（A－B）	△ 2	3287	△ 2	2531	△ 756	－

（注）　診療収入＝入院収益＋外来収益

イ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

(ｱ) 医療費個人負担分の収納状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分の収納率は97.2%，滞納繰越分の収納率は33.6%となっており，現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は91.1%で，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）と比べて2.6ポイント下回っている。

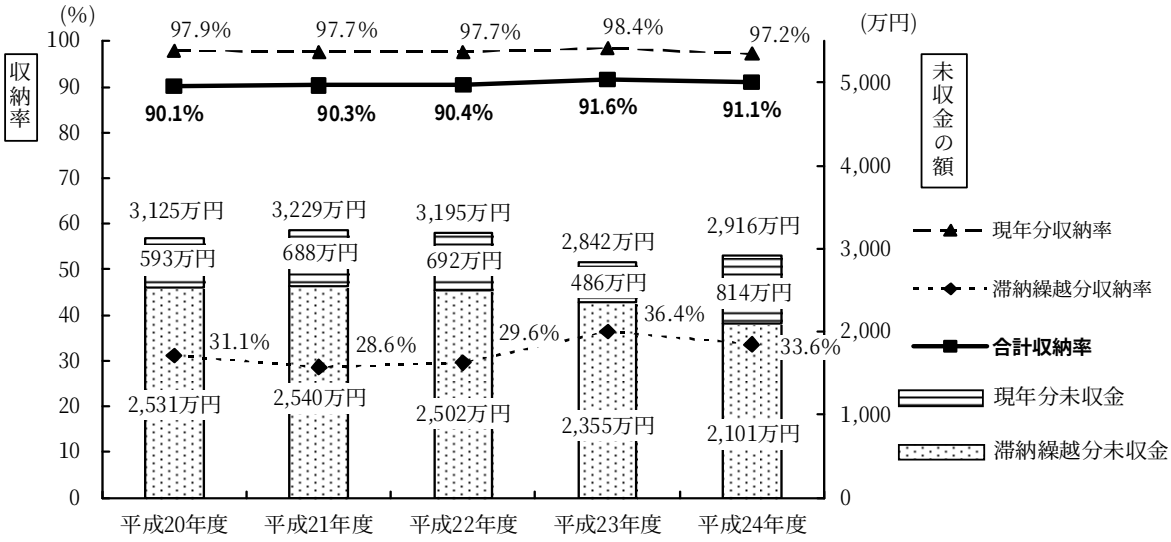
収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分は平成21年度においては低下したが，平成23年度に上昇し，平成24年度は再び低下している。滞納繰越分は，平成21年度においては低下したが，平成22年度，平成23年度に上昇し，平成24年度は再び低下している。合計分は，平成23年度までは上昇していたが，平成24年度は低下している。また，未収金は，平成21年度においては増加したが，平成22年度，平成23年度に減少し，平成24年度は再び増加している。

第22表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況〔舟入病院〕

区分		調定額	収入済額	未収金	収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億　万円	億　万円	万円	%	%	
入院	現年分	1 7050	1 6456	594	96.5	－	－
	滞納繰越分	2540	923	1617	36.3	－	－
	計	1 9591	1 7379	2211	88.7	－	－
外来	現年分	1 2529	1 2309	219	98.2	－	－
	滞納繰越分	625	140	484	22.5	－	－
	計	1 3154	1 2450	704	94.6	－	－
合計	現年分	2 9580	2 8765	814	97.2	97.9	△ 0.7
	滞納繰越分	3165	1063	2101	33.6	48.2	△ 14.6
	計	3 2745	2 9829	2916	91.1	93.7	△ 2.6

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
　　2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
　　4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

第34図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移〔舟入病院〕



(ｲ) 医療費個人負担分の不納欠損の状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損は，49件，112万円であり，平成23年度と比べて合計件数及び合計金額は，それぞれ増加している。不納欠損を行った主な理由は，所在不明による債権放棄である。

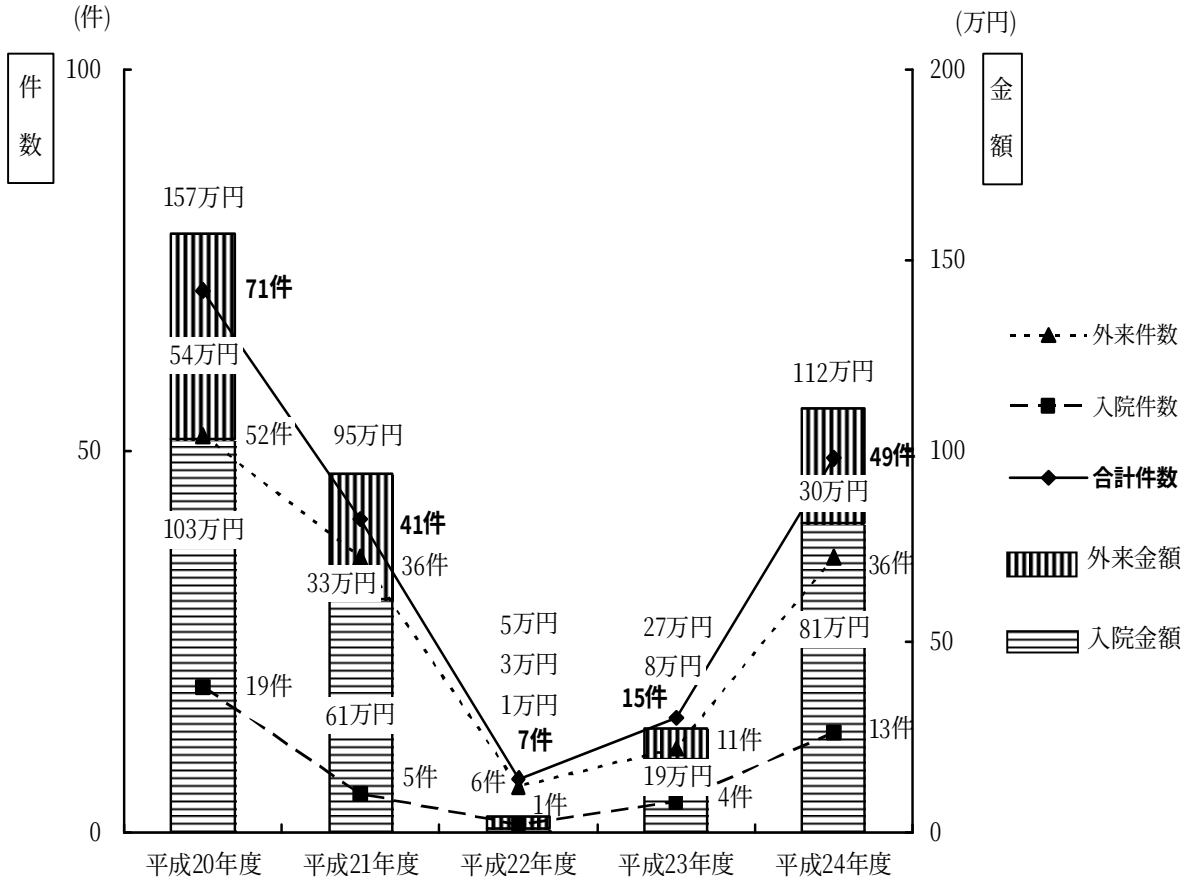
不納欠損の過去5年間の推移を見ると，合計件数及び合計金額は，いずれも平成22年度までは減少していたが，平成23年度以降は増加している。

第23表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の状況〔舟入病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減(A－B)	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
	件	万円	件	万円	件	万円
入　　院	13	81	4	19	9	61
外　　来	36	30	11	8	25	22
合　　計	49	112	15	27	34	84

（注）　1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第35図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の推移〔舟入病院〕



ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数の状況

平成24年度末の職員数（休職者等を除き，嘱託・臨時職員を含む。）は240人で，平成23年度末と比べて1人（0.4%）減少している。

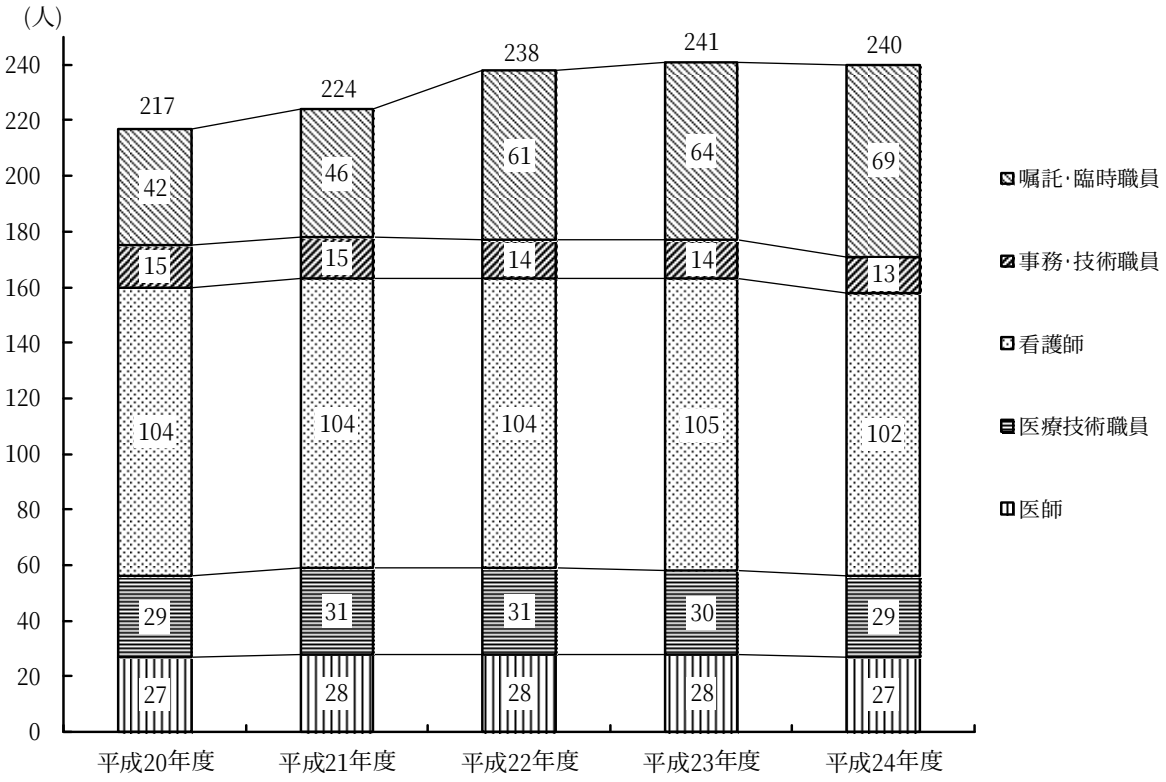
職員数の過去5年間の推移を見ると，平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。

第24表　職員数の状況〔舟入病院〕

区分	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増△減 (A－B)	対前年度増減率
	人	人	人	%
医師	27	28	△ 1	△ 3.6
医療技術職員	29	30	△ 1	△ 3.3
看護師	102	105	△ 3	△ 2.9
事務・技術職員	13	14	△ 1	△ 7.1
小計	171	177	△ 6	△ 3.4
嘱託・臨時職員	69	64	5	7.8
合計	240	241	△ 1	△ 0.4

（注）職員数は，年度末の休職者等を除いたものである。

第36図　職員数の推移〔舟入病院〕



(ｲ) 給与費の状況

平成24年度の給与費は19億1,993万円で,平成23年度と比べて4,380万円(2.2%)減少している。これは，賃金が減少したことなどによるものである。

また，職員1人当たりの平均給与費（退職給与金を除く。）は747万円で，平成23年度と比べて9万円（1.3%）減少している。

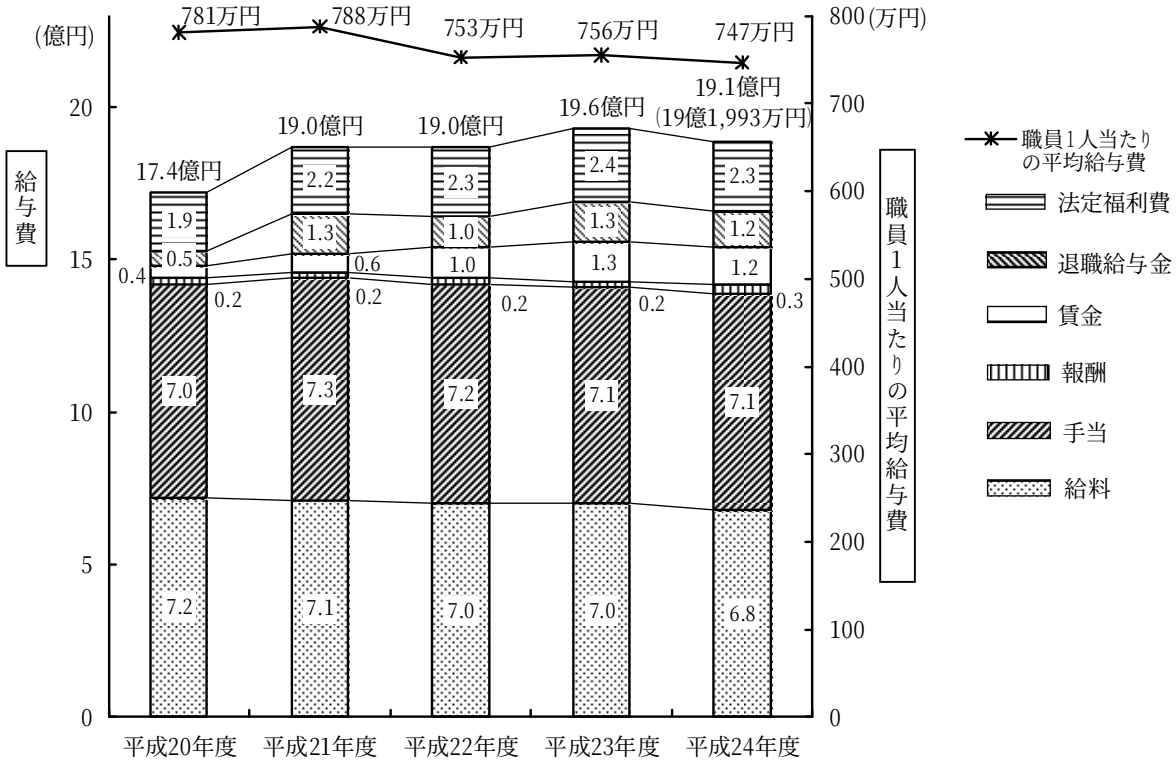
給与費等の過去5年間の推移を見ると，給与費及び職員1人当たりの平均給与費は，いずれも増加と減少を繰り返している。

第25表　給与費の状況〔舟入病院〕

区分		平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	対前年度増減率
		億	万円	億	万円	万円	%
給与費		19	1993	19	6374	△ 4380	△ 2.2
	給料	6	8874	7	0101	△ 1226	△ 1.7
	手当	7	1848	7	1989	△ 141	△ 0.2
	報酬		3018		2487	531	21.4
	賃金	1	2183	1	3530	△ 1346	△ 10.0
	退職給与金	1	2601	1	3944	△ 1343	△ 9.6
	法定福利費	2	3466	2	4320	△ 853	△ 3.5
職員1人当たりの平均給与費		747万円		756万円		△ 9万円	△ 1.3

(注) 1　災害補償費は，その決算額がある場合には，法定福利費に含める。
2　職員1人当たりの平均給与費は，退職給与金を除いて算出したものである。

第37図　給与費の推移〔舟入病院〕



(ｳ) 給与費対医業収益の比率等の状況

平成24年度の給与費対医業収益の比率（給与費は退職給与金を除く。）は58.0%で，平成23年度と比べて0.9ポイント低下している。これは，医業収益及び給与費がいずれも減少したものの，給与費の減少率が医業収益のそれを上回ったことによるものである。

また，職員1人当たりの医業収益は1,288万円で，平成23年度と比べて4万円増加している。

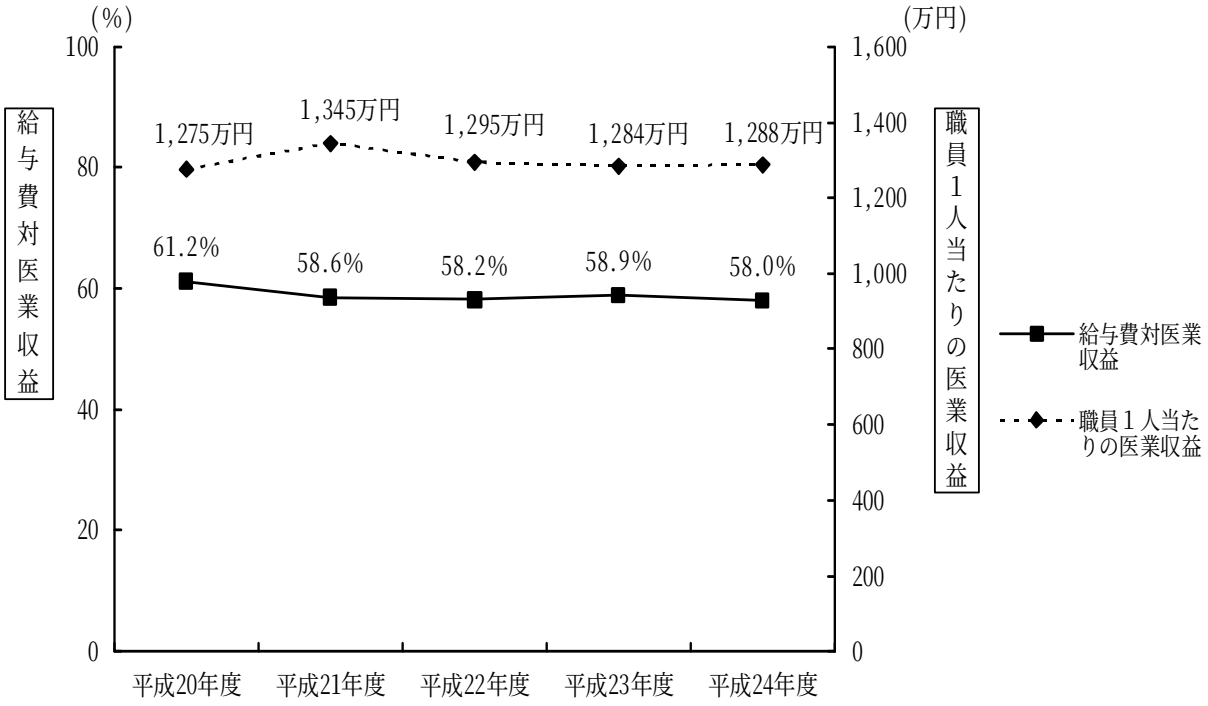
給与費対医業収益の比率等の過去5年間の推移を見ると，給与費対医業収益の比率は，平成23年度を除き低下している。また，職員1人当たりの医業収益は，平成21年度においては増加したが，平成22年度，平成23年度に減少し，平成24年度は再び増加している。

第26表　給与費対医業収益の比率等の状況〔舟入病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）
給与費対医業収益 〔給与費／医業収益×100〕 (%)	58.0	58.9	△ 0.9
職員1人当たりの医業収益 〔医業収益／職員数〕 (万円)	1,288	1,284	4

（注）　給与費対医業収益比率は，退職給与金を除いて算出したものである。

第38図　給与費対医業収益の比率等の推移〔舟入病院〕



エ　材料費の状況

平成24年度の材料費は5億3,260万円で，平成23年度と比べて3,901万円（7.9%）増加している。これは，主として薬品費が増加したことによるものである。

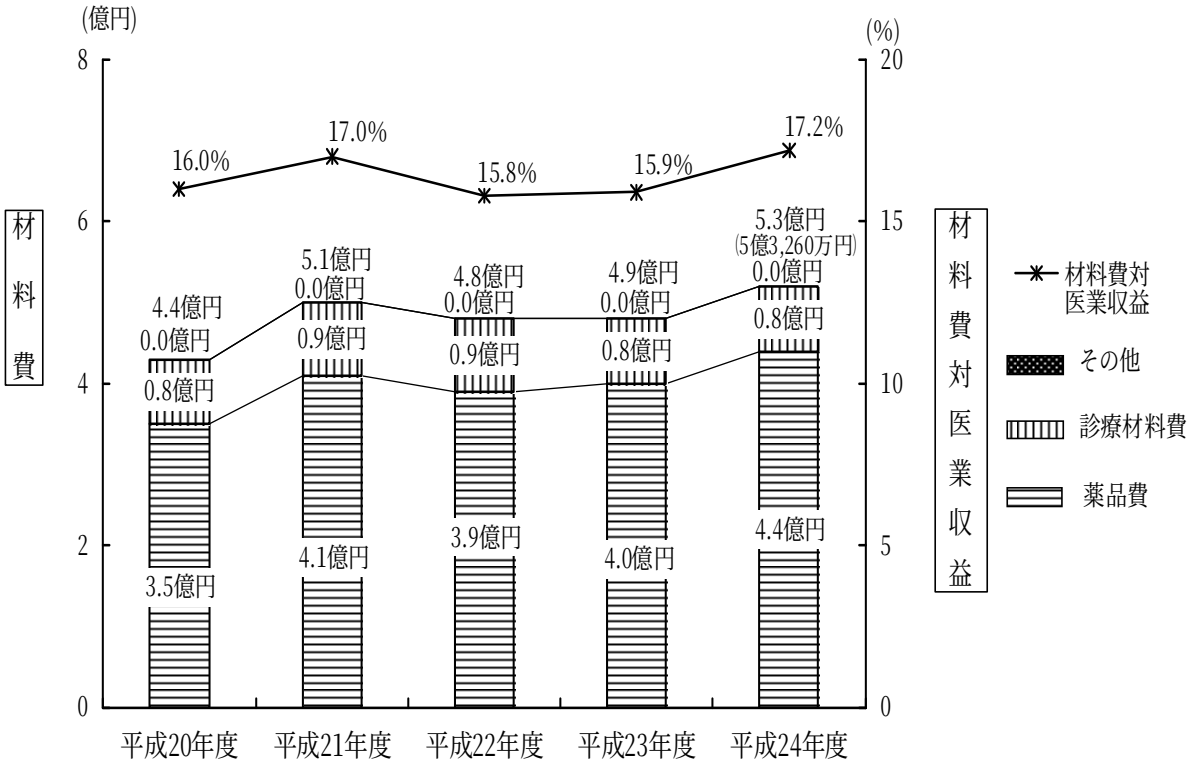
材料費対医業収益の比率は17.2%で，平成23年度と比べて1.3ポイント上昇している。

材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は，平成22年度を除き増加している。また，材料費対医業収益の比率は，平成22年度を除き上昇している。

第27表　材料費の状況〔舟入病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
材料費	5 3260	4 9358	3901	7.9
薬品費	4 4021	4 0631	3390	8.3
診療材料費	8698	8321	377	4.5
その他	540	406	133	32.8
材料費対医業収益	17.2%	15.9%	1.3	―

第39図　材料費の推移〔舟入病院〕



オ　経費の状況

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料であり，平成24年度においては，平成23年度と比べて光熱水費及び賃借料は増加し，委託料は減少している。

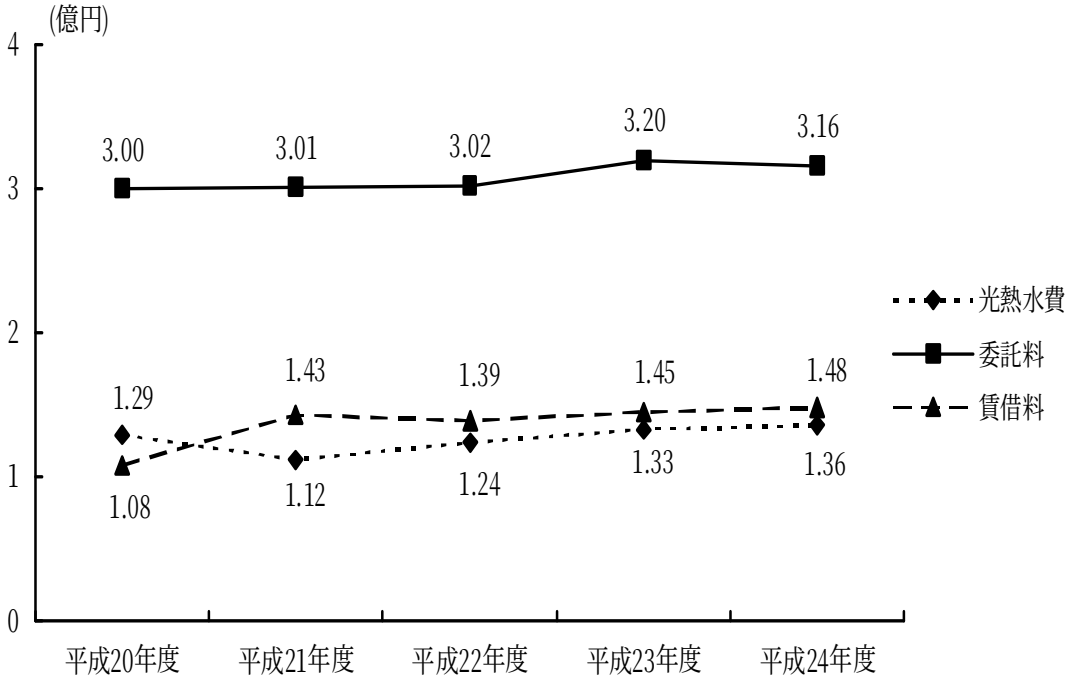
光熱水費が増加したのは，主としてガス使用料の増によるものである。委託料が減少したのは，警備業務に係る委託料の減等によるものである。賃借料が増加したのは，主として職員公舎借上料の増によるものである。

主な経費の過去5年間の推移を見ると，光熱水費は，平成21年度を除き増加している。委託料は，平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。賃借料は，平成22年度を除き増加している。

第28表　主な経費の状況〔舟入病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
光熱水費	1 3695	1 3334	360	2.7
委託料	3 1658	3 2049	△ 391	△ 1.2
賃借料	1 4838	1 4547	291	2.0

第40図　主な経費の推移〔舟入病院〕



カ　損益及び医業収支比率等の状況

(ｱ) 医業損失及び医業収支比率

平成24年度の医業損失は5億8,196万円で，平成23年度と比べて565万円減少している。これは，医業収益が診療収入の減等により，医業費用が給与費の減等により，いずれも減少したが，医業費用の減少額が医業収益のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は84.2%であり，平成23年度と比べて0.2ポイント上昇している。

(ｲ) 経常損失及び経常収支比率

平成24年度の経常損失は2億866万円で，平成23年度と比べて679万円減少している。これは，経常収益が医業外収益の減等により，経常費用が医業外費用の減等により，いずれも減少したが，経常費用の減少額が経常収益のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は94.5%であり，平成23年度と比べて0.1ポイント上昇している。

(ｳ) 純損失及び総収支比率

平成24年度の純損失は2億3,287万円で，平成23年度と比べて756万円増加している。これは，特別損失が増加したことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は93.9%であり，平成23年度と比べて0.2ポイント低下している。

なお，これらの指標は100%を超えて比率が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，いずれの比率も100%を下回っている。

第29表　損益等の状況〔舟入病院〕

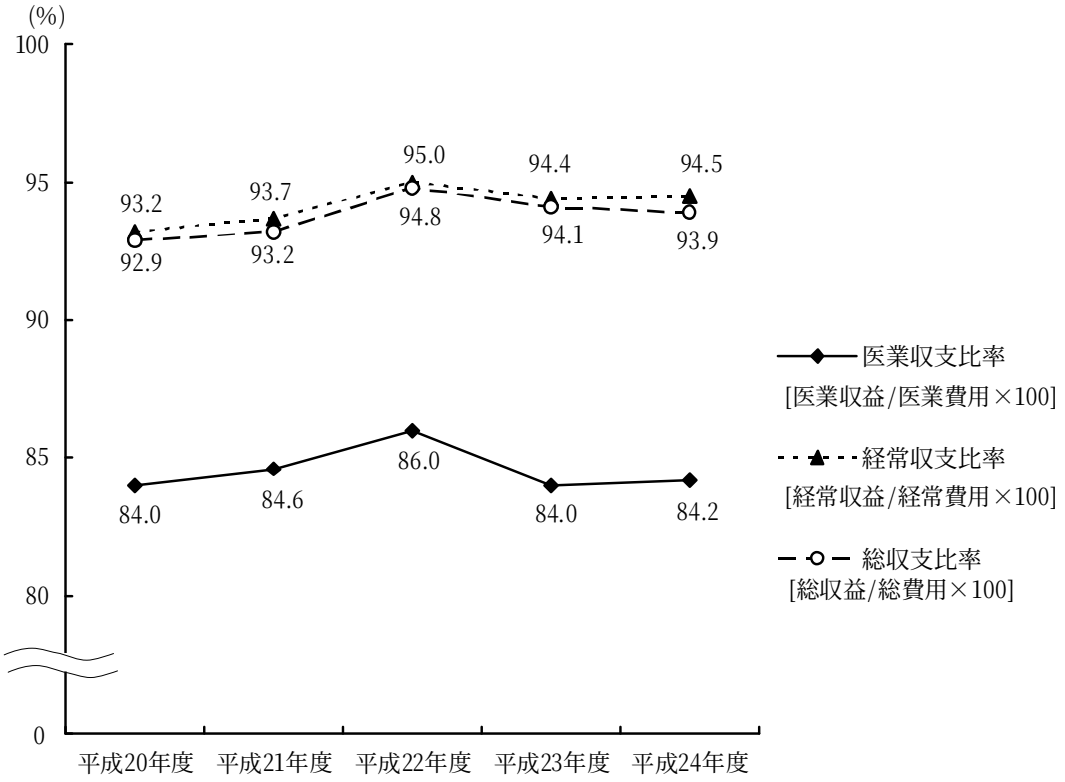
区分		平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率
		億　万円	億　万円	万円	%
医業収益	(A)	30 9354	30 9514	△ 160	△ 0.1
医業費用	(B)	36 7550	36 8276	△ 725	△ 0.2
医業利益(△医業損失)	(A－B)	△ 5 8196	△ 5 8761	565	－
医業外収益	(C)	5 0620	5 1292	△ 672	△ 1.3
医業外費用	(D)	1 3290	1 4077	△ 786	△ 5.6
経常収益	(E＝A＋C)	35 9974	36 0807	△ 832	△ 0.2
経常費用	(F＝B＋D)	38 0841	38 2353	△ 1512	△ 0.4
経常利益(△経常損失)	(E－F)	△ 2 0866	△ 2 1545	679	－
特別利益	(G)	265	200	64	32.3
特別損失	(H)	2686	1186	1500	126.5
総収益	(I＝E＋G)	36 0239	36 1008	△ 768	△ 0.2
総費用	(J＝F＋H)	38 3527	38 3539	△ 12	△ 0.0
純利益(△純損失)	(I－J)	△ 2 3287	△ 2 2531	△ 756	－

区分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	84.2	84.0	0.2
経常収支比率	(E／F×100)	94.5	94.4	0.1
総収支比率	(I／J×100)	93.9	94.1	△ 0.2

(I) 医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると，医業収支比率及び経常収支比率は，平成23年度を除き上昇している。総収支比率は，平成22年度までは上昇していたが，平成23年度以降は低下している。

第41図　医業収支比率等の推移〔舟入病院〕



(注) 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

(7) リハビリテーション病院の経営成績

ア　収支の状況

(ｱ) 収　益

平成24年度の収益は18億6,907万円で，平成23年度と比べて2,711万円（1.5%）増加している。これは，医業外収益の一般会計負担金が3,526万円増加したことなどによるものである。

(ｲ) 費　用

平成24年度の費用は21億7,604万円で，平成23年度と比べて2,548万円（1.2%）増加している。これは，給与費が2,703万円増加したことなどによるものである。

(ｳ) 損　益

平成24年度の収支は3億696万円の純損失となっており，その額は平成23年度の純損失3億859万円と比べて162万円減少している。

第30表　損益計算書〔リハビリテーション病院〕

区分	平成24年度		平成23年度		増△減	対前年度増減率
収益	億	万円	億	万円	万円	%
医業収益	15	5660	15	6706	△ 1046	△ 0.7
診療収入	13	0337	13	1578	△ 1240	△ 0.9
入院収益	12	6955	12	7662	△ 707	△ 0.6
外来収益		3382		3915	△ 533	△ 13.6
一般会計負担金		2049		1691	358	21.2
その他	2	3273	2	3437	△ 163	△ 0.7
医業外収益	3	1161	2	7323	3837	14.0
一般会計負担金	2	9244	2	5717	3526	13.7
その他		1917		1605	311	19.4
特別利益		85		166	△ 80	△ 48.5
計　(A)	18	6907	18	4196	2711	1.5
費用						
医業費用	20	2649	19	9403	3245	1.6
給与費	13	2269	12	9565	2703	2.1
材料費		4740		4642	97	2.1
経費	3	4281	3	3602	679	2.0
減価償却費	3	0686	3	0877	△ 190	△ 0.6
その他		671		715	△ 44	△ 6.2
医業外費用	1	4498	1	4931	△ 432	△ 2.9
支払利息及び企業債取扱諸費	1	4498	1	4931	△ 432	△ 2.9
特別損失		456		721	△ 264	△ 36.7
計　(B)	21	7604	21	5055	2548	1.2
純利益（△純損失）　(A－B)	△ 3	0696	△ 3	0859	162	－

（注）　診療収入＝入院収益＋外来収益

イ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分の収納率は98.9%，滞納繰越分の収納率は99.4%となっており，現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は99.0%で，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）を達成している。

収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分及び合計分はいずれも上昇と低下を繰り返している。滞納繰越分は,平成23年度までは低下していたが，平成24年度は上昇している。また，未収金は平成23年度を除き増加している。

なお，平成24年度において不納欠損処分の対象となる未収金はなかった。

第31表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況

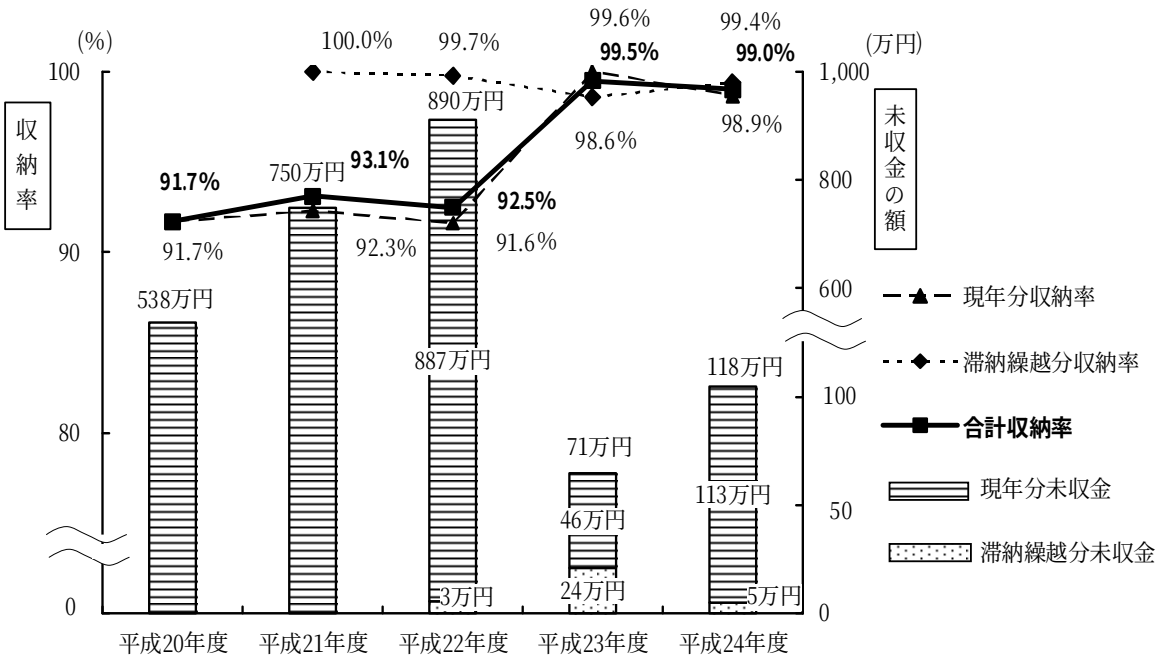
〔リハビリテーション病院〕

区分		調定額	収入済額	未収金	収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億　万円	億　万円	万円	%	%	
入院	現年分	1 0240	1 0138	101	99.0	—	—
	滞納繰越分	834	829	5	99.4	—	—
	計	1 1075	1 0968	106	99.0	—	—
外来	現年分	494	481	12	97.5	—	—
	滞納繰越分	20	20	0	100.0	—	—
	計	515	502	12	97.6	—	—
合計	現年分	1 0734	1 0620	113	98.9	97.9	1.0
	滞納繰越分	855	850	5	99.4	48.2	51.2
	計	1 1590	1 1471	118	99.0	93.7	5.3

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
　　2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
　　4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

第42図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移

〔リハビリテーション病院〕



ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数の状況

平成24年度末の職員数（休職者等を除き，嘱託・臨時職員を含む。）は212人で，平成23年度末と比べて6人（2.9%）増加している。

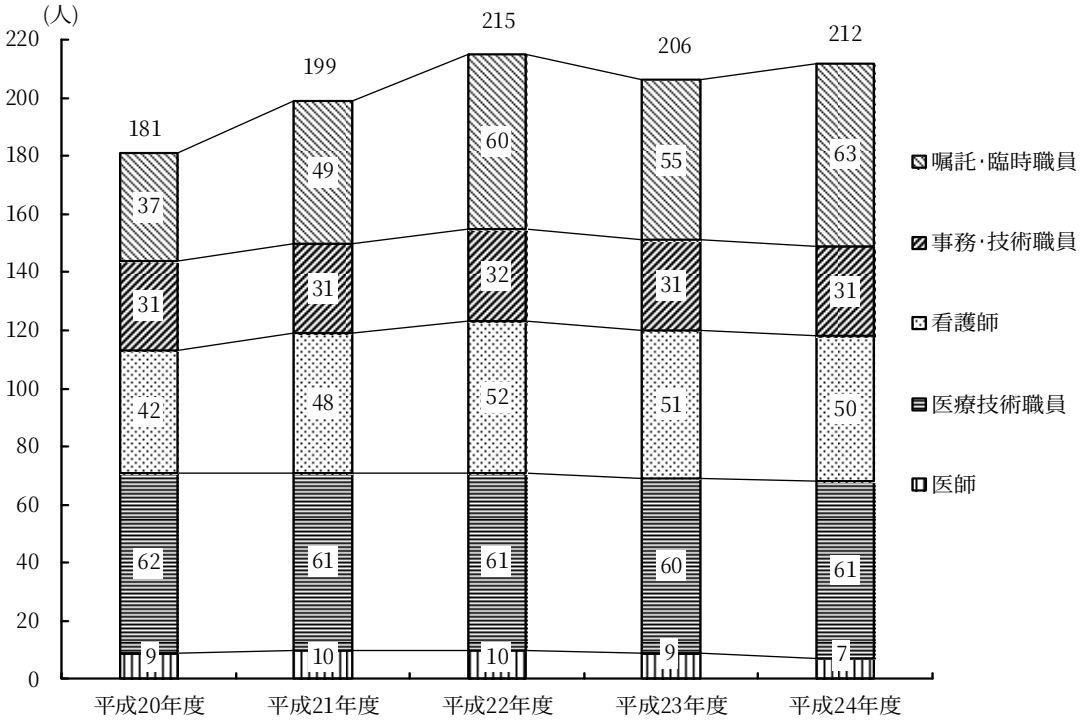
職員数の過去5年間の推移を見ると，平成23年度を除き増加している。

第32表　職員数の状況〔リハビリテーション病院〕

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	人	人	人	%
医師	7	9	△ 2	△ 22.2
医療技術職員	61	60	1	1.7
看護師	50	51	△ 1	△ 2.0
事務・技術職員	31	31	0	0.0
小計	149	151	△ 2	△ 1.3
嘱託・臨時職員	63	55	8	14.5
合計	212	206	6	2.9

（注）　職員数は，年度末の休職者等を除いたものである。

第43図　職員数の推移〔リハビリテーション病院〕



(ｲ) 給与費の状況

平成24年度の給与費は13億2,269万円で,平成23年度と比べて2,703万円(2.1%)増加している。これは，主として退職給与金が増加したことによるものである。

また，職員1人当たりの平均給与費（退職給与金を除く。）は608万円で，平成23年度と比べて15万円（2.4%）減少している。

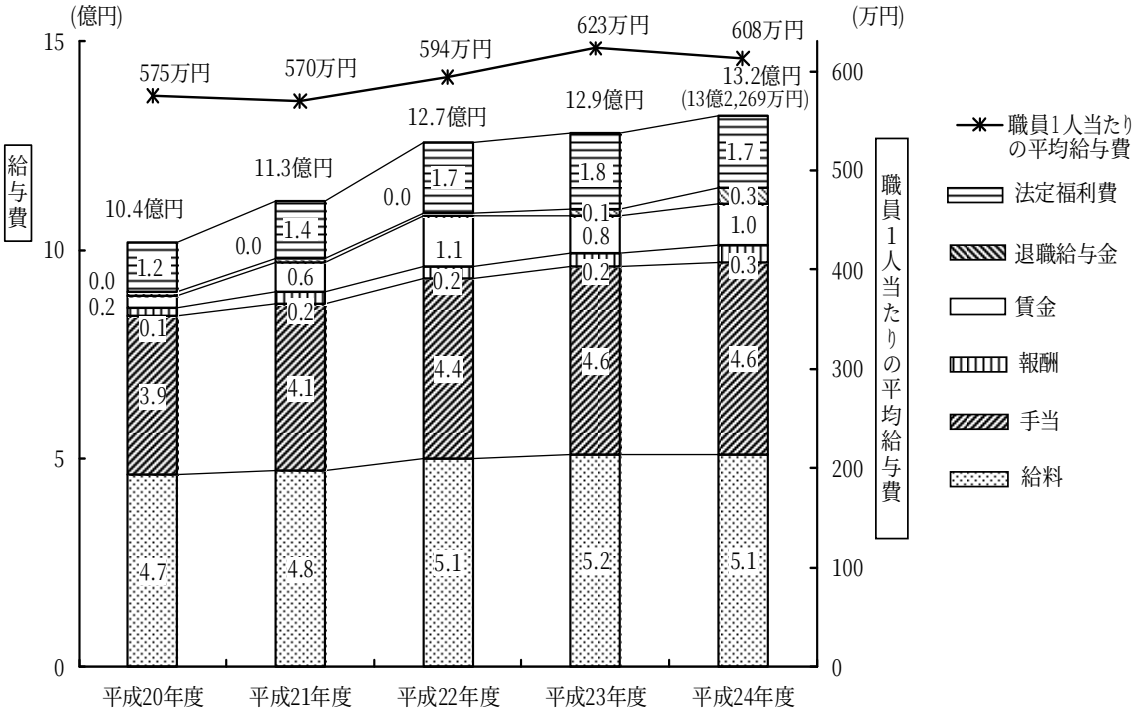
給与費等の過去5年間の推移を見ると，給与費は年々増加している。また，職員1人当たりの平均給与費は，平成21年度においては減少したが，平成22年度，平成23年度に増加し，平成24年度は再び減少している。

第33表　給与費の状況〔リハビリテーション病院〕

区分		平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	対前年度増減率
		億	万円	億	万円	万円	%
給与費		13	2269	12	9565	2703	2.1
	給料	5	1083	5	2601	△ 1518	△ 2.9
	手当	4	6264	4	6229	35	0.1
	報酬		3445		2710	735	27.1
	賃金	1	0611		8848	1763	19.9
	退職給与金		3237		1061	2175	204.9
	法定福利費	1	7627	1	8115	△ 487	△ 2.7
職員1人当たりの平均給与費		608万円		623万円		△ 15万円	△ 2.4

（注）1　災害補償費は，その決算額がある場合には，法定福利費に含める。
　　2　職員１人当たりの平均給与費は，退職給与金を除いて算出したものである。

第44図　給与費の推移〔リハビリテーション病院〕



(ｳ) 給与費対医業収益の比率等の状況

平成24年度の給与費対医業収益の比率（給与費は退職給与金を除く。）は82.9%で，平成23年度と比べて0.9ポイント上昇している。これは，医業収益が減少し給与費が増加したことによるものである。

また，職員1人当たりの医業収益は734万円で，平成23年度と比べて26万円減少している。

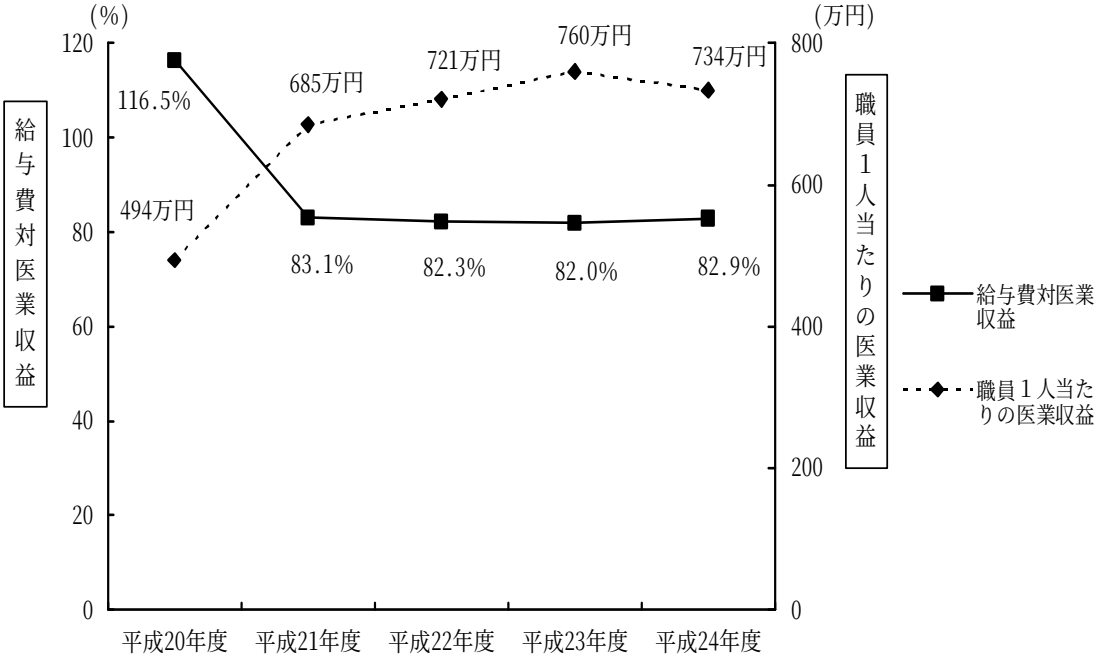
給与費対医業収益の比率等の過去5年間の推移を見ると,給与費対医業収益の比率は,平成23年度までは低下していたが，平成24年度は上昇している。また，職員1人当たりの医業収益は平成23年度までは増加していたが,平成24年度は減少している。

第34表　給与費対医業収益の比率等の状況〔リハビリテーション病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）
給与費対医業収益 〔給与費／医業収益×100〕(%)	82.9	82.0	0.9
職員1人当たりの医業収益 〔医業収益／職員数〕(万円)	734	760	△ 26

（注） 給与費対医業収益比率は，退職給与金を除いて算出したものである。

第45図　給与費対医業収益の比率等の推移〔リハビリテーション病院〕



エ　材料費の状況

平成24年度の材料費は4,740万円で，平成23年度と比べて97万円（2.1%）増加している。これは，主として薬品費が増加したことによるものである。

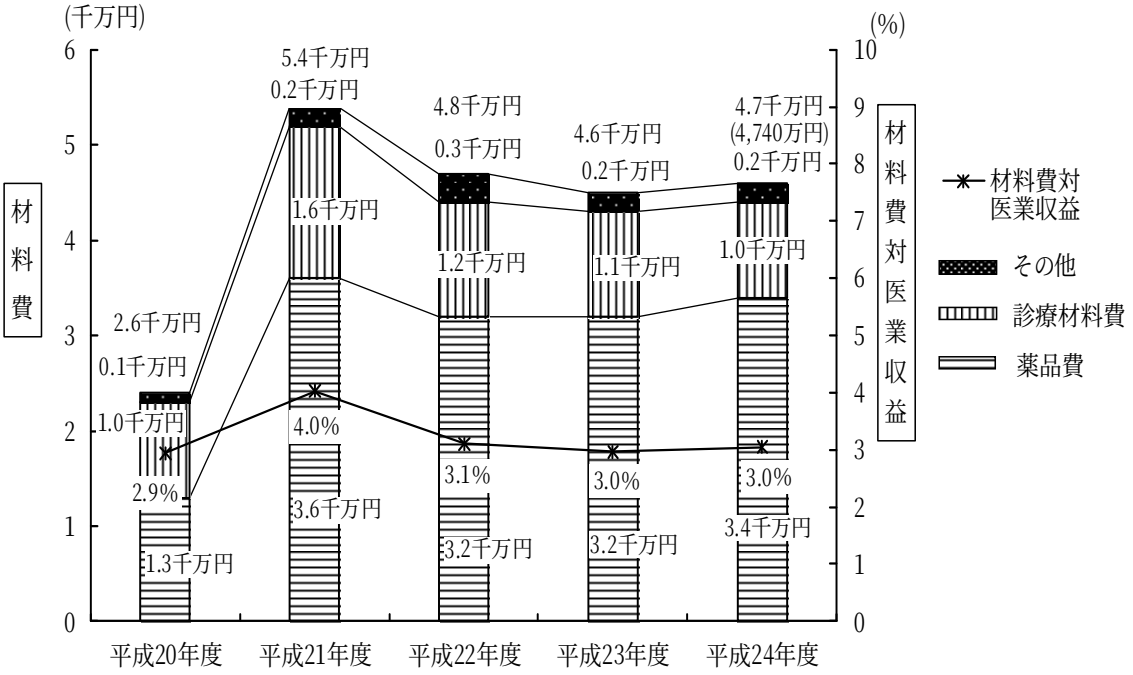
材料費対医業収益の比率は3.0%で，平成23年度と同率となっている。

材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は，平成21年度においては増加したが，平成22年度，平成23年度に減少し，平成24年度は再び増加している。また，材料費対医業収益の比率は，平成21年度においては上昇したが，平成22年度，平成23年度に低下し，平成24年度は前年度と同率となっている。

第35表　材料費の状況〔リハビリテーション病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	万円	万円	万円	%
材　料　費	4740	4642	97	2.1
薬　品　費	3444	3245	198	6.1
診療材料費	1070	1158	△　88	△ 7.6
そ　の　他	225	238	△　12	△ 5.4
材料費対医業収益	3.0%	3.0%	0.0	―

第46図　材料費の推移〔リハビリテーション病院〕



オ　経費の状況

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料であり，平成24年度においては，平成23年度と比べて光熱水費及び賃借料は増加し，委託料は減少している。

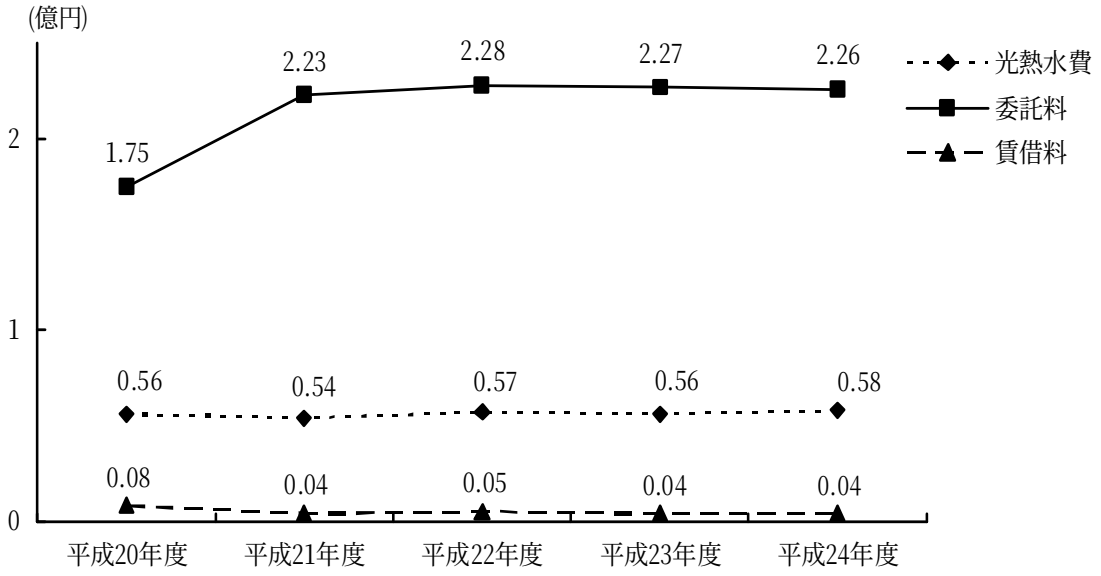
光熱水費が増加したのは，主としてガス使用料の増によるものである。賃借料が増加したのは人工呼吸器に係る賃借料の増等によるものである。

主な経費の過去5年間の推移を見ると，光熱水費及び賃借料は，いずれも減少と増加を繰り返している。委託料は，平成22年度までは増加していたが，平成23年度以降は減少している。

第36表　主な経費の状況〔リハビリテーション病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
光熱水費	5812	5651	160	2.8
委託料	2 2688	2 2756	△ 68	△ 0.3
賃借料	495	476	19	4.2

第47図　主な経費の推移〔リハビリテーション病院〕



カ　損益及び医業収支比率等の状況

(ｱ) 医業損失及び医業収支比率

平成24年度の医業損失は4億6,988万円で,平成23年度と比べて4,291万円増加している。これは，医業収益が診療収入の減等により減少し，医業費用が給与費の増等により増加したことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は76.8%であり，平成23年度と比べて1.8ポイント低下している。

(ｲ) 経常損失及び経常収支比率

平成24年度の経常損失は3億325万円で，平成23年度と比べて21万円増加している。これは，経常収益が医業外収益の増等により，経常費用が医業費用の増等により，いずれも増加したが，経常費用の増加額が経常収益のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は86.0%であり，平成23年度と比べて0.1ポイント上昇している。

(ｳ) 純損失及び総収支比率

平成24年度の純損失は3億696万円で，平成23年度と比べて162万円減少している。これは，特別損失が減少したことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は85.9%であり，平成23年度と比べて0.2ポイント上昇している。

なお，これらの指標は100%を超えて比率が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，いずれの比率も100%を下回っている。

第37表　損益等の状況〔リハビリテーション病院〕

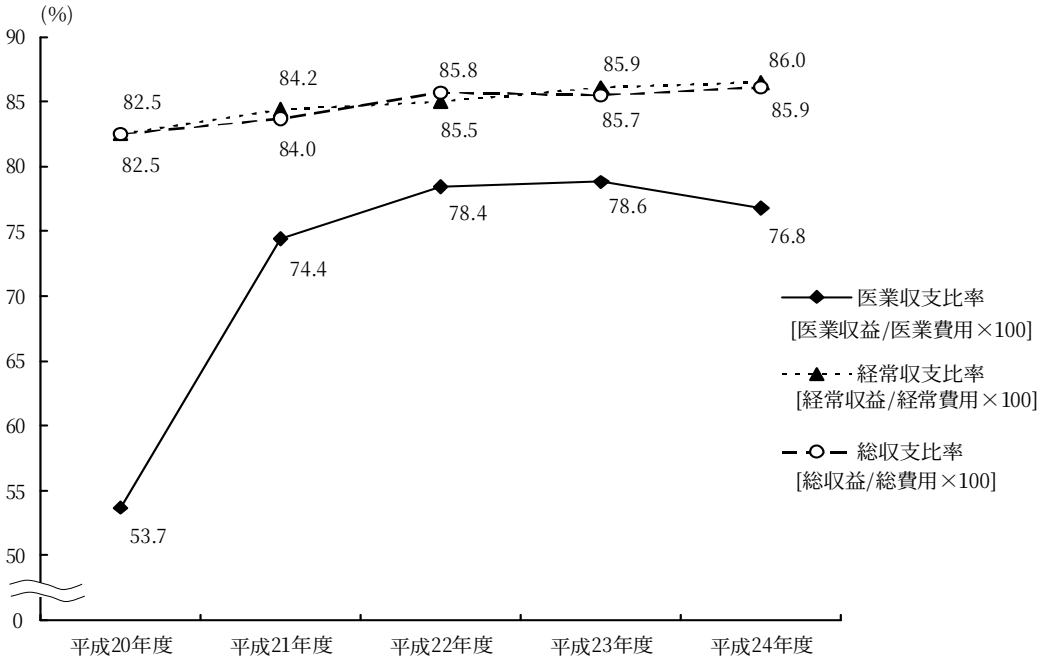
区分		平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率
		億　万円	億　万円	万円	%
医業収益	(A)	15 5660	15 6706	△ 1046	△ 0.7
医業費用	(B)	20 2649	19 9403	3245	1.6
医業利益(△医業損失)	(A－B)	△ 4 6988	△ 4 2696	△ 4291	－
医業外収益	(C)	3 1161	2 7323	3837	14.0
医業外費用	(D)	1 4498	1 4931	△ 432	△ 2.9
経常収益	(E＝A＋C)	18 6822	18 4030	2791	1.5
経常費用	(F＝B＋D)	21 7147	21 4334	2813	1.3
経常利益(△経常損失)	(E－F)	△ 3 0325	△ 3 0304	△ 21	－
特別利益	(G)	85	166	△ 80	△ 48.5
特別損失	(H)	456	721	△ 264	△ 36.7
総収益	(I＝E＋G)	18 6907	18 4196	2711	1.5
総費用	(J＝F＋H)	21 7604	21 5055	2548	1.2
純利益(△純損失)	(I－J)	△ 3 0696	△ 3 0859	162	－

区分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	76.8	78.6	△ 1.8
経常収支比率	(E／F×100)	86.0	85.9	0.1
総収支比率	(I／J×100)	85.9	85.7	0.2

(I) 医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると,医業収支比率は平成23年度までは上昇していたが，平成24年度は低下している。経常収支比率は，年々上昇している。総収支比率は，平成23年度を除き上昇している。

第48図　医業収支比率等の推移〔リハビリテーション病院〕



(注) 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
　　 2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

(8) 安佐市民病院の経営成績

ア　収支の状況

(ｱ) 収　益

平成24年度の収益は149億6,324万円で，平成23年度と比べて4億6,271万円（3.2%）増加している。これは，診療収入が3億5,403万円増加したことなどによるものである。

(ｲ) 費　用

平成24年度の費用は140億8,105万円で，平成23年度と比べて8,233万円（0.6%）増加している。これは，給与費が7,877万円増加したことなどによるものである。

(ｳ) 損　益

平成24年度の収支は8億8,218万円の純利益となっており，その額は平成23年度の純利益5億180万円と比べて3億8,038万円増加している。

第38表　損益計算書〔安佐市民病院〕

区分	平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
収益	億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	141	5508	137	9500	3	6007	2.6
診療収入	137	1680	133	6277	3	5403	2.6
入院収益	102	9883	100	3623	2	6260	2.6
外来収益	34	1796	33	2653		9142	2.7
一般会計負担金	2	4214	2	3392		821	3.5
その他	1	9613	1	9831	△	217	△ 1.1
医業外収益	8	0483	6	9925	1	0558	15.1
一般会計負担金	6	6220	5	4517	1	1703	21.5
その他	1	4262	1	5407	△	1144	△ 7.4
特別利益		332		626	△	294	△ 46.9
計（A）	149	6324	145	0052	4	6271	3.2
費用							
医業費用	139	0599	138	2003		8596	0.6
給与費	75	6930	74	9053		7877	1.1
材料費	38	3961	38	1023		2938	0.8
経費	16	9838	16	3539		6299	3.9
減価償却費	7	3839	8	2375	△	8536	△ 10.4
その他		6029		6011		17	0.3
医業外費用	1	2602	1	3924	△	1322	△ 9.5
支払利息及び企業債取扱諸費	1	2602	1	3924	△	1322	△ 9.5
特別損失		4903		3943		959	24.3
計（B）	140	8105	139	9872		8233	0.6
純利益（△純損失）（A－B）	8	8218	5	0180	3	8038	－

（注）診療収入＝入院収益＋外来収益

イ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

(ｱ) 医療費個人負担分の収納状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分の収納率は97.9%，滞納繰越分の収納率は32.7%となっており，現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は93.3%で，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）と比べて0.4ポイント下回っている。

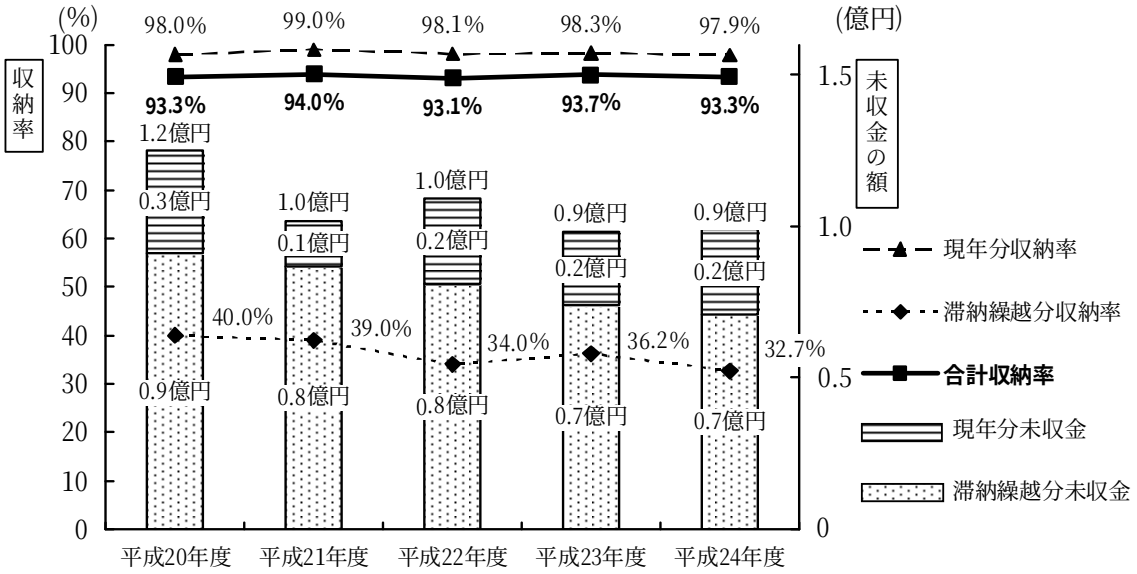
収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分及び合計分はいずれも上昇と低下を繰り返している。滞納繰越分は平成23年度を除き低下している。また，未収金は減少と増加を繰り返している。

第39表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況〔安佐市民病院〕

区分		調定額	収入済額	未収金	収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億　万円	億　万円	万円	%	%	
入院	現年分	8 8239	8 5732	2506	97.2	－	－
	滞納繰越分	8953	2720	6232	30.4	－	－
	計	9 7192	8 8452	8739	91.0	－	－
外来	現年分	4 9483	4 9130	353	99.3	－	－
	滞納繰越分	1644	746	898	45.4	－	－
	計	5 1127	4 9876	1251	97.6	－	－
合計	現年分	13 7722	13 4862	2859	97.9	97.9	0.0
	滞納繰越分	1 0597	3466	7130	32.7	48.2	△ 15.5
	計	14 8319	13 8329	9990	93.3	93.7	△ 0.4

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
　　2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
　　4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

第49図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移〔安佐市民病院〕



(ｲ) 医療費個人負担分の不納欠損の状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損は，56件，90万円であり，平成23年度と比べて合計件数及び合計金額は，それぞれ減少している。

不納欠損を行った主な理由は，破産免責による債権放棄である。

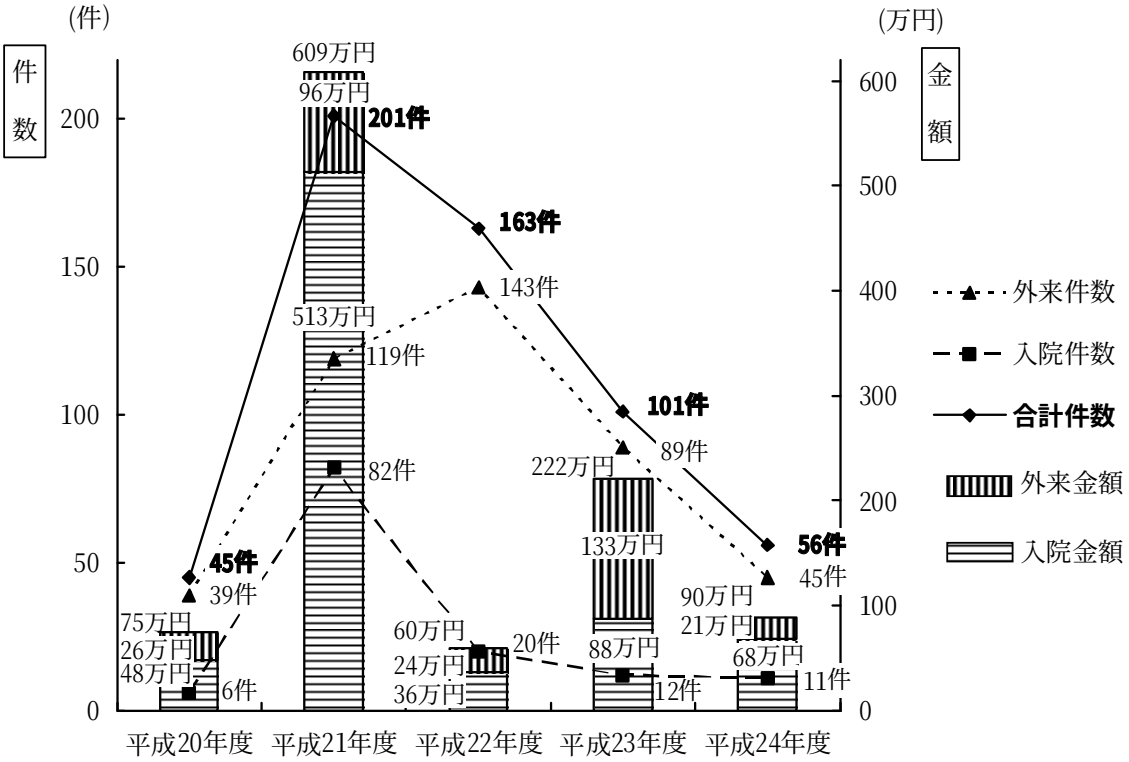
不納欠損の過去5年間の推移を見ると，合計件数は平成21年度を除き減少している。また，合計金額は増加と減少を繰り返している。

第40表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の状況〔安佐市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
	件	万円	件	万円	件	万円
入　　院	11	68	12	88	△　1	△　19
外　　来	45	21	89	133	△　44	△　112
合　　計	56	90	101	222	△　45	△　131

（注）1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第50図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の推移〔安佐市民病院〕



ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数の状況

平成24年度末の職員数（休職者等を除き，嘱託・臨時職員を含む。）は984人で，平成23年度末と比べて19人（2.0%）増加している。

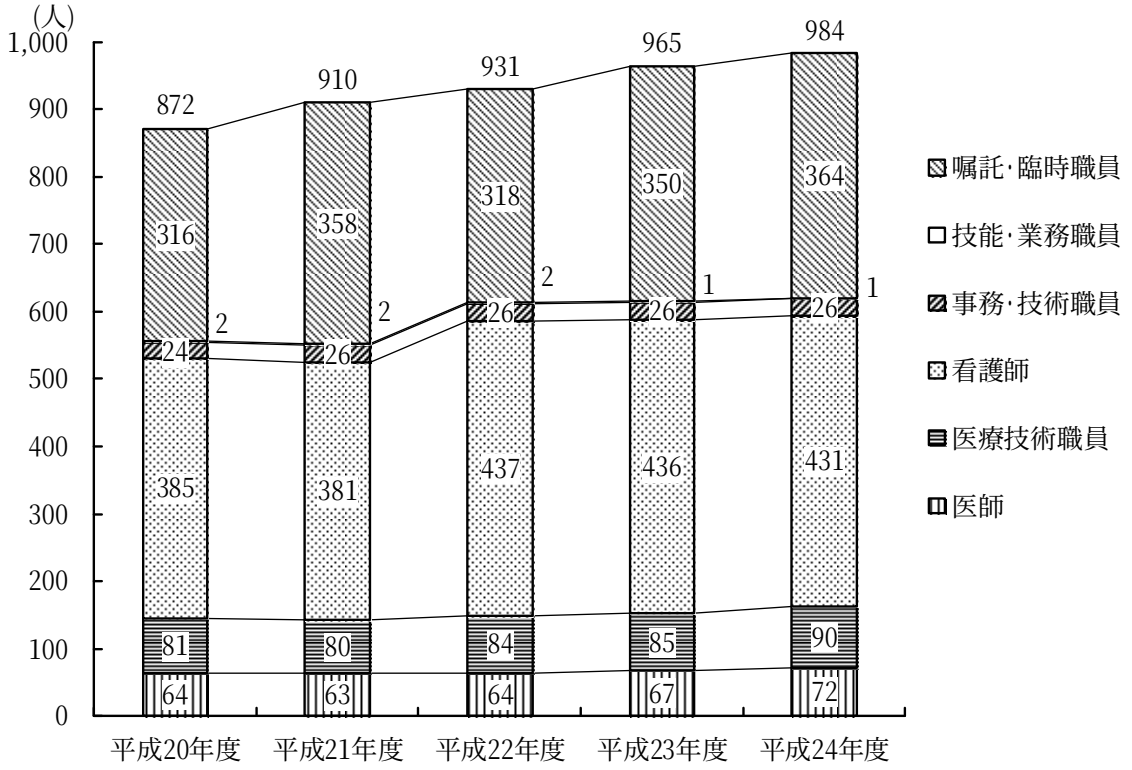
職員数の過去5年間の推移を見ると，年々増加している。

第41表　職員数の状況〔安佐市民病院〕

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	人	人	人	%
医師	72	67	5	7.5
医療技術職員	90	85	5	5.9
看護師	431	436	△ 5	△ 1.1
事務・技術職員	26	26	0	0.0
技能・業務職員	1	1	0	0.0
小計	620	615	5	0.8
嘱託・臨時職員	364	350	14	4.0
合計	984	965	19	2.0

（注）職員数は，年度末の休職者等を除いたものである。

第51図　職員数の推移〔安佐市民病院〕



(ｲ) 給与費の状況

平成24年度の給与費は75億6,930万円で,平成23年度と比べて7,877万円(1.1%)増加している。これは，手当が増加したことなどによるものである。

また，職員1人当たりの平均給与費（退職給与金を除く。）は745万円で，平成23年度と比べて2万円（0.4%）増加している。

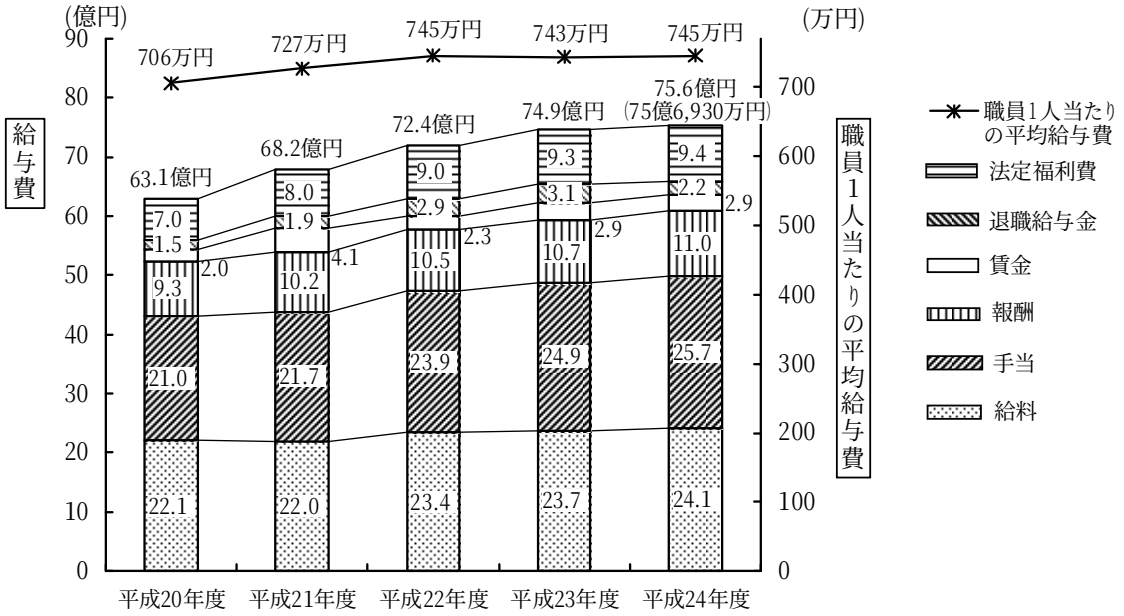
給与費等の過去5年間の推移を見ると，給与費は年々増加している。また，職員1人当たりの平均給与費は，平成23年度を除き増加している。

第42表　給与費の状況〔安佐市民病院〕

区分		平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	対前年度増減率
		億	万円	億	万円	万円	%
給与費		75	6930	74	9053	7877	1.1
	給料	24	1577	23	7491	4085	1.7
	手当	25	7655	24	9046	8609	3.5
	報酬	11	0941	10	7656	3285	3.1
	賃金	2	9664	2	9844	△ 179	△ 0.6
	退職給与金	2	2917	3	1754	△ 8837	△ 27.8
	法定福利費	9	4174	9	3260	914	1.0
職員1人当たりの平均給与費		745万円		743万円		2万円	0.4

(注) 1　災害補償費は，その決算額がある場合には，法定福利費に含める。
　　 2　職員1人当たりの平均給与費は，退職給与金を除いて算出したものである。

第52図　給与費の推移〔安佐市民病院〕



(ｳ) 給与費対医業収益の比率等の状況

平成24年度の給与費対医業収益の比率（給与費は退職給与金を除く。）は51.9％で，平成23年度と比べて0.1ポイント低下している。これは，医業収益及び給与費がいずれも増加したものの，医業収益の増加率が給与費のそれを上回ったことによるものである。

また，職員1人当たりの医業収益は1,438万円で，平成23年度と比べて8万円増加している。

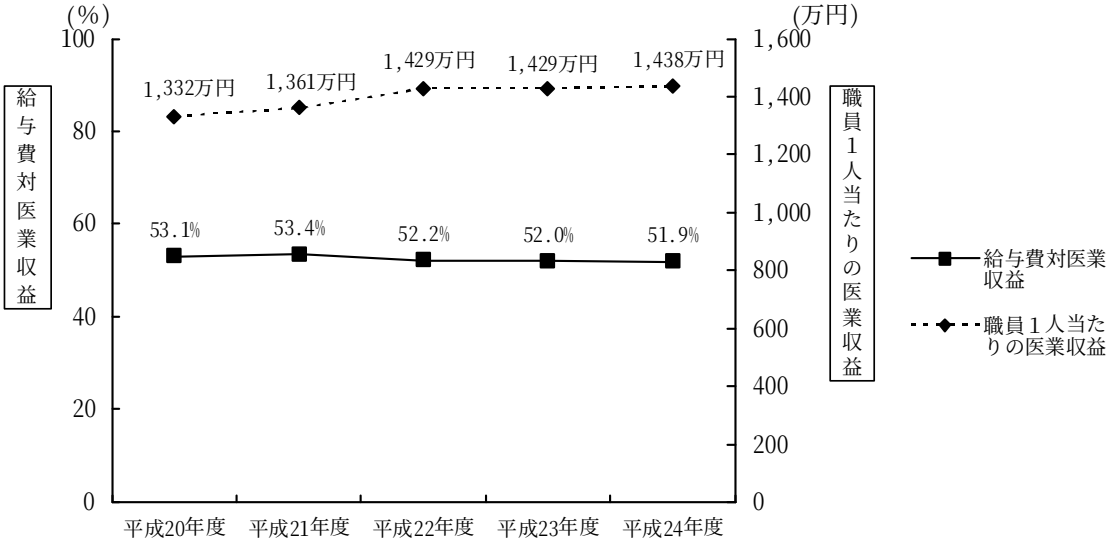
給与費対医業収益の比率等の過去5年間の推移を見ると，給与費対医業収益の比率は，平成21年度を除き低下している。また，職員1人当たりの医業収益は，平成23年度を除き増加している。

第43表　給与費対医業収益の比率等の状況〔安佐市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）
給与費対医業収益 〔給与費／医業収益×100〕(%)	51.9	52.0	△ 0.1
職員1人当たりの医業収益 〔医業収益／職員数〕(万円)	1,438	1,429	8

（注）給与費対医業収益比率は，退職給与金を除いて算出したものである。

第53図　給与費対医業収益の比率等の推移〔安佐市民病院〕



エ　材料費の状況

平成24年度の材料費は38億3,961万円で，平成23年度と比べて2,938万円（0.8%）増加している。これは，薬品費が増加したことなどによるものである。

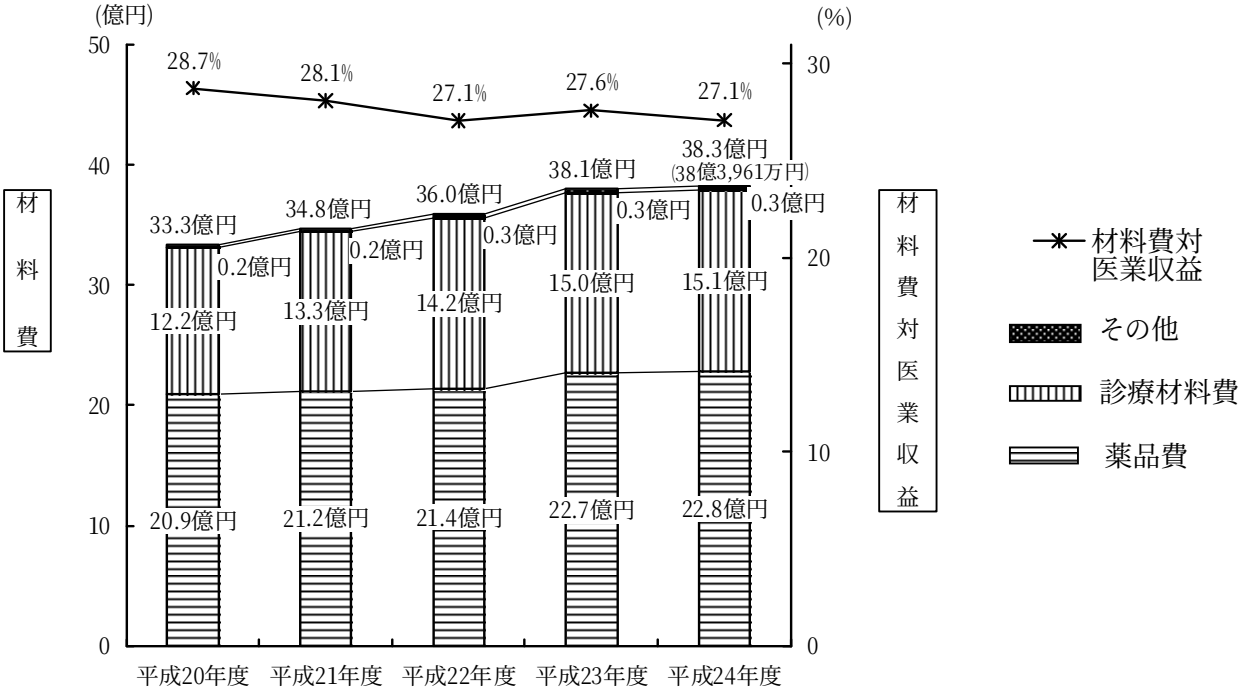
材料費対医業収益の比率は27.1%で,平成23年度と比べて0.5ポイント低下している。

材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は年々増加している。また，材料費対医業収益の比率は，平成23年度を除き低下している。

第44表　材料費の状況〔安佐市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	対前年度増減率
	億	万円	億	万円	万円	%
材　料　費	38	3961	38	1023	2938	0.8
薬　品　費	22	8287	22	7222	1065	0.5
診療材料費	15	1825	15	0791	1034	0.7
そ　の　他		3848		3009	838	27.9
材料費対医業収益		27.1%		27.6%	△ 0.5	－

第54図　材料費の推移〔安佐市民病院〕



オ　経費の状況

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料であり，平成24年度においては，平成23年度と比べて光熱水費は増加し，委託料及び賃借料は減少している。

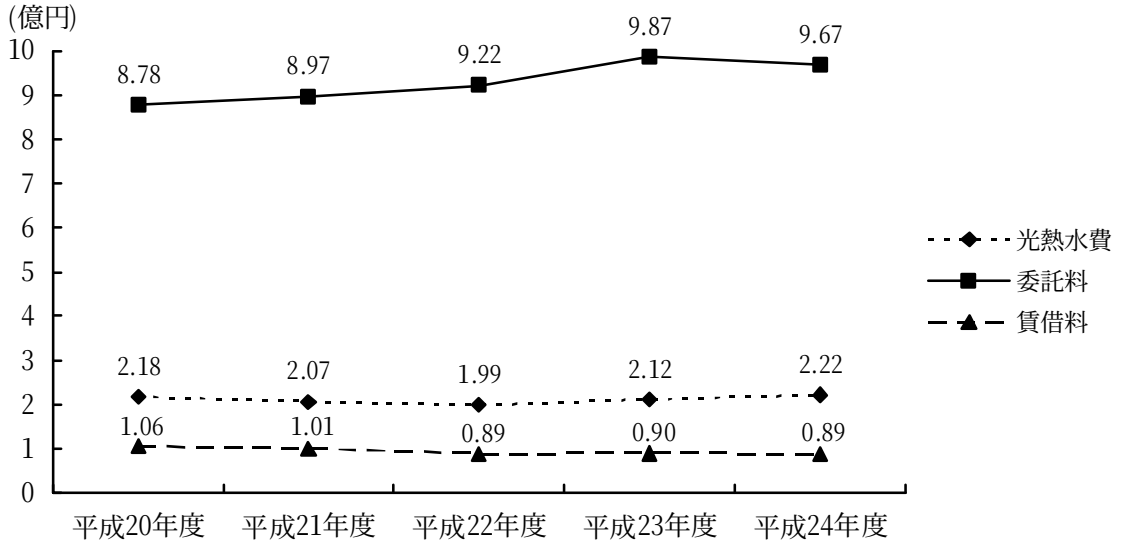
光熱水費が増加したのは，電気使用料の増等によるものである。委託料が減少したのは，患者給食業務に係る委託料の減等によるものである。賃借料が減少したのは，人工呼吸器借上料の減等によるものである。

主な経費の過去5年間の推移を見ると，光熱水費は，平成22年度までは減少していたが，平成23年度以降は増加している。委託料は，平成23年度までは増加していたが，平成24年度は減少している。賃借料は，平成23年度を除き減少している。

第45表　主な経費の状況〔安佐市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
光熱水費	2 2276	2 1225	1051	5.0
委託料	9 6737	9 8783	△ 2046	△ 2.1
賃借料	8910	9015	△ 105	△ 1.2

第55図　主な経費の推移〔安佐市民病院〕



カ　損益及び医業収支比率等の状況

(ｱ) 医業利益及び医業収支比率

平成24年度の医業利益は2億4,908万円で，平成23年度の2,503万円の医業損失と比べて2億7,411万円改善している。これは,医業収益が診療収入の増等により，医業費用が給与費の増等により，いずれも増加したが，医業収益の増加額が医業費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は101.8%であり，平成23年度と比べて2.0ポイント上昇している。

(ｲ) 経常利益及び経常収支比率

平成24年度の経常利益は9億2,789万円で，平成23年度と比べて3億9,292万円増加している。これは，経常収益が医業収益の増等により，経常費用が医業費用の増等により，いずれも増加したが，経常収益の増加額が経常費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は106.6%であり，平成23年度と比べて2.8ポイント上昇している。

(ｳ) 純利益及び総収支比率

平成24年度の純利益は8億8,218万円で，平成23年度と比べて3億8,038万円増加している。これは，総収益が経常収益の増等により，総費用が経常費用及び特別損失の増により，いずれも増加したが，総収益の増加額が総費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は106.3%であり，平成23年度と比べて2.7ポイント上昇している。

なお，これらの指標は100%を超えて比率が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，いずれの比率も100%を上回っている。

第46表　損益等の状況〔安佐市民病院〕

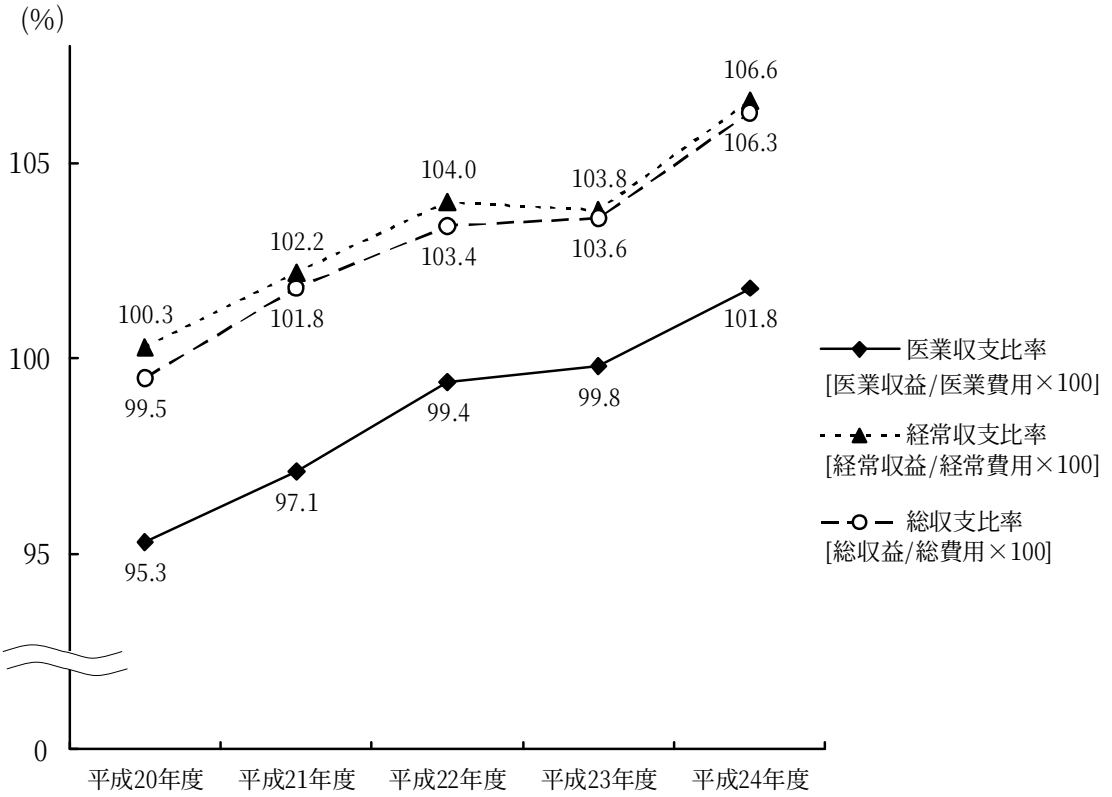
区分		平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
		億	万円	億	万円	億	万円	%
医業収益	(A)	141	5508	137	9500	3	6007	2.6
医業費用	(B)	139	0599	138	2003		8596	0.6
医業利益(△医業損失)	(A－B)	2	4908	△	2503	2	7411	－
医業外収益	(C)	8	0483	6	9925	1	0558	15.1
医業外費用	(D)	1	2602	1	3924	△	1322	△ 9.5
経常収益	(E＝A＋C)	149	5991	144	9425	4	6565	3.2
経常費用	(F＝B＋D)	140	3202	139	5928		7273	0.5
経常利益(△経常損失)	(E－F)	9	2789	5	3497	3	9292	－
特別利益	(G)		332		626	△	294	△ 46.9
特別損失	(H)		4903		3943		959	24.3
総収益	(I＝E＋G)	149	6324	145	0052	4	6271	3.2
総費用	(J＝F＋H)	140	8105	139	9872		8233	0.6
純利益(△純損失)	(I－J)	8	8218	5	0180	3	8038	－

区分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	101.8	99.8	2.0
経常収支比率	(E／F×100)	106.6	103.8	2.8
総収支比率	(I／J×100)	106.3	103.6	2.7

(ｴ) 医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると，医業収支比率及び総収支比率は，年々上昇している。経常収支比率は，平成23年度を除き上昇している。

第56図　医業収支比率等の推移〔安佐市民病院〕



(注) 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
　　 2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

(9) 安芸市民病院の経営成績

ア　収支の状況

(ｱ) 収　益

平成24年度の収益は18億41万円で，平成23年度と比べて3,110万円（1.8%）増加している。これは，診療収入が2,969万円増加したことなどによるものである。

(ｲ) 費　用

平成24年度の費用は18億8,827万円で，平成23年度と比べて3,508万円（1.9%）増加している。これは，経費が3,989万円増加したことなどによるものである。

(ｳ) 損　益

平成24年度の収支は8,785万円の純損失となっており，その額は平成23年度の純損失8,387万円と比べて398万円増加している。

第47表　損益計算書〔安芸市民病院〕

区　　分	平成24年度		平成23年度		増△減	対前年度増減率
収　益	億	万円	億	万円	万円	%
医業収益	16	8201	16	4276	3924	2.4
診療収入	15	9386	15	6416	2969	1.9
入院収益	12	3950	12	0387	3562	3.0
外来収益	3	5436	3	6028	△ 592	△ 1.6
一般会計負担金		1563		1340	223	16.7
その他		7250		6519	731	11.2
医業外収益	1	1840	1	2411	△ 571	△ 4.6
一般会計負担金		7358		7390	△ 31	△ 0.4
その他		4481		5020	△ 539	△ 10.7
特別利益		0		242	△ 242	△ 100.0
計　(A)	18	0041	17	6930	3110	1.8
費　用						
医業費用	18	3463	18	0259	3204	1.8
給与費		980		986	△ 5	△ 0.6
経費	17	4532	17	0543	3989	2.3
減価償却費		7919		8608	△ 689	△ 8.0
その他		30		120	△ 89	△ 74.5
医業外費用		3699		3865	△ 165	△ 4.3
支払利息及び企業債取扱諸費		3699		3865	△ 165	△ 4.3
特別損失		1663		1193	470	39.4
計　(B)	18	8827	18	5318	3508	1.9
純利益（△純損失）　(A－B)	△	8785	△	8387	△ 398	－

（注）診療収入＝入院収益＋外来収益

[参考]　　第47-2表　費用の内訳〔安芸市民病院〕

区分	平成24年度		平成23年度		増△減	対前年度増減率
	億	万円	億	万円	万円	%
給与費	9	6470	9	4703	1766	1.9
材料費	2	8820	2	9409	△ 589	△ 2.0
薬品費	2	1419	2	0972	447	2.1
診療材料費		7107		8152	△ 1045	△ 12.8
医療消耗備品費		292		283	8	3.1
経費	4	1076	4	0424	652	1.6
光熱水費		4434		4559	△ 124	△ 2.7
委託料	2	5514	2	5303	211	0.8
賃借料		1799		1644	155	9.5
その他		9327		8917	410	4.6
減価償却費		7919		8608	△ 689	△ 8.0
支払利息及び企業債取扱諸費		3699		3865	△ 165	△ 4.3
その他	1	0840		8306	2534	30.5
計	18	8827	18	5318	3508	1.9

（注）上表の各費目の数値は，指定管理者である(社)広島市医師会が作成し広島市に提出した管理運営業務の収支決算書に基づき算出したものである。
　なお，各病院の経営成績の比較・分析にあたっては，この数値により行っている。

イ　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況等

(ｱ) 医療費個人負担分の収納状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の現年分の収納率は97.9%，滞納繰越分の収納率は42.6%となっており，現年分と滞納繰越分を合わせた合計収納率は91.3%で，行政改革計画で定めた目標収納率（93.7%）と比べて2.4ポイント下回っている。

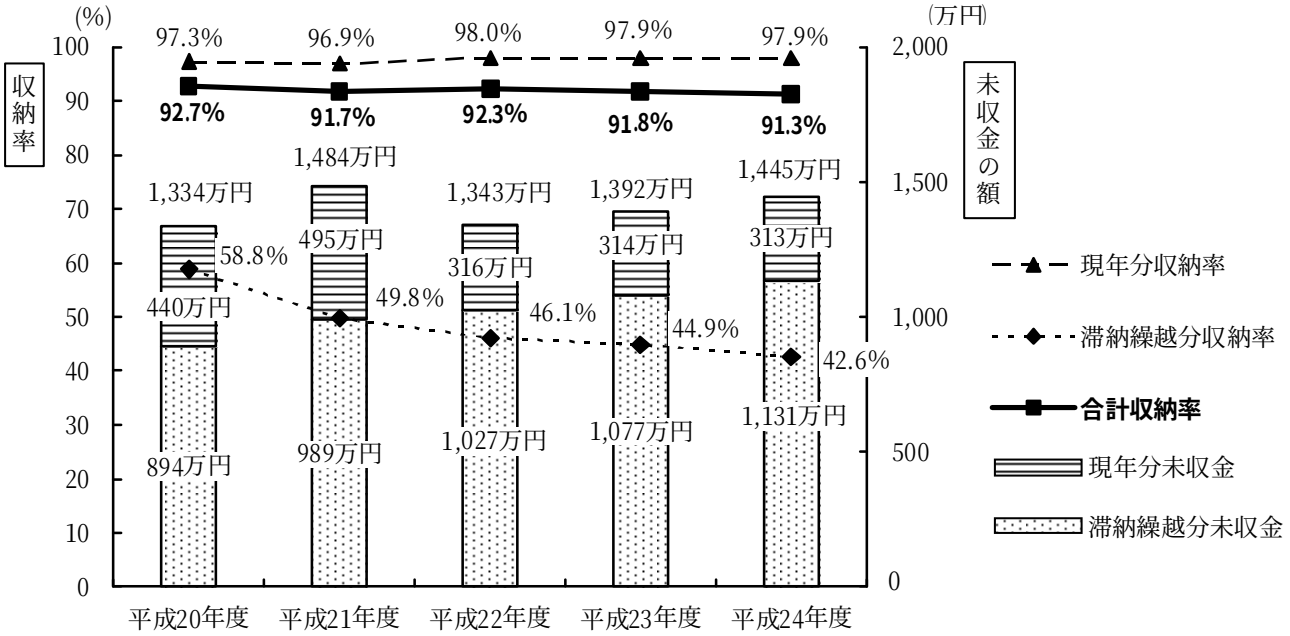
収納率等の過去5年間の推移を見ると，収納率は，現年分は平成22年度を除き減少し，平成24年度は前年度と同率となっている。滞納繰越分は年々低下している。合計分は，平成22年度を除き減少している。また，未収金は，平成22年度を除き増加している。

第48表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納状況〔安芸市民病院〕

区分		調定額	収入済額	未収金	収納率 (A)	目標収納率 (平成24年度) (B)	増△減 (A-B)
		億　万円	億　万円	万円	%	%	
入院	現年分	1 0619	1 0393	226	97.9	—	—
	滞納繰越分	1743	786	956	45.1	—	—
	計	1 2363	1 1180	1182	90.4	—	—
外来	現年分	4038	3950	87	97.8	—	—
	滞納繰越分	226	51	175	22.8	—	—
	計	4265	4002	262	93.8	—	—
合計	現年分	1 4658	1 4344	313	97.9	97.9	0.0
	滞納繰越分	1970	838	1131	42.6	48.2	△ 5.6
	計	1 6628	1 5182	1445	91.3	93.7	△ 2.4

（注）1　入院の現年分は，3月分未請求額を除いた数値である。
2　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
3　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。
4　目標収納率は，行政改革計画における平成24年度の5病院合計の目標数値である。

第57図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の収納率等の推移〔安芸市民病院〕



(ｲ) 医療費個人負担分の不納欠損の状況

平成24年度の入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損は，8件，3万円であり，平成23年度と比べて合計件数及び合計金額は，それぞれ減少している。不納欠損を行った主な理由は，所在不明による債権放棄である。

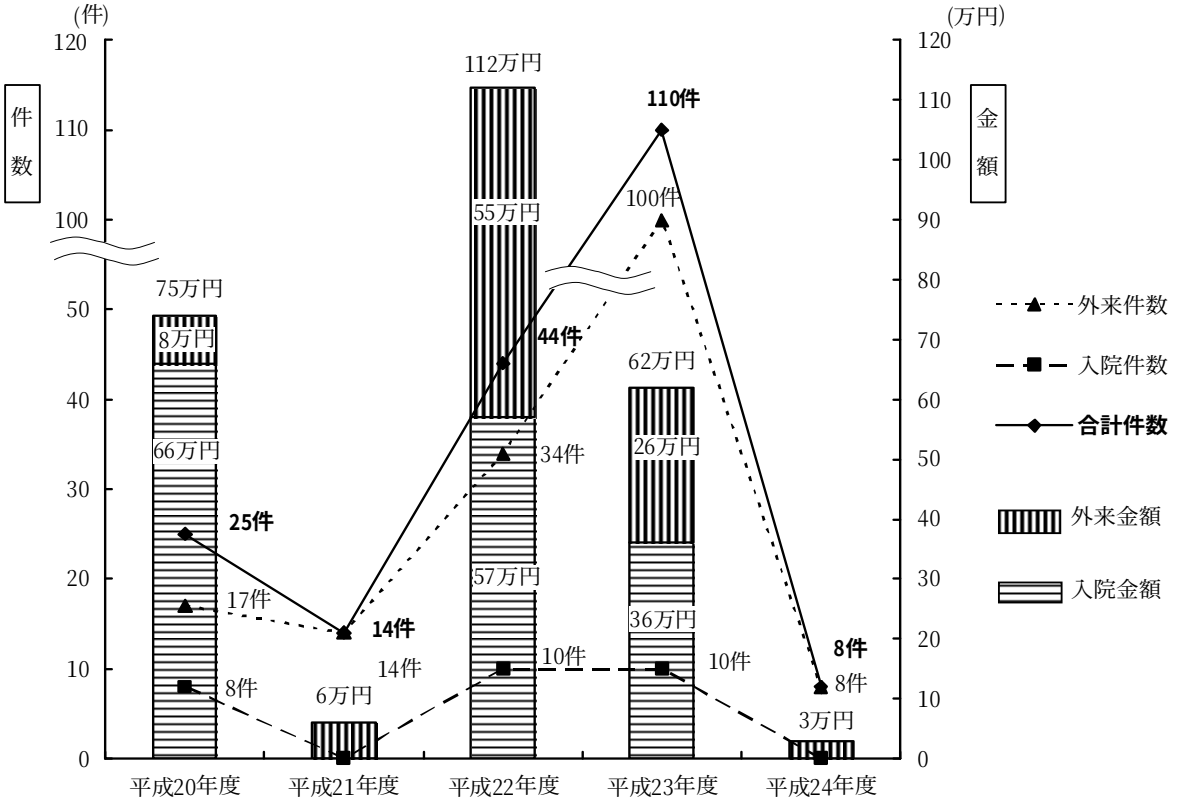
不納欠損の過去5年間の推移を見ると，合計件数は，平成21年度においては減少したが，平成22年度，平成23年度に増加し，平成24年度は再び減少している。また，合計金額は，平成22年度を除き減少している。

第49表　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の状況〔安芸市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減(A－B)	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
	件	万円	件	万円	件	万円
入　　院	0	0	10	36	△　10	△　36
外　　来	8	3	100	26	△　92	△　23
合　　計	8	3	110	62	△　102	△　59

（注）　1　入院医療に係る医療費個人負担分は，室料差額を含んだものである。
　　2　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

第58図　入院及び外来医療に係る医療費個人負担分の不納欠損の推移〔安芸市民病院〕



ウ　職員数及び給与費の状況

(ｱ) 職員数等の状況

平成24年度末の職員数（指定管理者である社団法人広島市医師会の職員数を含む。）は166人で，平成23年度末と比べて2人（1.2%）増加している。

また，職員1人当たりの平均給与費（指定管理者である社団法人広島市医師会の職員の退職に係る費用を除く。）は554万円で，平成23年度と比べて2万円（0.5%）減少している。

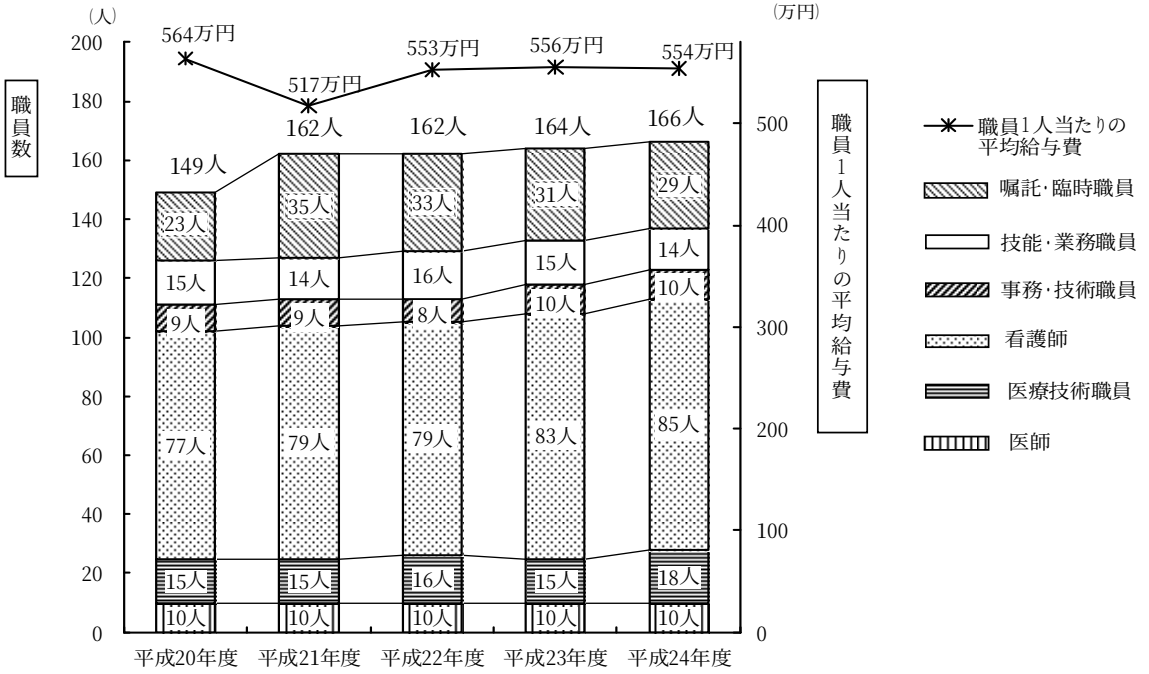
職員数等の過去5年間の推移を見ると，職員数は，平成22年度を除き増加している。また，職員1人当たりの平均給与費は，平成21年度においては減少したが，平成22年度，平成23年度に増加し，平成24年度は再び減少している。

第50表　職員数等の状況〔安芸市民病院〕

区分			単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増△減 (A−B)	対前年度増減率 (%)
職員数	企業職員	事務職員	人	1	1	0	0.0
	㈳広島市医師会職員	医師	人	10	10	0	0.0
		医療技術職員	人	18	15	3	20.0
		看護師	人	85	83	2	2.4
		事務・技術職員	人	9	9	0	0.0
		技能・業務職員	人	14	15	△ 1	△ 6.7
		嘱託・臨時職員	人	29	31	△ 2	△ 6.5
		小計	人	165	163	2	1.2
	合計		人	166	164	2	1.2
給与費	企業職員		円	980万	986万	△ 5万	△ 0.6
	㈳広島市医師会職員		円	9億5,489万	9億3,716万	1,772万	1.9
	合計		円	9億6,470万	9億4,703万	1,766万	1.9
職員1人当たりの平均給与費			円	554万	556万	△ 2万	△ 0.5

（注）1 給与費の額は，「第47-2表　費用の内訳」による。
2 職員1人当たりの平均給与費は，(社)広島市医師会の職員の退職に係る費用を除いて算出したものである。

第59図　職員数等の推移〔安芸市民病院〕



(ｲ) 給与費対医業収益の比率等の状況

平成24年度の給与費対医業収益の比率は，指定管理者である社団法人広島市医師会の職員の給与費（退職に係る費用を除く。）を含めて算出すると54.7％で，平成23年度と比べて0.9ポイント低下している。これは，医業収益及び給与費がいずれも増加したものの，医業収益の増加率が給与費のそれを上回ったことによるものである。

また，職員1人当たりの医業収益は1,013万円で，平成23年度と比べて11万円増加している。

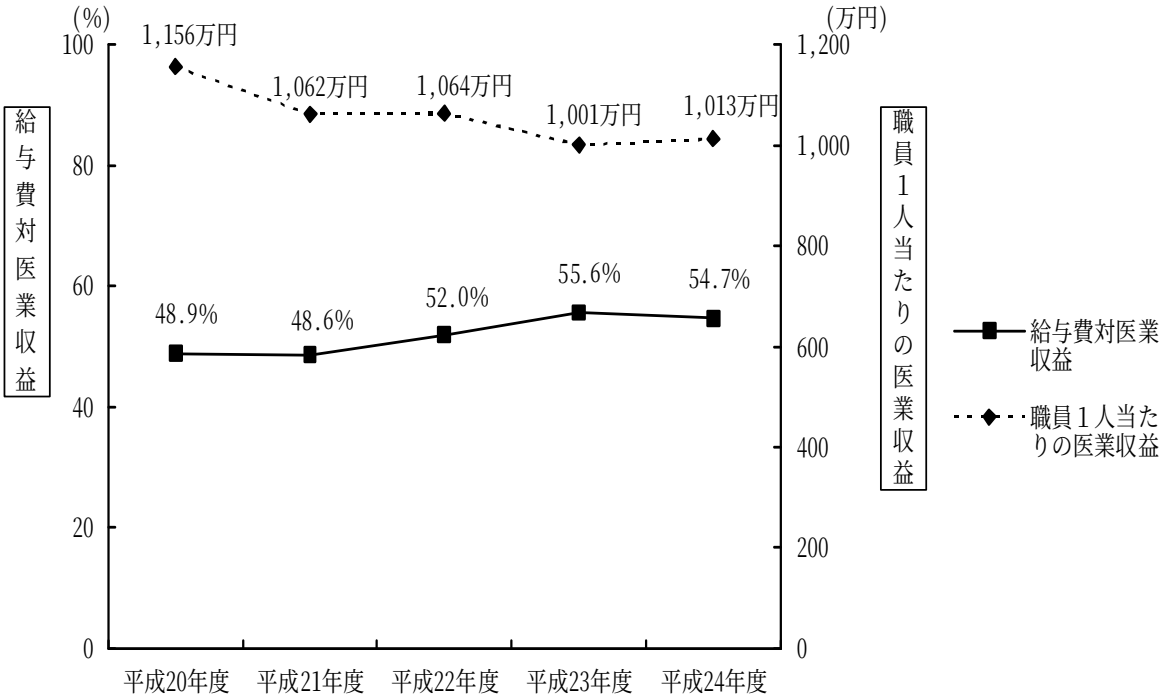
給与費対医業収益の比率等の過去5年間の推移を見ると，給与費対医業収益の比率は，平成21年度においては低下したが，平成22年度，平成23年度に上昇し，平成24年度は再び低下している。また，職員1人当たりの医業収益は，減少と増加を繰り返している。

第51表　給与費対医業収益の比率等の状況〔安芸市民病院〕

区　　分		平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）
給与費対医業収益	$\left[\frac{給与費}{医業収益}\times 100\right]$ (%)	54.7	55.6	△ 0.9
職員1人当たりの医業収益	$\left[\frac{医業収益}{職員数}\right]$ (万円)	1,013	1,001	11

(注) 1　給与費対医業収益比率は，第50表の(社)広島市医師会の職員の給与費（退職に係る費用を除く。）を含めて算出したものである。
2　職員1人当たりの医業収益は，第50表の(社)広島市医師会の職員を含めて算出したものである。

第60図　給与費対医業収益の比率等の推移〔安芸市民病院〕



エ　材料費の状況

平成24年度の材料費は2億8,820万円で，平成23年度と比べて589万円（2.0%）減少している。これは，主として診療材料費が減少したことによるものである。

材料費対医業収益の比率は17.1%で，平成23年度と比べて0.8ポイント低下している。

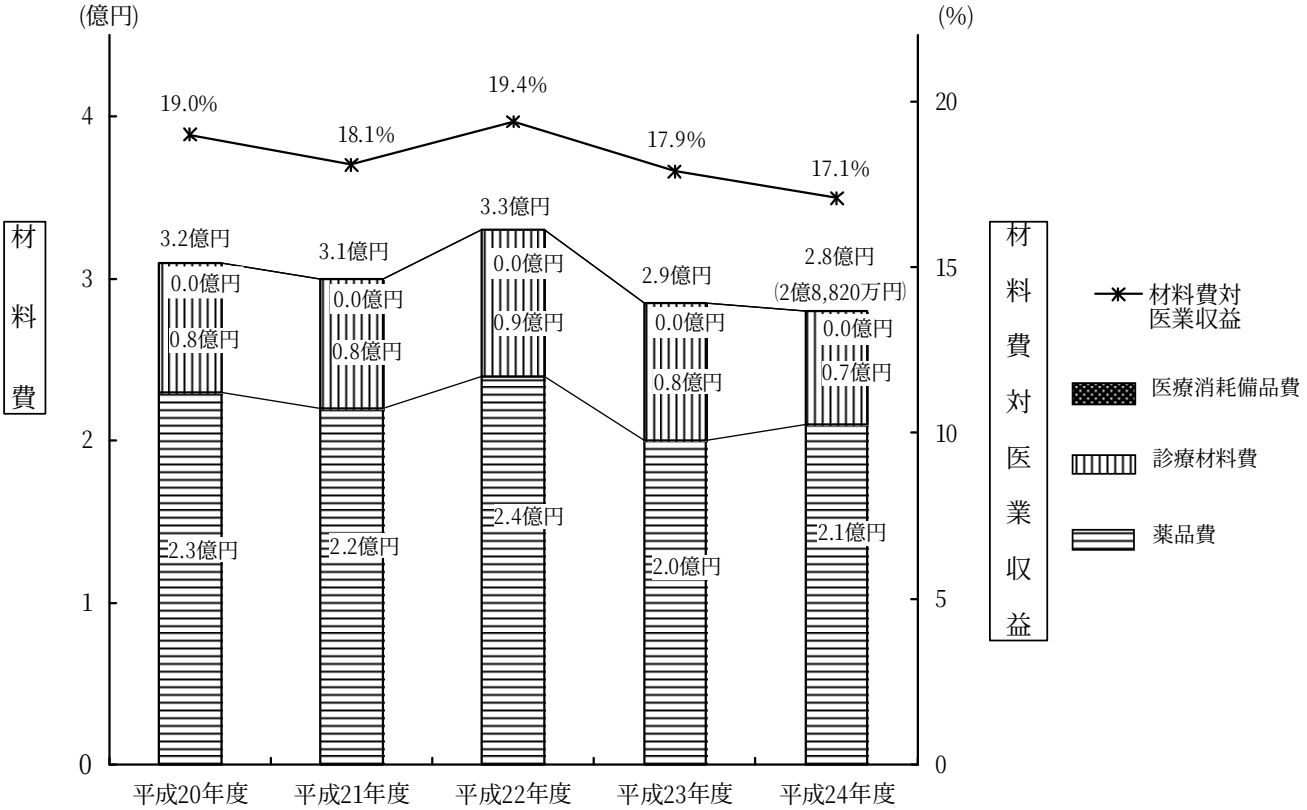
材料費等の過去5年間の推移を見ると，材料費は，平成22年度を除き減少している。また，材料費対医業収益の比率は，平成22年度を除き低下している。

第52表　材料費の状況〔安芸市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
材料費	2 8820	2 9409	△ 589	△ 2.0
薬品費	2 1419	2 0972	447	2.1
診療材料費	7107	8152	△ 1045	△ 12.8
医療消耗備品費	292	283	8	3.1
材料費対医業収益	17.1%	17.9%	△ 0.8	－

(注)　材料費の額は，「第47-2表　費用の内訳」の数値による。

第61図　材料費の推移〔安芸市民病院〕



オ　経費の状況

経費の主なものは，光熱水費，委託料，賃借料であり，平成24年度においては，平成23年度と比べて委託料及び賃借料は増加し，光熱水費は減少している。

光熱水費が減少したのは，主として水道使用料の減によるものである。委託料が増加したのは，施設設備等の修繕改修計画作成に係る委託料の増等によるものである。賃借料が増加したのは，ＳＰＯ２（動脈血酸素飽和度）モニター装置借上料の増等によるものである。

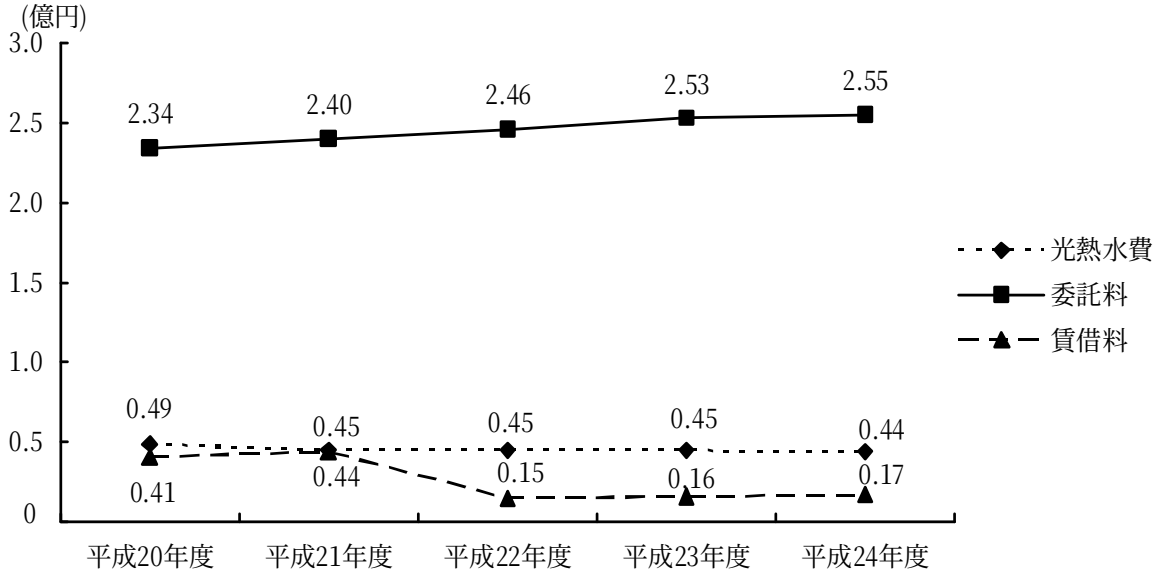
主な経費の過去5年間の推移を見ると，光熱水費は平成22年度を除き減少している。委託料は年々増加している。賃借料は平成22年度を除き増加している。

第53表　主な経費の状況〔安芸市民病院〕

区　　分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	増△減（A－B）	対前年度増減率
	億　万円	億　万円	万円	%
光熱水費	4434	4559	△ 124	△ 2.7
委託料	2 5514	2 5303	211	0.8
賃借料	1799	1644	155	9.5

（注）　金額は，「第47-2表　費用の内訳」の数値による。

第62図　主な経費の推移〔安芸市民病院〕



カ　損益及び医業収支比率等の状況

(ｱ) 医業損失及び医業収支比率

平成24年度の医業損失は1億5,262万円で，平成23年度と比べて720万円減少している。これは，医業収益が診療収入の増等により，医業費用が経費の増等により，いずれも増加したが，医業収益の増加額が医業費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の医業収支比率（医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は91.7％であり，平成23年度と比べて0.6ポイント上昇している。

(ｲ) 経常損失及び経常収支比率

平成24年度の経常損失は7,121万円で，平成23年度と比べて315万円減少している。これは，経常収益が医業収益の増等により，経常費用が医業費用の増等により，いずれも増加したが，経常収益の増加額が経常費用のそれを上回ったことによるものである。

また，平成24年度の経常収支比率（通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は96.2％であり，平成23年度と比べて0.2ポイント上昇している。

(ｳ) 純損失及び総収支比率

平成24年度の純損失は8,785万円で，平成23年度と比べて398万円増加している。これは，総収益が経常収益の増等により，総費用が経常費用及び特別損失の増により，いずれも増加したが，総収益の増加額が総費用のそれを下回ったことによるものである。

また，平成24年度の総収支比率（事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標）は95.3％であり，平成23年度と比べて0.2ポイント低下している。

なお，これらの指標は100％を超えて比率が高いほど経営成績が良好とされるが，平成24年度を見ると，いずれの比率も100％を下回っている。

第54表　損益等の状況〔安芸市民病院〕

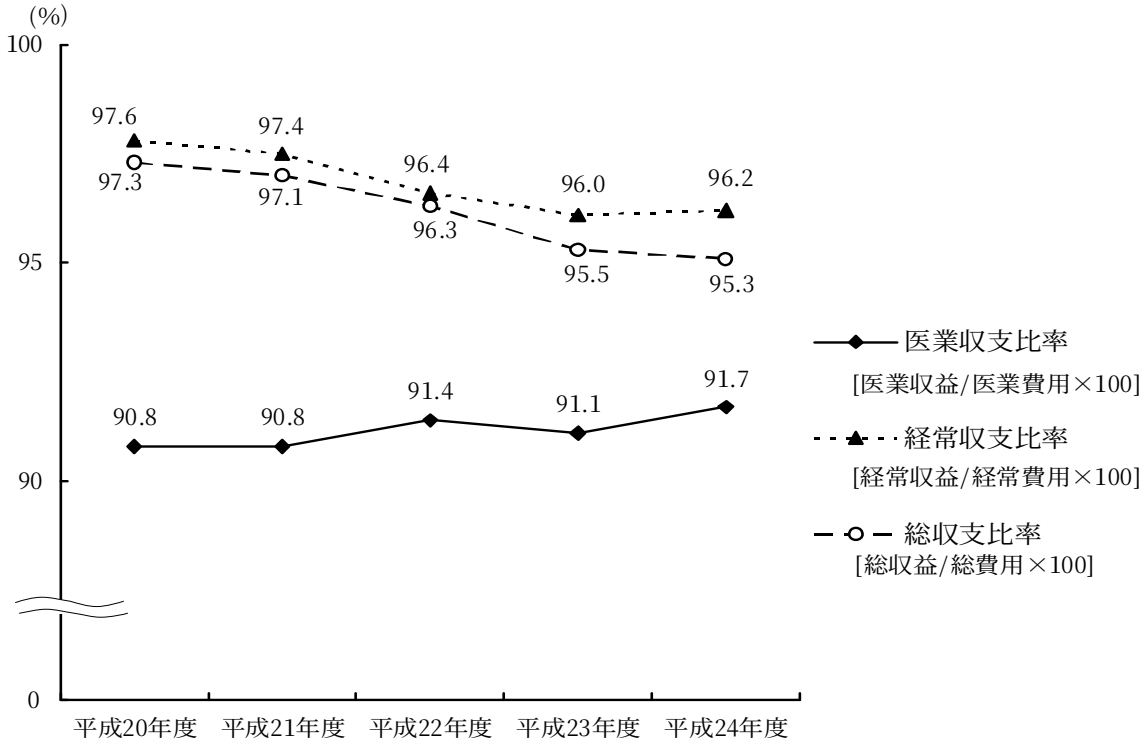
区分		平成24年度	平成23年度	増△減	対前年度増減率
		億　万円	億　万円	万円	%
医業収益	(A)	16 8201	16 4276	3924	2.4
医業費用	(B)	18 3463	18 0259	3204	1.8
医業利益(△医業損失)	(A－B)	△ 1 5262	△ 1 5983	720	－
医業外収益	(C)	1 1840	1 2411	△ 571	△ 4.6
医業外費用	(D)	3699	3865	△ 165	△ 4.3
経常収益	(E＝A＋C)	18 0041	17 6687	3353	1.9
経常費用	(F＝B＋D)	18 7163	18 4124	3038	1.7
経常利益(△経常損失)	(E－F)	△ 7121	△ 7437	315	－
特別利益	(G)	0	242	△ 242	△ 100.0
特別損失	(H)	1663	1193	470	39.4
総収益	(I＝E＋G)	18 0041	17 6930	3110	1.8
総費用	(J＝F＋H)	18 8827	18 5318	3508	1.9
純利益(△純損失)	(I－J)	△ 8785	△ 8387	△ 398	－

区分		平成24年度	平成23年度	増△減
		%	%	
医業収支比率	(A／B×100)	91.7	91.1	0.6
経常収支比率	(E／F×100)	96.2	96.0	0.2
総収支比率	(I／J×100)	95.3	95.5	△ 0.2

(I) 医業収支比率等の推移

医業収支比率等の過去5年間の推移を見ると，医業収支比率は，平成22年度においては上昇したが，平成23年度に低下し，平成24年度は再び上昇している。経常収支比率は，平成23年度までは低下していたが，平成24年度は上昇している。総収支比率は，年々低下している。

第63図　医業収支比率等の推移〔安芸市民病院〕



(注) 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益，経常費用＝医業費用＋医業外費用
　　 2　総収益＝経常収益＋特別利益，総費用＝経常費用＋特別損失

4　財政状態

(1) 資産・負債・資本の状況

平成 24 年度末の資産は 724 億 3,949 万円,負債は 48 億 9,294 万円,資本は 675 億 4,655 万円となっている。

資料編
P100-103,P116-119,
P132-133,P146-149,
P162-163

平成24年度末の資産は，平成23年度末と比べて5億258万円（0.7%）増加している。これは減価償却を行ったことにより固定資産が減少したものの，現金預金等の流動資産が増加したことなどによるものである。

平成24年度末の負債は，平成23年度末と比べて8億5,150万円（14.8%）減少している。これは一般会計繰入金の精算に伴う返還金の減等によりその他流動負債が減少したことなどによるものである。

平成24年度末の資本は，平成23年度末と比べて13億5,409万円（2.0%）増加している。これは事業の黒字化により純利益が生じ，欠損金が減少したことなどによるものである。

第55表　貸借対照表

区分	平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
	億	万円	億	万円	億	万円	%
資産							
固定資産	471	5766	487	1933	△ 15	6166	△ 3.2
流動資産	252	8182	232	1758	20	6424	8.9
現金預金	169	3883	148	3308	21	0574	14.2
未収金	79	8235	80	7230	△	8994	△ 1.1
その他	3	6063	3	1219		4844	15.5
合計	724	3949	719	3691	5	0258	0.7
負債							
固定負債		8000		8000		0	0.0
流動負債	48	1294	56	6444	△ 8	5150	△ 15.0
未払金	44	1278	47	8696	△ 3	7417	△ 7.8
その他流動負債	4	0015	8	7748	△ 4	7733	△ 54.4
計	48	9294	57	4444	△ 8	5150	△ 14.8
資本							
資本金	854	3881	854	1224		2657	0.0
自己資本金	400	3003	380	8412	19	4591	5.1
借入資本金	454	0878	473	2812	△ 19	1934	△ 4.1
剰余金	△ 178	9226	△ 192	1978	13	2752	△ 6.9
資本剰余金	67	7726	63	1274	4	6452	7.4
利益剰余金（△欠損金）	△ 246	6952	△ 255	3252	8	6299	△ 3.4
計	675	4655	661	9246	13	5409	2.0
合計	724	3949	719	3691	5	0258	0.7

第55-2表　貸借対照表（病院別）

区分	平成24年度		平成23年度		増△減		対前年度増減率
資産	億	万円	億	万円	億	万円	%
固定資産	471	5766	487	1933	△ 15	6166	△ 3.2
広島市民病院	246	5870	258	9726	△ 12	3855	△ 4.8
舟入病院	40	3740	44	0968	△ 3	7227	△ 8.4
リハビリテーション病院	65	7718	68	7709	△ 2	9990	△ 4.4
安佐市民病院	91	2743	87	0145	4	2597	4.9
安芸市民病院	27	5693	28	3383	△	7689	△ 2.7
流動資産	252	8182	232	1758	20	6424	8.9
広島市民病院	132	0240	123	3703	8	6537	7.0
舟入病院	29	2433	28	8854		3578	1.2
リハビリテーション病院	4	3109	5	1990	△	8881	△ 17.1
安佐市民病院	82	1376	69	3122	12	8253	18.5
安芸市民病院	5	1021	5	4086	△	3064	△ 5.7
合計	724	3949	719	3691	5	0258	0.7
広島市民病院	378	6111	382	3429	△ 3	7318	△ 1.0
舟入病院	69	6174	72	9823	△ 3	3648	△ 4.6
リハビリテーション病院	70	0828	73	9700	△ 3	8871	△ 5.3
安佐市民病院	173	4119	156	3268	17	0851	10.9
安芸市民病院	32	6715	33	7469	△ 1	0753	△ 3.2
負債							
固定負債		8000		8000		0	0.0
広島市民病院		8000		8000		0	0.0
流動負債	48	1294	56	6444	△ 8	5150	△ 15.0
広島市民病院	27	2424	35	2746	△ 8	0322	△ 22.8
舟入病院	3	3518	4	5528	△ 1	2009	△ 26.4
リハビリテーション病院	1	3109	1	1990		1118	9.3
安佐市民病院	14	9456	14	4174		5282	3.7
安芸市民病院	1	2784	1	2004		780	6.5
計	48	9294	57	4444	△ 8	5150	△ 14.8
資本							
資本金	854	3881	854	1224		2657	0.0
自己資本金	400	3003	380	8412	19	4591	5.1
広島市民病院	183	6337	173	9622	9	6715	5.6
舟入病院	36	8084	34	1108	2	6976	7.9
リハビリテーション病院	5	3609	3	5457	1	8151	51.2
安佐市民病院	170	2331	165	5911	4	6420	2.8
安芸市民病院	4	2639	3	6311		6327	17.4
借入資本金	454	0878	473	2812	△ 19	1934	△ 4.1
広島市民病院	255	2268	269	1891	△ 13	9623	△ 5.2
舟入病院	58	5572	62	1745	△ 3	6173	△ 5.8
リハビリテーション病院	69	3249	72	8848	△ 3	5598	△ 4.9
安佐市民病院	51	1824	48	3150	2	8674	5.9
安芸市民病院	19	7963	20	7176	△	9213	△ 4.4
剰余金	△ 178	9226	△ 192	1978	13	2752	△ 6.9
資本剰余金	67	7726	63	1274	4	6452	7.4
広島市民病院	29	7508	28	2447	1	5061	5.3
舟入病院	12	1272	11	0426	1	0846	9.8
リハビリテーション病院	6	6417	4	8265	1	8151	37.6
安佐市民病院	9	2354	9	0099		2255	2.5
安芸市民病院	10	0173	10	0035		137	0.1
利益剰余金（△欠損金）	△ 246	6952	△ 255	3252	8	6299	△ 3.4
広島市民病院	△ 112	2428	△ 118	3278	6	0850	△ 5.1
舟入病院	△ 41	2274	△ 38	8986	△ 2	3287	6.0
リハビリテーション病院	△ 15	5558	△ 12	4862	△ 3	0696	24.6
安佐市民病院	△ 72	1846	△ 81	0065	8	8218	△ 10.9
安芸市民病院	△ 5	4845	△ 4	6059	△	8785	19.1
計	675	4655	661	9246	13	5409	2.0
合計	724	3949	719	3691	5	0258	0.7
広島市民病院	384	4111	389	1429	△ 4	7318	△ 1.2
舟入病院	69	6174	72	9823	△ 3	3648	△ 4.6
リハビリテーション病院	67	0828	69	9700	△ 2	8871	△ 4.1
安佐市民病院	173	4119	156	3268	17	0851	10.9
安芸市民病院	29	8715	30	9469	△ 1	0753	△ 3.5

(2) 欠損金等の状況

平成 24 年度において純利益が 8 億 6,299 万円生じた結果，年度末の欠損金は 246 億 6,952 万円となっている。また，欠損金について過去 5 年間の推移を見ると，平成 22 年度までは増加していたが，平成 23 年度及び平成 24 年度において純利益が生じたことにより 2 年連続で減少している。

資料編
P96-97,P102-103,
P112-113,P118-119,
P128-129,P132-133,
P142-143,P148-149,
P158-159,P162-163

欠損金の過去5年間の推移を病院別に見ると，広島市民病院は平成21年度を除き減少している。舟入病院，リハビリテーション病院及び安芸市民病院は年々増加している。また，安佐市民病院は年々減少している。

なお，平成24年度末における病院全体の自己資本は221億3,777万円であり，債務超過とはなっていない。

第56表　病院別純利益（△純損失）の推移

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	平成22年度	平成21年度	平成20年度	増△減（A－B）
	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円
病院全体	8 6299	2 7256	△ 6080	△ 6 8354	△ 6 4025	5 9043
広島市民病院	6 0850	3 8854	4427	△ 2 8465	3449	2 1996
舟入病院	△ 2 3287	△ 2 2531	△ 1 9465	△ 2 5547	△ 2 4537	△ 756
リハビリテーション病院	△ 3 0696	△ 3 0859	△ 3 0368	△ 3 1879	△ 3 1755	162
安佐市民病院	8 8218	5 0180	4 6507	2 3184	△ 5851	3 8038
安芸市民病院	△ 8785	△ 8387	△ 7181	△ 5646	△ 5330	△ 398

第57表　病院別欠損金の推移

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	平成22年度	平成21年度	平成20年度	増△減（A－B）
	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円
病院全体	246 6952	255 3252	258 0508	257 4427	250 6073	△ 8 6299
広島市民病院	112 2428	118 3278	122 2132	122 6560	119 8095	△ 6 0850
舟入病院	41 2274	38 8986	36 6454	34 6988	32 1441	2 3287
リハビリテーション病院	15 5558	12 4862	9 4003	6 3634	3 1755	3 0696
安佐市民病院	72 1846	81 0065	86 0246	90 6753	92 9938	△ 8 8218
安芸市民病院	5 4845	4 6059	3 7671	3 0490	2 4843	8785

第58表　自己資本の状況

区分	平成24年度（A）	平成23年度（B）	平成22年度	平成21年度	平成20年度	増△減（A－B）
	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円	億 万円
自己資本	221 3777	188 6433	162 4854	140 9667	124 5874	32 7343
自己資本金	400 3003	380 8412	362 3674	344 1442	325 2212	19 4591
資本剰余金	67 7726	63 1274	58 1689	54 2653	49 9735	4 6452
利益剰余金（△欠損金）	△ 246 6952	△ 255 3252	△ 258 0508	△ 257 4427	△ 250 6073	8 6299

(3) 運転資金の状況

平成24年度末の運転資金は204億6,888万円で,平成23年度末と比べて29億1,575万円増加している。

運転資金は，短期間における資金繰りの状況を示すものである。

平成24年度末の運転資金が平成23年度末と比べて増加したのは，主として現金預金が増加したことによるものである。

また，平成24年度の流動比率は525.3%となり，平成23年度と比べて115.4ポイント上昇している。

なお，平成24年度においては，運転資金について，年間を通じて他の病院から資金の融通を受けているリハビリテーション病院及び安芸市民病院を除く，広島市民病院，舟入病院及び安佐市民病院では，大口定期預金による資金運用を行っており，その結果，588万円の収入があった。

第59表　運転資金の状況

区分	平成24年度		平成23年度		増△減	
	億	万円	億	万円	億	万円
流動資産(A)	252	8182	232	1758	20	6424
現金預金	169	3883	148	3308	21	0574
未収金	79	8235	80	7230	△	8994
貯蔵品	3	5371	3	1217		4154
その他流動資産		692		2		690
流動負債(B)	48	1294	56	6444	△ 8	5150
未払金	44	1278	47	8696	△ 3	7417
その他流動負債	4	0015	8	7748	△ 4	7733
運転資金（A－B）	204	6888	175	5313	29	1575
流動比率（A／B×100）	525.3%		409.9%		115.4	

5　キャッシュ・フローの状況

平成 24 年度の現金預金期末残高は 169 億 3,883 万円で，期首残高の 148 億 3,308 万円と比べて 21 億 574 万円増加している。

キャッシュ・フロー計算書は，一会計期間における現金及び現金同等物（以下「現金等」という。）の増加又は減少の状況を，医業活動，投資活動及び財務活動に区分して表したものである。

医業活動によるキャッシュ・フローにおいて38億6,302万円，財務活動によるキャッシュ・フローにおいて4億8,958万円それぞれ現金等が生じている。一方，投資活動によるキャッシュ・フローにおいて，医療機器の購入等により現金等を22億4,686万円費消している。

この結果，平成24年度中に現金等が21億574万円増加している。

第60表　キャッシュ・フロー計算書

区分	平成24年度（A）		平成23年度（B）		増△減（A－B）	
	億	万円	億	万円	億	万円
Ⅰ 医業活動によるキャッシュ・フロー						
当期純利益（△純損失）	8	6299	2	7256	5	9043
減価償却費等	38	1004	39	1930	△ 1	0926
未収金等の減少額（△表示は，会計期間中に増加した場合）		4149	△	8987	1	3137
未払金等の増加額（△表示は，会計期間中に減少した場合）	△ 8	5150	14	7144	△ 23	2295
計（C）	38	6302	55	7343	△ 17	1040
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー						
固定資産取得費	△ 22	6461	△ 13	7101	△ 8	9359
固定資産売却代金		1814		0		1814
敷金	△	70		0	△	70
敷金返還金収入		31		8		23
出資金支出		0		0		0
計（D）	△ 22	4686	△ 13	7093	△ 8	7592
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー						
出資金収入	19	4591	18	4737		9853
借入金償還金	△ 5	6100	△ 2	8300	△ 2	7800
企業債収入	37	2930	11	7950	25	4980
企業債償還金	△ 50	8764	△ 31	9459	△ 18	9304
補助金収入		9266	1	4600	△	5334
負担金収入	3	7035	3	3936		3098
計（E）	4	8958		3465	4	5493
Ⅳ 当期現金預金増加額（C＋D＋E）	21	0574	42	3715	△ 21	3140
Ⅴ 現金預金期首残高	148	3308	105	9593	42	3715
Ⅵ 現金預金期末残高	169	3883	148	3308	21	0574

6　むすび

平成24年度の病院事業全体の経営収支は8億6,299万円の純利益であり，平成23年度と比べて5億9,043万円増加し，平成23年度に引き続き，2年連続の黒字となっている。その結果，平成24年度末での病院事業全体の欠損金は246億6,952万円となり，平成23年度末と比べて8億6,299万円減少している。

病院別に収支の状況を見ると，広島市民病院では平成22年度以降3年連続で，安佐市民病院では平成21年度以降4年連続で純利益が生じ，その額はいずれも増加しつつある一方で，舟入病院，リハビリテーション病院及び安芸市民病院では引き続き純損失が生じている。

各病院における経営成績の違いについては，収益の多くを占める診療収入について，広島市民病院は広島市域の中核病院として，安佐市民病院は広島市北部及び広島県北西部の中核病院として，より高度な専門医療などを実施していることから，入院及び外来の患者1人1日当たりの診療収入が比較的高くなっているのに対して，舟入病院，リハビリテーション病院及び安芸市民病院は，いずれも低くとどまっていることがその要因として挙げられる。

今後の経営環境については，費用面では，広島市民病院の増改築整備やリハビリテーション病院の開設に伴う多額の企業債利息や減価償却費が引き続き見込まれる。

また，安佐市民病院は，現在，建替えの検討が進められており，今後の建替えに伴い，同様の費用が増加することが見込まれる。

一方，収益面では，平成22年度及び平成24年度の診療報酬改定は僅かながらプラス改定となったものの，高齢化が進展する中，老人医療費の中長期的な適正化を推進する医療費適正化計画などの下にあっては，診療収入の大幅な増加が見込まれる状況ではない。

こうしたことから，病院事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものと予測される。

病院事業を取り巻く環境変化に迅速かつ柔軟に対応し，これまで以上に質の高い安全で安心な医療を安定的に提供していくための経営改善方策について検討することを目的に設置した「広島市立病院経営改善方策検討委員会」の最終報告を踏まえ，指定管理者制度を導入している安芸市民病院を除く4病院については，平成26年4月から地方独立行政法人へ移行することとしている。

地方独立行政法人へ移行することにより，環境変化に対応した必要な人材の確保，機動力のある予算措置や病院の実態に即した弾力的な予算執行，さらに経営責任の明確化が図られるなどとされており，移行するに当たっては，これらのことを踏まえつつ，各病院の役割の見直しや連携強化などを進めることで，より効率的かつ効果的な運営に取り組むことが望まれる。

なお，地方独立行政法人への移行後においても，自治体病院として必要とされる医療を的確かつ継続的に提供することが求められることにも十分留意する必要がある。

また、地方独立行政法人への移行に向け，地方独立行政法人会計基準に沿った規定の整備など，必要な事務処理に的確に取り組まれたい。

安芸市民病院については，今回の地方独立行政法人への移行の対象から除かれ，引き続き指定管理者制度により運営されることとされている。

安芸市民病院は，これまで地域連携室の設置や土曜日診療等の様々な取組を行ってきたところであるが，その収支は年々悪化している。

ついては，一層の収益の増加策等に積極的に取り組み，効率的な運営を行うことにより，経営の健全化が図られるよう，指定管理者である社団法人広島市医師会と連携し，改善策を講じられたい。

引き続き，5病院それぞれの経営改善に取り組み，多様化・高度化する市民のニーズに的確に対応した医療を提供するよう努められたい。

資　料　編

目　　次

ページ

広島市病院事業（広島市立広島市民病院）

資料　1　業務実績年度比較表 …… 92
資料　2　損益計算書年度比較表 …… 96
資料　3　資本的収支年度比較表 …… 98
資料　4　貸借対照表年度比較表 ……100
資料　5　経営分析比率年度比較表 ……104

広島市病院事業（広島市立舟入病院）

資料　1　業務実績年度比較表 ……108
資料　2　損益計算書年度比較表 ……112
資料　3　資本的収支年度比較表 ……114
資料　4　貸借対照表年度比較表 ……116
資料　5　経営分析比率年度比較表 ……120

広島市病院事業（広島市総合リハビリテーションセンター　リハビリテーション病院）

資料　1　業務実績年度比較表 ……124
資料　2　損益計算書年度比較表 ……128
資料　3　資本的収支年度比較表 ……130
資料　4　貸借対照表年度比較表 ……132
資料　5　経営分析比率年度比較表 ……134

広島市病院事業（広島市立安佐市民病院）

資料　1　業務実績年度比較表 ……138
資料　2　損益計算書年度比較表 ……142
資料　3　資本的収支年度比較表 ……144
資料　4　貸借対照表年度比較表 ……146
資料　5　経営分析比率年度比較表 ……150

広島市病院事業（広島市医師会運営・安芸市民病院）

資料　1　業務実績年度比較表　……154
資料　2　損益計算書年度比較表　……158
資料　3　資本的収支年度比較表　……160
資料　4　貸借対照表年度比較表　……162
資料　5　経営分析比率年度比較表　……164

（注）

1　金額は，円単位とし，患者１人１日当たり診療収入等端数処理が必要な場合は，表示単位未満の端数を四捨五入している。

2　上記以外の数値は，原則として，表示単位未満の端数を四捨五入している。また，経営分析に係る比率の増減については，四捨五入した比率を基に求めている。

3　消費税及び地方消費税相当分の取扱いについては，原則として除いているが，含んでいる場合はその旨を注記している。

広島市病院事業（広島市立広島市民病院）

資料　1

業　務　実　績　年

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口		人	118万2,403	117万7,934	117万5,466
年間患者延数		人	67万6,598	67万8,687	67万3,346
入院患者延数		人	26万1,177	26万5,115	25万9,549
1日平均		人	716	724	711
外来患者延数		人	41万5,421	41万3,572	41万3,797
1日平均		人	1,703	1,695	1,710
診療科目別	内科	人	12万7,764	12万7,207	12万8,896
	呼吸器内科	人	2万7,555	2万8,344	2万6,857
	循環器内科	人	5万6,281	5万5,372	5万6,342
	外科	人	6万7,054	6万8,249	6万6,118
	整形外科	人	3万4,147	3万3,295	3万4,546
	形成外科	人	1万4,521	1万3,960	1万3,709
	脳神経外科	人	2万7,342	2万8,563	2万7,558
	心臓血管外科	人	2万3,965	2万4,437	2万3,442
	呼吸器外科	人	1万3,238	1万3,901	1万4,688
	小児科	人	5万　821	5万　267	4万7,675
	小児外科	人	7,122	7,585	7,729
	産科・婦人科	人	5万8,369	5万6,539	5万6,769
	皮膚科	人	1万3,151	1万3,223	1万2,297
	泌尿器科	人	2万9,633	3万　824	3万1,332
	耳鼻いんこう科	人	3万1,875	3万1,780	2万9,712
	眼科	人	1万8,263	1万9,189	1万8,516
	精神科・神経内科	人	4万1,870	4万1,593	4万1,429
	放射線科	人	1万2,484	1万4,489	1万3,828
	リウマチ科	人	3,555	3,116	5,070
	歯科・歯科口腔外科	人	1万7,545	1万6,561	1万6,724
	麻酔科	人	43	193	109
病床	病床数	床	743	743	743
	一般病床	床	715	715	715
	精神病床	床	28	28	28
	病床利用率	%	96.3	97.5	95.7
	一般病床	%	96.4	97.8	95.9
	精神病床	%	94.8	89.0	90.2
患者一人一日当たり	診療収入	円	3万7,431	3万6,053	3万5,108
	入院	円	7万　772	6万7,031	6万6,389
	外来	円	1万6,470	1万6,195	1万5,487
	費用	円	4万　217	3万9,414	3万8,894

（注）　外科の患者数は乳腺外科を含み，小児科の患者数は循環器小児科を含み，耳鼻いんこう

度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
117万1,559	116万7,963	101.2	100.9	100.6	100.3	100
67万6,296	68万5,488	98.7	99.0	98.2	98.7	100
25万8,649	25万6,290	101.9	103.4	101.3	100.9	100
709	702	102.0	103.1	101.3	101.0	100
41万7,647	42万9,198	96.8	96.4	96.4	97.3	100
1,733	1,774	96.0	95.5	96.4	97.7	100
13万1,875	12万4,758	102.4	102.0	103.3	105.7	100
2万6,162	2万4,594	112.0	115.2	109.2	106.4	100
5万7,028	5万8,053	96.9	95.4	97.1	98.2	100
6万5,118	6万　110	111.6	113.5	110.0	108.3	100
3万2,144	3万3,759	101.1	98.6	102.3	95.2	100
1万3,972	1万4,916	97.4	93.6	91.9	93.7	100
2万7,217	2万5,727	106.3	111.0	107.1	105.8	100
2万3,056	2万2,703	105.6	107.6	103.3	101.6	100
1万5,377	1万6,436	80.5	84.6	89.4	93.6	100
4万9,656	5万　340	101.0	99.9	94.7	98.6	100
8,108	9,022	78.9	84.1	85.7	89.9	100
5万4,915	5万3,804	108.5	105.1	105.5	102.1	100
1万3,974	1万5,128	86.9	87.4	81.3	92.4	100
3万3,122	3万2,816	90.3	93.9	95.5	100.9	100
2万7,908	2万7,305	116.7	116.4	108.8	102.2	100
1万7,669	2万2,734	80.3	84.4	81.4	77.7	100
3万8,781	4万4,396	94.3	93.7	93.3	87.4	100
1万8,001	1万7,045	73.2	85.0	81.1	105.6	100
5,266	1万4,035	25.3	22.2	36.1	37.5	100
1万6,809	1万7,616	99.6	94.0	94.9	95.4	100
138	191	22.5	101.0	57.1	72.3	100
743	743	100.0	100.0	100.0	100.0	100
715	715	100.0	100.0	100.0	100.0	100
28	28	100.0	100.0	100.0	100.0	100
95.4	94.5	—	—	—	—	—
95.8	94.7	—	—	—	—	—
85.2	88.2	—	—	—	—	—
3万3,231	3万2,156	116.4	112.1	109.2	103.3	100
6万1,093	6万　628	116.7	110.6	109.5	100.8	100
1万5,976	1万5,155	108.7	106.9	102.2	105.4	100
3万8,067	3万6,578	109.9	107.8	106.3	104.1	100

科の患者数は頭頸部外科を含んでいる。

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
職員数	実数	人	990	981	956
	医師	人	127	123	110
	医療技術職員	人	133	132	131
	看護師	人	678	673	661
	事務・技術職員	人	44	44	44
	技能・業務職員	人	8	9	10
	嘱託・臨時職員	人	678	619	592
病床一〇〇床当たり職員数	医師	人	17.1	16.6	14.8
	医療技術職員	人	17.9	17.8	17.6
	看護師	人	91.3	90.6	89.0
	事務・技術職員	人	5.9	5.9	5.9
	技能・業務職員	人	1.1	1.2	1.3
	合計	人	133.2	132.0	128.7
職員一人一日当たり患者数	医師	人	19.0	19.7	22.0
	入院	人	5.6	5.9	6.5
	外来	人	13.4	13.8	15.5
	看護師	人	3.6	3.6	3.7
	入院	人	1.1	1.1	1.1
	外来	人	2.5	2.5	2.6
	事務・技術職員等	人	13.1	13.1	13.0
	入院	人	3.9	3.9	3.8
	外来	人	9.2	9.2	9.2
職員一人一日当たり診療収入	入院	円	5万1,153	4万9,495	4万9,381
	外来	円	2万8,324	2万7,981	2万7,700

(注) 職員数の実数は，各年度末現在の数値であり，休職者等を除く。

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
964	948	104.4	103.5	100.8	101.7	100
112	112	113.4	109.8	98.2	100.0	100
133	134	99.3	98.5	97.8	99.3	100
663	645	105.1	104.3	102.5	102.8	100
43	41	107.3	107.3	107.3	104.9	100
13	16	50.0	56.3	62.5	81.3	100
560	526	128.9	117.7	112.5	106.5	100
15.1	15.1	113.2	109.9	98.0	100.0	100
17.9	18.0	99.4	98.9	97.8	99.4	100
89.2	86.8	105.2	104.4	102.5	102.8	100
5.8	5.5	107.3	107.3	107.3	105.5	100
1.7	2.2	50.0	54.5	59.1	77.3	100
129.7	127.6	104.4	103.4	100.9	101.6	100
21.8	22.1	86.0	89.1	99.5	98.6	100
6.3	6.3	88.9	93.7	103.2	100.0	100
15.5	15.8	84.8	87.3	98.1	98.1	100
3.7	3.9	92.3	92.3	94.9	94.9	100
1.1	1.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100
2.6	2.8	89.3	89.3	92.9	92.9	100
13.0	13.0	100.8	100.8	100.0	100.0	100
3.8	3.7	105.4	105.4	102.7	102.7	100
9.2	9.3	98.9	98.9	98.9	98.9	100
4万4,909	4万4,906	113.9	110.2	110.0	100.0	100
2万8,719	2万8,352	99.9	98.7	97.7	101.3	100

資料　2

損　益　計　算　書

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収益	1　医業収益	265	0693	7215	255	7257	6732	248	6588	6737
	(1)　入院収益	184	8412	3285	177	7096	0869	172	3107	9314
	(2)　外来収益	68	4183	5007	66	9763	1609	64	0848	9120
	(3)　その他医業収益	11	8097	8923	11	0398	4254	12	2631	8303
	ア　室料差額収益	3	2361	3788	3	2704	9672	3	2099	9251
	イ　公衆衛生活動収益	2	0152	0789	2	1906	5155	2	2797	7985
	ウ　一般会計負担金	5	9650	0236	4	9875	8058	6	1810	4640
	エ　その他医業収益		5934	4110		5911	1369		5923	6427
	2　医業外収益	13	0491	2412	15	5288	7596	13	3176	6535
	(1)　受取利息配当金		348	5978		194	3830		134	7156
	(2)　補助金		8860	3000		8906	8702		3690	3000
	(3)　負担金交付金	8	9135	9277	10	9960	1960	9	6884	6059
	(4)　その他医業外収益	3	2146	4157	3	6227	3104	3	2467	0320
	3　特別利益		771	9384		1266	4399		3569	7167
	(1)　過年度損益修正益		771	9384		1266	4399		3569	7167
	合計	278	1956	9011	271	3812	8727	262	3335	0439
費用	1　医業費用	265	1483	5282	260	4850	3064	254	4309	2803
	(1)　給与費	131	8365	1919	131	2773	9046	127	1551	5598
	(2)　材料費	81	2438	8163	77	7348	1526	76	7049	2772
	(3)　経費	29	2296	6008	28	4151	9059	27	9775	8101
	(4)　減価償却費	21	7453	4064	21	9916	8492	21	6925	0794
	(5)　資産減耗費		4829	8645		4423	0979		3664	9691
	(6)　研究研修費		6099	6483		6236	3962		5342	5847
	2　医業外費用	5	5417	4066	5	8034	5607	6	0375	3694
	(1)　支払利息及び企業債取扱諸費	5	5417	4066	5	8034	5607	6	0374	8549
	(2)　繰延勘定償却			—			—			—
	(3)　雑損失			0			0			5145
	3　特別損失	1	4205	3931	1	2073	6413	1	4222	6842
	(1)　過年度損益修正損	1	4205	3931	1	2073	6413	1	4222	6842
	合計	272	1106	3279	267	4958	5084	261	8907	3339
当年度純利益（△純損失）		6	0850	5732	3	8854	3643		4427	7100

年　度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	構成比 平成24年度	構成比 平成23年度	構成比 平成22年度	構成比 平成21年度	構成比 平成20年度	指数 平成24年度	指数 平成23年度	指数 平成22年度	指数 平成21年度	指数 平成20年度
億 万 円	億 万 円	%	%	%	%	%					
236 8720 7654	232 8963 3122	95.3	94.2	94.8	93.0	92.8	113.8	109.8	106.8	101.7	100
158 0151 9925	155 3830 9801	66.4	65.5	65.7	62.1	61.9	119.0	114.4	110.9	101.7	100
66 7215 6809	65 0435 3222	24.6	24.7	24.4	26.2	25.9	105.2	103.0	98.5	102.6	100
12 1353 0920	12 4697 0099	4.2	4.1	4.7	4.8	5.0	94.7	88.5	98.3	97.3	100
3 1958 5755	3 1665 4979	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	102.2	103.3	101.4	100.9	100
2 3798 2738	2 2556 9004	0.7	0.8	0.9	0.9	0.9	89.3	97.1	101.1	105.5	100
5 9674 4386	6 4743 6724	2.1	1.8	2.4	2.3	2.6	92.1	77.0	95.5	92.2	100
5921 8041	5730 9392	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	103.6	103.1	103.4	103.3	100
17 6129 7062	17 7231 4992	4.7	5.7	5.1	6.9	7.1	73.6	87.6	75.1	99.4	100
160 5560	482 9523	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2	40.2	27.9	33.2	100
3237 2000	3600 5275	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	246.1	247.4	102.5	89.9	100
14 1732 1228	14 3273 2223	3.2	4.1	3.7	5.6	5.7	62.2	76.7	67.6	98.9	100
3 0999 8274	2 9874 7971	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	107.6	121.3	108.7	103.8	100
1165 1109	4663 8960	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	16.6	27.2	76.5	25.0	100
1165 1109	4663 8960	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	16.6	27.2	76.5	25.0	100
254 6015 5825	251 0858 7074	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	110.8	108.1	104.5	101.4	100
250 2817 5293	241 3302 4057	97.4	97.4	97.2	97.2	96.2	109.9	107.9	105.4	103.7	100
121 4809 8359	113 8110 4777	48.4	49.1	48.6	47.2	45.4	115.8	115.3	111.7	106.7	100
77 7765 2390	75 5684 4449	29.9	29.1	29.3	30.2	30.1	107.5	102.9	101.5	102.9	100
28 1593 5059	28 0338 5506	10.7	10.6	10.7	10.9	11.2	104.3	101.4	99.8	100.4	100
21 7614 5277	23 1721 2319	8.0	8.2	8.3	8.5	9.2	93.8	94.9	93.6	93.9	100
5986 3027	2402 0967	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	201.1	184.1	152.6	249.2	100
5048 1181	5045 6039	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	120.9	123.6	105.9	100.0	100
6 2397 1384	7 6948 9625	2.0	2.2	2.3	2.4	3.1	72.0	75.4	78.5	81.1	100
6 2397 1384	7 6671 2525	2.0	2.2	2.3	2.4	3.1	72.3	75.7	78.7	81.4	100
—	277 7100	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	100
0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
9266 3070	1 7158 1911	0.5	0.5	0.5	0.4	0.7	82.8	70.4	82.9	54.0	100
9266 3070	1 7158 1911	0.5	0.5	0.5	0.4	0.7	82.8	70.4	82.9	54.0	100
257 4480 9747	250 7409 5593	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	108.5	106.7	104.4	102.7	100
△ 2 8465 3922	3449 1481	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料　3

資　本　的　収　支

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収入	資本的収入									
	(1) 企業債	8	0270	0000	6	7210	0000	7	3400	0000
	(2) 出資金	9	6715	3244	9	3460	1464	9	3757	0638
	(3) 補助金		8287	4000	1	4600	0000		472	5000
	(4) 負担金		6774	3355		8196	0122		9979	9696
	合計 (A)	19	2047	0599	18	3466	1586	17	7609	5334
支出	資本的支出									
	(1) 建設改良費	9	7721	4977	8	6365	3658	9	2295	0987
	(2) 企業債償還金	16	3793	5810	15	7142	8503	17	1137	7621
	(3) 長期借入金償還金	5	6100	0000	2	8300	0000	2	3400	0000
	(4) 出資金			—			—			—
	合計 (B)	31	7615	0787	27	1808	2161	28	6832	8608
収支差引額 (C＝A－B)		△ 12	5568	0188	△ 8	8342	0575	△ 10	9223	3274
前年度財源充当額 (D)			130	0000		130	0000			—
差引資本的収支不足額 (C－D)		△ 12	5698	0188	△ 8	8472	0575	△ 10	9223	3274
補塡財源等	(1) 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		165	1213		155	2675		165	6050
	(2) 過年度分損益勘定留保資金	12	5532	8975	8	8186	7900	10	8927	7224
	(3) 同意済企業債未発行分			—		130	0000		130	0000
	合計	12	5698	0188	8	8472	0575	10	9223	3274

(注)　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
4	9780	0000	30	3180	0000	26.5	22.2	24.2	16.4	100
7	7136	4027	8	3893	7732	115.3	111.4	111.8	91.9	100
	864	0000		216	0000	3836.8	6759.3	218.8	400	100
	6821	8129		7918	2687	85.6	103.5	126.0	86.2	100
13	4602	2156	39	5208	0419	48.6	46.4	44.9	34.1	100
5	0826	5352	5	0339	9834	194.1	171.6	183.3	101.0	100
14	8426	7393	41	0879	7929	39.9	38.2	41.7	36.1	100
3	3400	0000	3	5400	0000	158.5	79.9	66.1	94.4	100
		—		280	0000	—	—	—	—	100
23	2653	2745	49	6899	7763	63.9	54.7	57.7	46.8	100
△ 9	8051	0589	△ 10	1691	7344	123.5	86.9	107.4	96.4	100
		—			—	—	—	—	—	—
△ 9	8051	0589	△ 10	1691	7344	123.6	87.0	107.4	96.4	100
	94	4245		97	1008	—	—	—	—	—
9	7956	6344	10	1594	6336	—	—	—	—	—
		—			—	—	—	—	—	—
9	8051	0589	10	1691	7344	—	—	—	—	—

資料　4

貸　借　対　照　表

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
資産	1　固定資産	246	5870	5147	258	9726	3792	272	6085	1172
	(1) 有形固定資産	246	5249	1775	258	9105	0420	272	5463	7800
	ア 土地	6	1747	5992	6	1747	5992	6	1747	5992
	イ 立木		87	2484		87	2484		87	2484
	ウ 建物	187	9710	1716	187	9710	1716	187	3409	9685
	減価償却累計額	△ 58	5866	5186	△ 53	9897	9033	△ 49	4180	8375
	年度末償却未済高	129	3843	6530	133	9812	2683	137	9229	1310
	エ 構築物	152	6139	2453	152	0393	9697	151	0246	0871
	減価償却累計額	△ 74	7982	4945	△ 67	4114	0369	△ 60	3166	4629
	年度末償却未済高	77	8156	7508	84	6279	9328	90	7079	6242
	オ 医療機器	109	1516	7322	104	3301	0346	105	0059	5109
	減価償却累計額	△ 77	9505	1550	△ 72	4637	5144	△ 69	1640	6213
	年度末償却未済高	31	2011	5772	31	8663	5202	35	8418	8896
	カ 備品	4	6194	5482	4	6566	4903	4	6069	5854
	減価償却累計額	△ 2	9117	6388	△ 2	6296	7821	△ 2	8342	4169
	年度末償却未済高	1	7076	9094	2	0269	7082	1	7727	1685
	キ 車両	1	0720	4450	1	0715	1437		9239	2968
	減価償却累計額	△	9091	5863	△	8470	3788	△	8065	1777
	年度末償却未済高		1628	8587		2244	7649		1174	1191
	ク 建設仮勘定		696	5808			—			—
	(2) 無形固定資産		341	3372		341	3372		341	3372
	ア 電話加入権		341	3372		341	3372		341	3372
	(3) 投資		280	0000		280	0000		280	0000
	ア その他投資		280	0000		280	0000		280	0000
	2　流動資産	132	0240	6063	123	3703	0912	97	2166	3839
	(1) 現金預金	84	6086	6212	75	7800	9856	50	6608	3260
	(2) 未収金	45	8145	1381	46	2705	0271	44	8086	9591
	(3) 貯蔵品	1	5318	8470	1	3197	0785	1	7471	0988
	(4) 前払金		690	0000			—			—
資産合計		378	6111	1210	382	3429	4704	369	8251	5011

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
284	8795	0343	301	9470	4185	81.7	85.8	90.3	94.3	100
284	8173	6971	301	8848	8728	81.7	85.8	90.3	94.3	100
6	1747	5992	6	1747	5992	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	87	2484		87	2484	100.0	100.0	100.0	100.0	100
187	2938	3163	187	4755	9347	100.3	100.3	99.9	99.9	100
△ 44	8476	0818	△ 40	4255	4148	144.9	133.6	122.2	110.9	100
142	4462	2345	147	0500	5199	88.0	91.1	93.8	96.9	100
150	5674	2576	150	1128	9081	101.7	101.3	100.6	100.3	100
△ 52	8053	0978	△ 45	3521	5204	164.9	148.6	133.0	116.4	100
97	7621	1598	104	7607	3877	74.3	80.8	86.6	93.3	100
104	3667	0938	105	4331	5960	103.5	99.0	99.6	99.0	100
△ 67	9184	0927	△ 63	8591	3931	122.1	113.5	108.3	106.4	100
36	4483	0011	41	5740	2029	75.0	76.6	86.2	87.7	100
5	2431	4008	5	8112	0642	79.5	80.1	79.3	90.2	100
△ 3	4431	9497	△ 3	7631	7195	77.4	69.9	75.3	91.5	100
1	7999	4511	2	0480	3447	83.4	99.0	86.6	87.9	100
1	1968	7095	1	2050	4099	89.0	88.9	76.7	99.3	100
△ 1	0195	7065	△	9364	8399	97.1	90.4	86.1	108.9	100
	1773	0030		2685	5700	60.7	83.6	43.7	66.0	100
		—			—	—	—	—	—	—
	341	3372		341	5457	99.9	99.9	99.9	99.9	100
	341	3372		341	5457	99.9	99.9	99.9	99.9	100
	280	0000		280	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	280	0000		280	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
85	5582	7322	77	8582	9412	169.6	158.5	124.9	109.9	100
43	0354	5066	37	8519	2162	223.5	200.2	133.8	113.7	100
40	7867	1735	38	5519	3883	118.8	120.0	116.2	105.8	100
1	7361	0521	1	4544	3367	105.3	90.7	120.1	119.4	100
		—			—	—	—	—	—	—
370	4377	7665	379	8053	3597	99.7	100.7	97.4	97.5	100

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
負債・資本	3 固定負債		8000	0000		8000	0000		8000	0000
	(1) 引当金		8000	0000		8000	0000		8000	0000
	ア 修繕引当金		8000	0000		8000	0000		8000	0000
	4 流動負債	27	2424	3792	35	2746	7807	24	4578	4840
	(1) 未払金	25	2575	2088	29	8510	6975	21	1515	2431
	(2) その他流動負債	1	9849	1704	5	4236	0832	3	3063	2409
	ア 預り金	1	9849	1704	5	4236	0832	3	3063	2409
	負債合計	28	0424	3792	36	0746	7807	25	2578	4840
	5 資本金	438	8605	9087	443	1514	1653	445	6286	8692
	(1) 自己資本金	183	6337	8961	173	9622	5717	164	6162	4253
	(2) 借入資本金	255	2268	0126	269	1891	5936	281	0124	4439
	ア 企業債	255	2268	0126	263	5791	5936	272	5724	4439
	イ 他会計借入金			―	5	6100	0000	8	4400	0000
	6 剰余金	△ 82	4919	1669	△ 90	0831	4756	△ 96	3613	8521
	(1) 資本剰余金	29	7508	8584	28	2447	1229	25	8519	1107
	ア 補助金	10	6582	1878	9	8294	7878	8	3694	7878
	イ 受贈財産評価額	7	8802	3043	7	8802	3043	7	7670	3043
	ウ 寄附金		1400	0000		1400	0000		1400	0000
	エ その他資本剰余金	11	0724	3663	10	3950	0308	9	5754	0186
	(2) 利益剰余金(△欠損金)	△ 112	2428	0253	△ 118	3278	5985	△ 122	2132	9628
	ア 当年度未処分利益剰余金(△当年度未処理欠損金)	△ 112	2428	0253	△ 118	3278	5985	△ 122	2132	9628
	資本合計	356	3686	7418	353	0682	6897	349	2673	0171
負債・資本合計		384	4111	1210	389	1429	4704	374	5251	5011

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
	8000	0000		8000	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	8000	0000		8000	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	8000	0000		8000	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
20	6148	1807	21	6519	6283	125.8	162.9	113.0	95.2	100
19	3336	1497	20	2576	5168	124.7	147.4	104.4	95.4	100
1	2812	0310	1	3943	1115	142.4	389.0	237.1	91.9	100
1	2812	0310	1	3943	1115	142.4	389.0	237.1	91.9	100
21	4148	1807	22	4519	6283	124.9	160.7	112.5	95.4	100
448	3667	5675	453	8577	9041	96.7	97.6	98.2	98.8	100
155	2405	3615	147	5268	9588	124.5	117.9	111.6	105.2	100
293	1262	2060	306	3308	9453	83.3	87.9	91.7	95.7	100
282	3462	2060	292	2108	9453	87.3	90.2	93.3	96.6	100
10	7800	0000	14	1200	0000	―	39.7	59.8	76.3	100
△ 98	5437	9817	△ 96	5044	1727	85.5	93.3	99.9	102.1	100
24	1122	6911	23	3051	1079	127.7	121.2	110.9	103.5	100
8	3222	2878	8	2358	2878	129.4	119.4	101.6	101.0	100
7	0726	3543	7	0340	5840	112.0	112.0	110.4	100.5	100
	1400	0000		1400	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
8	5774	0490	7	8952	2361	140.2	131.7	121.3	108.6	100
△ 122	6560	6728	△ 119	8095	2806	93.7	98.8	102.0	102.4	100
△ 122	6560	6728	△ 119	8095	2806	93.7	98.8	102.0	102.4	100
349	8229	5858	357	3533	7314	99.7	98.8	97.7	97.9	100
371	2377	7665	379	8053	3597	101.2	102.5	98.6	97.7	100

資料　5

経　営　分　析　比　率

区　　分	単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1　収益性に関する項目						
医業収支比率 (医業収益/医業費用 ×100)	%	100.0	98.2	97.7	94.6	96.5
経常収支比率 (経常収益/経常費用 ×100)	%	102.7	101.9	100.6	99.2	100.6
総収支比率 (総収益/総費用 ×100)	%	102.2	101.5	100.2	98.9	100.1
自己資本回転率 (医業収益/自己資本)	回	2.87	3.36	3.98	4.40	5.04
総資本回転率 (医業収益/総資本)	回	0.69	0.67	0.67	0.63	0.59
医業収益医業利益率 (医業利益/医業収益 ×100)	%	0.0	△ 1.9	△ 2.3	△ 5.7	△ 3.6
2　安全性に関する項目						
固定資産構成比率 (固定資産/総資産 ×100)	%	65.1	67.7	73.7	76.9	79.5
自己資本構成比率 (自己資本/総資本 ×100)	%	26.3	21.6	18.2	15.3	13.4
固定長期適合率 (固定資産/長期資本 ×100)	%	69.0	73.2	77.9	81.2	84.3
3　流動性に関する項目						
流動比率 (流動資産/流動負債 ×100)	%	484.6	349.7	397.5	415.0	359.6
4　収益に対する割合に関する項目						
給与費対医業収益 (給与費/医業収益 ×100)	%	47.6	48.4	48.5	49.0	47.0
5　許可病床１床当たりに関する項目						
１床当たり医業収益 (医業収益/許可病床数)	千円	35,676	34,418	33,467	31,880	31,345
１床当たり自己資本 (自己資本/許可病床数)	千円	12,451	10,238	8,409	7,249	6,225
１床当たり総資本 (総資本/許可病床数)	千円	52,056	51,391	50,186	50,541	52,855

年　度　比　較　表

(A) - (B)	備	考
1.8	医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益 2　経常費用＝医業費用＋医業外費用 3　総収益＝経常収益＋特別利益 4　総費用＝経常費用＋特別損失 5　医業利益＝医業収益－医業費用 6　自己資本＝自己資本金＋剰余金 7　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
0.8	通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	
0.7	事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。病院が純利益をあげるためには総収益が総費用を上回る必要がある。	
△ 0.49	自己資本の利用度を示すものである。比率が高いほど自己資本の利用度が高いことを表す。	
0.02	総資本に対しどれだけの医業収益が得られたかを示すものである。比率が高いほど総資本が効率的に使われていることを表す。	
1.9	医療活動から生じる収益のうち，利益となるものの割合を示す指標である。比率が高いほど収益性が高いことを表す。	
△ 2.6	総資産に占める固定資産の割合を示すものである。比率が高いほど資本が固定化の傾向にあることを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　総資産＝固定資産＋流動資産＋繰延勘定 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 4　長期資本＝自己資本＋固定負債(借入資本金を含む。)
4.7	総資本に対する自己資本の比率である。比率が高いほど病院経営が健全であることを表す。	
△ 4.2	固定資産が自己資本と固定負債(借入資本金を含む。）の合計額（長期資本）でどの程度賄われているかを示す。100%以下が望ましいとされている。	
134.9	流動負債に対する流動資産の比率であり，短期債務に対する支払能力を示すものである。100%以上であることが必要である。	
△ 0.8	職員給与費が，医業収益の何%に当たるかをみる比率である。	1　給与費対医業収益は，退職給与金を除いて算出した数値である。
1,258	許可病床１床当たりの医業収益の額を示す指標であり，多いほうが１病床の効率性が高いことを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　許可病床数は，各年度末現在の数値であり，一般病床及び精神病床を合計した数値である。 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
2,213	高い金額は，資本投下額の多いことを表している。許可病床１床当たりの自己資本の額を示すが，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	
665	許可病床１床当たりの総資本の投下効率を示すが，１床当たり自己資本と同様，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	

広島市病院事業（広島市立舟入病院）

資料　1

業　務　実　績　年

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口		人	118万2,403	117万7,934	117万5,466
年間患者延数		人	13万3,050	13万8,441	13万8,210
入院患者延数		人	3万6,502	3万7,988	3万7,616
1日平均		人	100	104	103
外来患者延数		人	9万6,548	10万　453	10万　594
1日平均		人	338	351	354
診療科目別	内科	人	3万9,959	4万1,163	4万1,087
	小児科	人	6万7,871	7万2,676	7万3,442
	外科	人	1万5,275	1万4,511	1万4,483
	小児外科	人	2,676	3,006	2,865
	皮膚科	人	767	580	541
	耳鼻いんこう科	人	879	908	838
	眼科	人	168	189	178
	精神科	人	4,013	3,989	3,615
	麻酔科	人	1,442	1,419	1,161
病床数		床	190	190	190
一般病床		床	140	140	140
感染症病床		床	50	50	50
病床利用率		%	54.3	56.4	56.0
一般病床		%	74.5	77.5	76.9
感染症病床		%	―	―	―
患者一人一日当たり	診療収入	円	1万9,695	1万8,971	1万8,736
	入院	円	4万　219	3万9,033	3万9,623
	外来	円	1万1,935	1万1,384	1万　925
	費用	円	2万8,826	2万7,704	2万7,093

（注）1　診療科目別欄中，耳鼻いんこう科は，土曜日の夜間救急診療及び年末年始救急診療
年末年始救急診療のみ）である。
2　内科の患者数は呼吸器内科及び消化器内科を含み，外科の患者数は呼吸器外科及び
3　病床利用率は，一般病床のうち原爆被爆者健康診断優先の4床（平成25年1月31日以

度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
117万1,559	116万7,963	101.2	100.9	100.6	100.3	100
14万6,248	13万2,549	100.4	104.4	104.3	110.3	100
3万7,480	3万6,049	101.3	105.4	104.3	104.0	100
103	99	101.0	105.1	104.0	104.0	100
10万8,768	9万6,500	100.0	104.1	104.2	112.7	100
379	338	100.0	103.8	104.7	112.1	100
4万1,538	4万2,951	93.0	95.8	95.7	96.7	100
8万1,613	6万8,920	98.5	105.4	106.6	118.4	100
1万4,804	1万2,139	125.8	119.5	119.3	122.0	100
2,493	2,758	97.0	109.0	103.9	90.4	100
457	461	166.4	125.8	117.4	99.1	100
850	882	99.7	102.9	95.0	96.4	100
159	457	36.8	41.4	38.9	34.8	100
3,342	3,240	123.9	123.1	111.6	103.1	100
992	741	194.6	191.5	156.7	133.9	100
190	210	90.5	90.5	90.5	90.5	100
140	160	87.5	87.5	87.5	87.5	100
50	50	100.0	100.0	100.0	100.0	100
54.9	48.9	—	—	—	—	—
74.9	65.0	—	—	—	—	—
0.1	—	—	—	—	—	—
1万7,107	1万6,949	116.2	111.9	110.5	100.9	100
3万7,238	3万5,424	113.5	110.2	111.9	105.1	100
1万　170	1万　47	118.8	113.3	108.7	101.2	100
2万5,550	2万6,172	110.1	105.9	103.5	97.6	100

のみである。眼科は，年末年始救急診療のみ（平成20年度は，土曜日の夜間救急診療及び

肛門外科を含んでいる。
前は6床、平成21年5月31日以前は8床）を除いて算出している。

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
職員数	実数	人	171	177	177
	医師	人	27	28	28
	医療技術職員	人	29	30	31
	看護師	人	102	105	104
	事務・技術職員	人	13	14	14
	嘱託・臨時職員	人	69	64	61
病床一〇〇床当たり職員数	医師	人	14.2	14.7	14.7
	医療技術職員	人	15.3	15.8	16.3
	看護師	人	53.7	55.3	54.7
	事務・技術職員	人	6.8	7.4	7.4
	合計	人	90.0	93.2	93.2
職員一人一日当たり患者数	医師	人	16.2	16.2	16.3
	入院	人	3.7	3.7	3.7
	外来	人	12.5	12.5	12.6
	看護師	人	4.3	4.3	4.4
	入院	人	1.0	1.0	1.0
	外来	人	3.3	3.3	3.4
	事務・技術職員等	人	10.4	10.4	10.2
	入院	人	2.4	2.4	2.3
	外来	人	8.0	8.0	7.9
職員一人一日当たり診療収入	入院	円	2万3,521	2万2,889	2万3,070
	外来	円	1万8,462	1万7,653	1万7,011

（注） 職員数の実数は，各年度末現在の数値であり，休職者等を除く。

平成21年度	平成20年度	指			数	
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
178	175	97.7	101.1	101.1	101.7	100
28	27	100.0	103.7	103.7	103.7	100
31	29	100.0	103.4	106.9	106.9	100
104	104	98.1	101.0	100.0	100.0	100
15	15	86.7	93.3	93.3	100.0	100
46	42	164.3	152.4	145.2	109.5	100
14.7	12.9	110.1	114.0	114.0	114.0	100
16.3	13.8	110.9	114.5	118.1	118.1	100
54.7	49.5	108.5	111.7	110.5	110.5	100
7.9	7.1	95.8	104.2	104.2	111.3	100
93.7	83.3	108.0	111.9	111.9	112.5	100
17.2	16.2	100.0	100.0	100.6	106.2	100
3.7	3.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100
13.5	12.5	100.0	100.0	100.8	108.0	100
4.6	4.3	100.0	100.0	102.3	107.0	100
1.0	1.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100
3.6	3.3	100.0	100.0	103.0	109.1	100
10.4	10.0	104.0	104.0	102.0	104.0	100
2.2	2.3	104.3	104.3	100.0	95.7	100
8.2	7.7	103.9	103.9	102.6	106.5	100
2万1,482	1万9,992	117.7	114.5	115.4	107.5	100
1万7,027	1万5,179	121.6	116.3	112.1	112.2	100

資料　2

損　益　計　算　書

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収益	1　医業収益	30	9354	6987	30	9514	7933	30	8273	3281
	(1)　入院収益	14	6808	6781	14	8278	6655	14	9044	0272
	(2)　外来収益	11	5229	6452	11	4356	6420	10	9900	9525
	(3)　その他医業収益	4	7316	3754	4	6879	4858	4	9328	3484
	ア　室料差額収益		5805	3905		6015	9714		5640	8381
	イ　公衆衛生活動収益		3345	1324		3242	7392		3168	0240
	ウ　一般会計負担金	3	7625	4478	3	7056	3942	3	9981	1196
	エ　その他医業収益		540	4047		564	3810		538	3667
	2　医業外収益	5	0620	0938	5	1292	9949	4	6441	0954
	(1)　受取利息配当金		139	6166		76	5371		52	5680
	(2)　他会計補助金		5866	1000		9141	1327		8596	5648
	(3)　補助金		6308	5000		6289	2000		6404	7650
	(4)　負担金交付金	3	5524	5813	3	2568	6428	2	8042	1854
	(5)　その他医業外収益		2781	2959		3217	4823		3345	0122
	3　特別利益		265	1557		200	4821		269	7694
	(1)　過年度損益修正益		265	1557		200	4821		269	7694
	(2)　その他特別利益			—			—			—
	合計	36	0239	9482	36	1008	2703	35	4984	1929
費用	1　医業費用	36	7550	8064	36	8276	4437	35	8501	8921
	(1)　給与費	19	1993	6247	19	6374	2073	19	0149	0359
	(2)　材料費	5	3260	4048	4	9358	8802	4	8794	6063
	(3)　経費	7	6695	6906	7	7618	6363	7	4275	8749
	(4)　減価償却費	4	4261	3869	4	3841	3766	4	2748	2338
	(5)　資産減耗費		343	1949		252	7563		1381	6374
	(6)　研究研修費		996	5045		830	5870		1152	5038
	2　医業外費用	1	3290	2721	1	4077	1900	1	4814	8025
	(1)　支払利息及び企業債取扱諸費	1	3290	2721	1	4077	1900	1	4797	8970
	(2)　雑損失			0			0		16	9055
	3　特別損失		2686	5397		1186	2497		1133	2692
	(1)　過年度損益修正損		2686	5397		1186	2497		1133	2692
	合計	38	3527	6182	38	3539	8834	37	4449	9638
当年度純利益（△純損失）		△ 2	3287	6700	△ 2	2531	6131	△ 1	9465	7709

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			構成比					指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円	%	%	%	%	%					
30	1334	6545	27	6794	0030	85.9	85.7	86.8	86.6	85.9	111.8	111.8	111.4	108.9	100
13	9566	3437	12	7699	3949	40.8	41.1	42.0	40.1	39.6	115.0	116.1	116.7	109.3	100
11	0622	4263	9	6955	0094	32.0	31.7	31.0	31.8	30.1	118.8	117.9	113.4	114.1	100
5	1145	8845	5	2139	5987	13.1	13.0	13.9	14.7	16.2	90.7	89.9	94.6	98.1	100
	5251	8857		5231	5238	1.6	1.7	1.6	1.5	1.6	111.0	115.0	107.8	100.4	100
	3030	6837		2652	7345	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	126.1	122.2	119.4	114.2	100
4	2303	0865	4	3767	0966	10.4	10.3	11.3	12.2	13.6	86.0	84.7	91.3	96.7	100
	560	2286		488	2438	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	110.7	115.6	110.3	114.7	100
4	6779	4008	4	5474	9645	14.1	14.2	13.1	13.4	14.1	111.3	112.8	102.1	102.9	100
	68	0756		272	9898	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	51.1	28.0	19.3	24.9	100
1	1179	7480		4626	1474	1.6	2.5	2.4	3.2	1.4	126.8	197.6	185.8	241.7	100
	6323	4300		6452	5321	1.8	1.7	1.8	1.8	2.0	97.8	97.5	99.3	98.0	100
2	6948	9356	3	1439	6959	9.9	9.0	7.9	7.7	9.8	113.0	103.6	89.2	85.7	100
	2259	2116		2683	5993	0.8	0.9	0.9	0.6	0.8	103.6	119.9	124.6	84.2	100
	8	9124		95	2774	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	278.3	210.4	283.1	9.4	100
	8	9124		95	2584	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	278.4	210.5	283.2	9.4	100
		—			190	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	100
34	8122	9677	32	2364	2449	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	111.7	112.0	110.1	108.0	100
35	6227	4470	32	9552	9687	95.8	96.0	95.7	95.3	95.0	111.5	111.8	108.8	108.1	100
19	0255	7972	17	4951	4199	50.1	51.2	50.8	50.9	50.4	109.7	112.2	108.7	108.7	100
5	1171	7533	4	4402	2679	13.9	12.9	13.0	13.7	12.8	119.9	111.2	109.9	115.2	100
7	0899	4839	6	6337	6805	20.0	20.2	19.8	19.0	19.1	115.6	117.0	112.0	106.9	100
4	0827	5977	4	1009	4655	11.5	11.4	11.4	10.9	11.8	107.9	106.9	104.2	99.6	100
	2204	1532		2005	5376	0.1	0.1	0.4	0.6	0.6	17.1	12.6	68.9	109.9	100
	868	6617		846	5973	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	117.7	98.1	136.1	102.6	100
1	5459	6290	1	6071	9511	3.5	3.7	4.0	4.1	4.6	82.7	87.6	92.2	96.2	100
1	5459	6290	1	6071	9511	3.5	3.7	4.0	4.1	4.6	82.7	87.6	92.1	96.2	100
		0			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	1983	4831		1276	4786	0.7	0.3	0.3	0.5	0.4	210.5	92.9	88.8	155.4	100
	1983	4831		1276	4786	0.7	0.3	0.3	0.5	0.4	210.5	92.9	88.8	155.4	100
37	3670	5591	34	6901	3984	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	110.6	110.6	107.9	107.7	100
△ 2	5547	5914	△ 2	4537	1535	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料　3

資　本　的　収　支

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収入	資本的収入									
	(1) 企業債		7230	0000		6640	0000	1	0430	0000
	(2) 出資金	2	6976	1747	2	5980	6608	2	4069	3282
	(3) 補助金			―			―			―
	(4) 負担金	1	0846	0436	1	0389	1640		9272	4329
	(5) 敷金返還金		31	5000			0		31	5000
	合計（A）	4	5083	7183	4	3009	8248	4	3803	2611
支出	資本的支出									
	(1) 建設改良費		7289	5899		6651	0024	1	0438	6632
	(2) 企業債償還金	4	3403	5945	4	1639	5893	3	8048	3449
	合計（B）	5	0693	1844	4	8290	5917	4	8487	0081
収支差引額（A－B）		△	5609	4661	△	5280	7669	△	4683	7470
補塡財源	(1) 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		15	8486		14	8552		23	7841
	(2) 過年度分損益勘定留保資金		5593	6175		5265	9117		4659	9629
	合計		5609	4661		5280	7669		4683	7470

(注)　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
1	1710	0000		6070	0000	119.1	109.4	171.8	192.9	100
2	6046	3693	2	0059	0878	134.5	129.5	120.0	129.8	100
	72	4500		194	2500	—	—	—	37.3	100
1	1804	5280		6902	0587	157.1	150.5	134.3	171.0	100
	60	6000		54	0000	58.3	0.0	58.3	112.2	100
4	9693	9473	3	3279	3965	135.5	129.2	131.6	149.3	100
1	8357	1426		6394	2720	114.0	104.0	163.3	287.1	100
3	5859	6594	3	0473	9402	142.4	136.6	124.9	117.7	100
5	4216	8020	3	6868	2122	137.5	131.0	131.5	147.1	100
△	4522	8547	△	3588	8157	156.3	147.1	130.5	126.0	100
	36	6284		13	7179	—	—	—	—	—
	4486	2263		3575	0978	—	—	—	—	—
	4522	8547		3588	8157	—	—	—	—	—

資料　4

貸　借　対　照　表

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
資産	1　固定資産	40	3740	6429	44	0968	2910	47	8132	4920
	(1) 有形固定資産	40	3630	9087	44	0882	1062	47	8045	2566
	ア　土地	1	7859	6444	1	7859	6444	1	7859	6444
	イ　建物	41	9886	2167	41	9886	2167	41	9886	2167
	減価償却累計額	△ 14	6074	5137	△ 13	6235	6590	△ 12	6396	8043
	年度末償却未済高	27	3811	7030	28	3650	5577	29	3489	4124
	ウ　構築物	46	0782	5333	46	0782	5333	46	0782	5333
	減価償却累計額	△ 38	9404	4070	△ 36	5353	6134	△ 34	1286	0600
	年度末償却未済高	7	1378	1263	9	5428	9199	11	9496	4733
	エ　医療機器	12	8490	3533	12	5189	3077	12	1726	5294
	減価償却累計額	△ 9	0569	6387	△ 8	4534	8835	△ 7	7543	7861
	年度末償却未済高	3	7920	7146	4	0654	4242	4	4182	7433
	オ　備品		6106	6434		6058	8858		5358	0572
	減価償却累計額	△	3649	2340	△	3066	0836	△	2744	4514
	年度末償却未済高		2457	4094		2992	8022		2613	6058
	カ　車両		1615	0711		1615	0711		1589	9274
	減価償却累計額	△	1411	7601	△	1319	3133	△	1186	5500
	年度末償却未済高		203	3110		295	7578		403	3774
	(2) 無形固定資産		53	6342		54	6848		55	7354
	ア　電話加入権		53	6342		54	6848		55	7354
	(3) 投資		56	1000		31	5000		31	5000
	ア　その他投資		56	1000		31	5000		31	5000
	2　流動資産	29	2433	8013	28	8854	9328	25	9833	4585
	(1) 現金預金	23	3975	6938	23	1014	3668	19	4968	2204
	(2) 未収金	5	2476	0582	5	1639	0624	5	8085	5144
	(3) 貯蔵品		5982	0493		6201	5036		6779	7237
資産合計		69	6174	4442	72	9823	2238	73	7965	9505

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
51	1778	5284	53	6338	1401	75.3	82.2	89.1	95.4	100
51	1658	7424	53	6156	7035	75.3	82.2	89.2	95.4	100
1	7859	6444	1	7859	6444	100.0	100.0	100.0	100.0	100
41	9886	2167	41	9886	2167	100.0	100.0	100.0	100.0	100
△ 11	6557	9496	△ 10	6719	0949	136.9	127.7	118.4	109.2	100
30	3328	2671	31	3167	1218	87.4	90.6	93.7	96.9	100
46	0716	5340	46	6786	0849	98.7	98.7	98.7	98.7	100
△ 31	7222	4359	△ 29	7766	8523	130.8	122.7	114.6	106.5	100
14	3494	0981	16	9019	2326	42.2	56.5	70.7	84.9	100
13	6369	2625	13	8608	4849	92.7	90.3	87.8	98.4	100
△ 9	2882	9474	△ 10	5299	7959	86.0	80.3	73.6	88.2	100
4	3486	3151	3	3308	6890	113.8	122.1	132.6	130.6	100
	5491	3875		4632	3150	131.8	130.8	115.7	118.5	100
△	2464	9316	△	2205	7560	165.4	139.0	124.4	111.7	100
	3026	4559		2426	5590	101.3	123.3	107.7	124.7	100
	1584	0895		1565	7603	103.1	103.1	101.5	101.2	100
△	1120	1277	△	1190	3036	118.6	110.8	99.7	94.1	100
	463	9618		375	4567	54.2	78.8	107.4	123.6	100
	56	7860		57	8366	92.7	94.6	96.4	98.2	100
	56	7860		57	8366	92.7	94.6	96.4	98.2	100
	63	0000		123	6000	45.4	25.5	25.5	51.0	100
	63	0000		123	6000	45.4	25.5	25.5	51.0	100
23	3635	6973	22	2646	4663	131.3	129.7	116.7	104.9	100
17	1188	0610	17	2581	7311	135.6	133.9	113.0	99.2	100
5	5870	5559	4	4838	4018	117.0	115.2	129.5	124.6	100
	6577	0804		5226	3334	114.5	118.7	129.7	125.8	100
74	5414	2257	75	8984	6064	91.7	96.2	97.2	98.2	100

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
負債・資本	3 流動負債	3	3518	7374	4	5528	4708	3	2681	8199
	(1) 未払金	3	0758	4006	3	1338	7680	2	2526	3498
	(2) その他流動負債		2760	3368	1	4189	7028	1	0155	4701
	ア 預り金		2760	3368	1	4189	7028	1	0155	4701
	負債合計	3	3518	7374	4	5528	4708	3	2681	8199
	4 資本金	95	3657	3033	96	2854	7231	97	1873	6516
	(1) 自己資本金	36	8084	9617	34	1108	7870	31	5128	1262
	(2) 借入資本金	58	5572	3416	62	1745	9361	65	6745	5254
	ア 企業債	58	5572	3416	62	1745	9361	65	6745	5254
	5 剰余金	△ 29	1001	5965	△ 27	8559	9701	△ 26	6589	5210
	(1) 資本剰余金	12	1272	4477	11	0426	4041	9	9865	2401
	ア 補助金		7550	9363		7550	9363		7550	9363
	イ 受贈財産評価額		2447	2535		2447	2535		2275	2535
	ウ その他資本剰余金	11	1274	2579	10	0428	2143	9	0039	0503
	(2) 利益剰余金(△欠損金)	△ 41	2274	0442	△ 38	8986	3742	△ 36	6454	7611
	ア 当年度未処分利益剰余金(△当年度未処理欠損金)	△ 41	2274	0442	△ 38	8986	3742	△ 36	6454	7611
	資本合計	66	2655	7068	68	4294	7530	70	5284	1306
負債・資本合計		69	6174	4442	72	9823	2238	73	7965	9505

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
2	6387	7404	2	8284	2176	118.5	161.0	115.5	93.3	100
1	6917	5162	1	5154	5854	203.0	206.8	148.6	111.6	100
	9470	2242	1	3129	6322	21.0	108.1	77.3	72.1	100
	9470	2242	1	3129	6322	21.0	108.1	77.3	72.1	100
2	6387	7404	2	8284	2176	118.5	161.0	115.5	93.3	100
97	5422	6683	97	3525	9584	98.0	98.9	99.8	100.2	100
29	1058	7980	26	5012	4287	138.9	128.7	118.9	109.8	100
68	4363	8703	70	8513	5297	82.6	87.8	92.7	96.6	100
68	4363	8703	70	8513	5297	82.6	87.8	92.7	96.6	100
△ 25	6396	1830	△ 24	2825	5696	119.8	114.7	109.8	105.6	100
9	0592	8072	7	8615	8292	154.3	140.5	127.0	115.2	100
	7550	9363		7478	4863	101.0	101.0	101.0	101.0	100
	2275	2535		2175	2535	112.5	112.5	104.6	104.6	100
8	0766	6174	6	8962	0894	161.4	145.6	130.6	117.1	100
△ 34	6988	9902	△ 32	1441	3988	128.3	121.0	114.0	107.9	100
△ 34	6988	9902	△ 32	1441	3988	128.3	121.0	114.0	107.9	100
71	9026	4853	73	0700	3888	90.7	93.6	96.5	98.4	100
74	5414	2257	75	8984	6064	91.7	96.2	97.2	98.2	100

資料　5

経　営　分　析　比　率

区　　分	単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1　収益性に関する項目						
医業収支比率 (医業収益／医業費用 ×100)	%	84.2	84.0	86.0	84.6	84.0
経常収支比率 (経常収益／経常費用 ×100)	%	94.5	94.4	95.0	93.7	93.2
総収支比率 (総収益／総費用 ×100)	%	93.9	94.1	94.8	93.2	92.9
自己資本回転率 (医業収益／自己資本)	回	4.43	5.57	7.41	10.60	13.26
総資本回転率 (医業収益／総資本)	回	0.43	0.42	0.42	0.40	0.36
医業収益医業利益率 (医業利益／医業収益 ×100)	%	△ 18.8	△ 19.0	△ 16.3	△ 18.2	△ 19.1
2　安全性に関する項目						
固定資産構成比率 (固定資産／総資産 ×100)	%	58.0	60.4	64.8	68.7	70.7
自己資本構成比率 (自己資本／総資本 ×100)	%	11.1	8.6	6.6	4.7	2.9
固定長期適合率 (固定資産／長期資本 ×100)	%	60.9	64.4	67.8	71.2	73.4
3　流動性に関する項目						
流動比率 (流動資産／流動負債 ×100)	%	872.4	634.4	795.0	885.4	787.2
4　収益に対する割合に関する項目						
給与費対医業収益 (給与費／医業収益 ×100)	%	58.0	58.9	58.2	58.6	61.2
5　許可病床１床当たりに関する項目						
１床当たり医業収益 (医業収益／許可病床数)	千円	16,282	16,290	16,225	15,860	13,181
１床当たり自己資本 (自己資本／許可病床数)	千円	3,675	2,923	2,190	1,496	994
１床当たり総資本 (総資本／許可病床数)	千円	37,526	38,626	39,036	39,589	37,127

年　度　比　較　表

(A) - (B)	備	考
0.2	医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益 2　経常費用＝医業費用＋医業外費用 3　総収益＝経常収益＋特別利益 4　総費用＝経常費用＋特別損失 5　医業利益＝医業収益－医業費用 6　自己資本＝自己資本金＋剰余金 7　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
0.1	通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	
△ 0.2	事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。病院が純利益をあげるためには総収益が総費用を上回る必要がある。	
△ 1.14	自己資本の利用度を示すものである。比率が高いほど自己資本の利用度が高いことを表す。	
0.01	総資本に対しどれだけの医業収益が得られたかを示すものである。比率が高いほど総資本が効率的に使われていることを表す。	
0.2	医療活動から生じる収益のうち，利益となるものの割合を示す指標である。比率が高いほど収益性が高いことを表す。	
△ 2.4	総資産に占める固定資産の割合を示すものである。比率が高いほど資本が固定化の傾向にあることを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　総資産＝固定資産＋流動資産＋繰延勘定 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 4　長期資本＝自己資本＋固定負債(借入資本金を含む。)
2.5	総資本に対する自己資本の比率である。比率が高いほど病院経営が健全であることを表す。	
△ 3.5	固定資産が自己資本と固定負債（借入資本金を含む。）の合計額（長期資本）でどの程度賄われているかを示す。100%以下が望ましいとされている。	
238.0	流動負債に対する流動資産の比率であり，短期債務に対する支払能力を示すものである。100%以上であることが必要である。	
△ 0.9	職員給与費が，医業収益の何%に当たるかをみる比率である。	1　給与費対医業収益は，退職給与金を除いて算出した数値である。
△ 8	許可病床１床当たりの医業収益の額を示す指標であり，多いほうが１病床の効率性が高いことを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　許可病床数は，各年度末現在の数値であり，一般病床及び感染症病床を合計した数値である。 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
752	高い金額は，資本投下額の多いことを表している。許可病床１床当たりの自己資本の額を示すが，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	
△ 1,100	許可病床１床当たりの総資本の投下効率を示すが，１床当たり自己資本と同様，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	

広島市病院事業（広島市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション病院）

資料　1

業　務　実　績　年

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口		人	118万2,403	117万7,934	117万5,466
年間患者延数		人	3万6,946	3万8,450	3万8,926
入院患者延数		人	3万3,586	3万5,006	3万5,250
1日平均		人	92	96	97
外来患者延数		人	3,360	3,444	3,676
1日平均		人	14	14	15
診療科目別	内科	人	13	1	8
	神経内科	人	1万4,359	9,091	1万2,036
	整形外科	人	215	145	105
	皮膚科	人	51	80	96
	眼科	人	1	6	12
	耳鼻いんこう科	人	2	3	7
	リハビリテーション科	人	2万　331	2万7,425	2万4,919
	歯科	人	1,974	1,699	1,743
病床数		床	100	100	100
病床利用率		%	92.0	95.6	96.6
患者一人一日当たり	診療収入	円	3万5,278	3万4,221	3万3,632
	入院	円	3万7,800	3万6,469	3万6,089
	外来	円	1万　66	1万1,370	1万　65
	費用	円	5万8,898	5万5,931	5万4,807

度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
117万1,559	116万7,963	101.2	100.9	100.6	100.3	100
3万6,790	2万3,273	158.8	165.2	167.3	158.1	100
3万3,391	2万　933	160.4	167.2	168.4	159.5	100
91	57	161.4	168.4	170.2	159.6	100
3,399	2,340	143.6	147.2	157.1	145.3	100
14	10	140.0	140.0	150.0	140.0	100
10	11	118.2	9.1	72.7	90.9	100
9,248	2,842	505.2	319.9	423.5	325.4	100
82	11	1954.5	1318.2	954.5	745.5	100
116	67	76.1	119.4	143.3	173.1	100
17	8	12.5	75.0	150.0	212.5	100
1	1	200.0	300.0	700.0	100.0	100
2万5,476	1万8,963	107.2	144.6	131.4	134.3	100
1,840	1,370	144.1	124.0	127.2	134.3	100
100	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100
91.5	65.5	—	—	—	—	—
3万　952	2万9,418	119.9	116.3	114.3	105.2	100
3万3,224	3万1,915	118.4	114.3	113.1	104.1	100
8,634	7,080	142.2	160.6	142.2	121.9	100
5万4,187	7万8,114	75.4	71.6	70.2	69.4	100

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
職員数	実数	人	149	151	155
	医師	人	7	9	10
	医療技術職員	人	61	60	61
	看護師	人	50	51	52
	事務・技術職員	人	31	31	32
	嘱託・臨時職員	人	63	55	60
病床一〇〇床当たり職員数	医師	人	7.0	9.0	10.0
	医療技術職員	人	61.0	60.0	61.0
	看護師	人	50.0	51.0	52.0
	事務・技術職員	人	31.0	31.0	32.0
	合計	人	149.0	151.0	155.0
職員一人一日当たり患者数	医師	人	15.1	12.3	11.2
	入院	人	13.1	10.7	9.7
	外来	人	2.0	1.6	1.5
	看護師	人	2.1	2.2	2.2
	入院	人	1.8	1.9	1.9
	外来	人	0.3	0.3	0.3
	事務・技術職員等	人	1.2	1.3	1.2
	入院	人	1.0	1.1	1.0
	外来	人	0.2	0.2	0.2
職員一人一日当たり診療収入	入院	円	2万3,344	2万3,100	2万2,486
	外来	円	930	1,063	986

（注） 職員数の実数は，各年度末現在の数値であり，休職者等を除く。

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
150	144	103.5	104.9	107.6	104.2	100
10	9	77.8	100.0	111.1	111.1	100
61	62	98.4	96.8	98.4	98.4	100
48	42	119.0	121.4	123.8	114.3	100
31	31	100.0	100.0	103.2	100.0	100
49	37	170.3	148.6	162.2	132.4	100
10.0	9.0	77.8	100.0	111.1	111.1	100
61.0	62.0	98.4	96.8	98.4	98.4	100
48.0	42.0	119.0	121.4	123.8	114.3	100
31.0	31.0	100.0	100.0	103.2	100.0	100
150.0	144.0	103.5	104.9	107.6	104.2	100
10.5	7.4	204.1	166.2	151.4	141.9	100
9.1	6.3	207.9	169.8	154.0	144.4	100
1.4	1.1	181.8	145.5	136.4	127.3	100
2.2	1.6	131.3	137.5	137.5	137.5	100
1.9	1.4	128.6	135.7	135.7	135.7	100
0.3	0.2	150.0	150.0	150.0	150.0	100
1.2	0.7	171.4	185.7	171.4	171.4	100
1.0	0.6	166.7	183.3	166.7	166.7	100
0.2	0.1	200.0	200.0	200.0	200.0	100
2万　263	1万2,711	183.7	181.7	176.9	159.4	100
812	475	195.8	223.8	207.6	170.9	100

資料　2

損　益　計　算　書

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収益	1　医業収益	15	5660	7882	15	6706	9944	15	5144	0089
	(1)　入院収益	12	6955	2590	12	7662	5119	12	7214	8077
	(2)　外来収益		3382	2361		3915	8396		3700	0742
	(3)　その他医業収益	2	5323	2931	2	5128	6429	2	4229	1270
	ア　室料差額収益		2330	5810		2724	1143		2470	1243
	イ　公衆衛生活動収益		35	0248		54	7943		45	2433
	ウ　一般会計負担金		2049	9086		1691	5637		1734	0441
	エ　その他医業収益	2	0907	7787	2	0658	1706	1	9979	7153
	2　医業外収益	3	1161	3153	2	7323	3165	2	7100	4875
	(1)　受取利息配当金		5	5108		3	3981		2	6671
	(2)　補助金			—			—			—
	(3)　負担金交付金	2	9244	2191	2	5717	6001	2	5563	5128
	(4)　その他医業外収益		1911	5854		1602	3183		1534	3076
	3　特別利益		85	5440		166	2590		729	6340
	(1)　過年度損益修正益		85	5440		166	2590		729	6340
	合計	18	6907	6475	18	4196	5699	18	2974	1304
費用	1　医業費用	20	2649	1048	19	9403	3915	19	7876	6376
	(1)　給与費	13	2269	2749	12	9565	7301	12	7768	4313
	(2)　材料費		4740	1914		4642	7179		4823	8711
	(3)　経費	3	4281	6093	3	3602	1635	3	3564	0197
	(4)　減価償却費	3	0686	5502	3	0877	2014	3	1021	0088
	(5)　資産減耗費		70	3714		24	4934		106	4790
	(6)　研究研修費		601	1076		691	0852		592	8277
	2　医業外費用	1	4498	6814	1	4931	0453	1	5174	4592
	(1)　支払利息及び企業債取扱諸費	1	4498	6814	1	4931	0453	1	5173	9043
	(2)　雑損失			0			0			5549
	3　特別損失		456	3220		721	1807		291	8470
	(1)　過年度損益修正損		456	3220		721	1807		291	8470
	合計	21	7604	1082	21	5055	6175	21	3342	9438
当年度純利益（△純損失）		△ 3	0696	4607	△ 3	0859	0476	△ 3	0368	8134

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			構成比					指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円	%	%	%	%	%					
13	6442	3280	8	9509	9158	83.3	85.1	84.8	81.5	59.7	173.9	175.1	173.3	152.4	100
11	0938	2024	6	6808	1290	67.9	69.3	69.5	66.2	44.5	190.0	191.1	190.4	166.1	100
	2934	7979		1656	7748	1.8	2.1	2.0	1.8	1.1	204.1	236.4	223.3	177.1	100
2	2569	3277	2	1045	0120	13.5	13.6	13.2	13.5	14.0	120.3	119.4	115.1	107.2	100
	2198	6476		1458	4000	1.2	1.5	1.3	1.3	1.0	159.8	186.8	169.4	150.8	100
	49	5173		14	4438	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	242.5	379.4	313.2	342.8	100
	1717	2254		1795	8334	1.1	0.9	0.9	1.0	1.2	114.1	94.2	96.6	95.6	100
1	8603	9374	1	7776	3348	11.2	11.2	10.9	11.1	11.8	117.6	116.2	112.4	104.7	100
3	0862	9626	6	0530	2319	16.7	14.8	14.8	18.4	40.3	51.5	45.1	44.8	51.0	100
	4	0495		15	0769	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.6	22.5	17.7	26.9	100
		—		104	7816	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	100
2	9717	9599	5	9262	7176	15.6	14.0	14.0	17.7	39.5	49.3	43.4	43.1	50.1	100
	1140	9532		1147	6558	1.0	0.9	0.8	0.7	0.8	166.6	139.6	133.7	99.4	100
	170	2490			—	0.0	0.1	0.4	0.1	—	—	—	—	—	—
	170	2490			—	0.0	0.1	0.4	0.1	—	—	—	—	—	—
16	7475	5396	15	0040	1477	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	124.6	122.8	122.0	111.6	100
18	3270	7086	16	6580	6270	93.1	92.7	92.8	91.9	91.6	121.7	119.7	118.8	110.0	100
11	3547	2817	10	4340	9220	60.8	60.2	59.9	57.0	57.4	126.8	124.2	122.5	108.8	100
	5492	5087		2629	4979	2.2	2.2	2.3	2.8	1.4	180.3	176.6	183.5	208.9	100
3	2353	4197	2	7395	9543	15.8	15.6	15.7	16.2	15.1	125.1	122.7	122.5	118.1	100
3	1267	4206	3	1754	7700	14.1	14.4	14.5	15.7	17.5	96.6	97.2	97.7	98.5	100
	47	3341		7	3822	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	953.3	331.8	1442.4	641.2	100
	562	7438		452	1006	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	133.0	152.9	131.1	124.5	100
1	5417	1370	1	5214	6813	6.7	6.9	7.1	7.7	8.4	95.3	98.1	99.7	101.3	100
1	5417	1370	1	5214	6813	6.7	6.9	7.1	7.7	8.4	95.3	98.1	99.7	101.3	100
		0			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	666	8990			—	0.2	0.3	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—
	666	8990			—	0.2	0.3	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—
19	9354	7446	18	1795	3083	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	119.7	118.3	117.4	109.7	100
△ 3	1879	2050	△ 3	1755	1606	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料　3

資　本　的　収　支

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収入	資本的収入									
	(1) 企業債		700	0000		840	0000		260	0000
	(2) 出資金	1	8151	9720	1	3873	4904	1	0696	7475
	(3) 補助金			―			―			―
	(4) 負担金	1	8151	9720	1	3873	4903	1	0696	7475
	合計（A）	3	7003	9440	2	8586	9807	2	1653	4950
支出	資本的支出									
	(1) 建設改良費		705	4900		850	3950		260	9950
	(2) 企業債償還金	3	6298	4540	2	7736	5857	2	1392	5000
	合計（B）	3	7003	9440	2	8586	9807	2	1653	4950
収支差引額（A－B）				0			0			0

(注) 1　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

2　リハビリテーション病院は，資金不足相当額を一般会計から繰り入れており，損益勘

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度		指数				
					平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	万	円					
		—		—	—	—	—	—	—
1	0887	6125		—	—	—	—	—	—
		—	215	9850	—	—	—	—	100
1	0887	6125		—	—	—	—	—	—
2	1775	2250	215	9850	17132.6	13235.6	10025.5	10081.8	100
	382	7250	215	9850	326.6	393.7	120.8	177.2	100
2	1392	5000		—	—	—	—	—	—
2	1775	2250	215	9850	17132.6	13235.6	10025.5	10081.8	100
		0		0	—	—	—	—	—

定留保資金が生じない。

資料　4

貸　借　対　照　表

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
資産	1 固定資産	65	7718	7217	68	7709	6924	71	7737	8707
	(1) 有形固定資産	65	7421	4912	68	7383	1825	71	7382	0814
	ア 土地	30	5289	3102	30	5289	3102	30	5289	3102
	イ 立木		22	8214		22	8214		22	8214
	ウ 建物	19	6139	6380	19	6139	6380	19	6139	6380
	減価償却累計額	△ 2	2948	3370	△ 1	8358	6696	△ 1	3769	0022
	年度末償却未済高	17	3191	3010	17	7780	9684	18	2370	6358
	エ 構築物	21	1007	7486	21	1007	7486	21	1007	7486
	減価償却累計額	△ 6	0454	4820	△ 4	8363	5856	△ 3	6272	6892
	年度末償却未済高	15	0553	2666	16	2644	1630	17	4735	0594
	オ 医療機器	8	8235	1592	8	7604	0835	8	7028	7626
	減価償却累計額	△ 6	4976	6882	△ 5	1951	6182	△ 3	8886	4524
	年度末償却未済高	2	3258	4710	3	5652	4653	4	8142	3102
	カ 備品		8654	2470		8654	2470		8393	1244
	減価償却累計額	△	3902	4446	△	3160	5196	△	2373	0067
	年度末償却未済高		4751	8024		5493	7274		6020	1177
	キ 車両		3392	9719		3407	6896		3395	1100
	減価償却累計額	△	3038	4533	△	2907	9628	△	2593	2833
	年度末償却未済高		354	5186		499	7268		801	8267
	(2) 無形固定資産		297	2305		326	5099		355	7893
	ア 施設利用権		297	2305		326	5099		355	7893
	2 流動資産	4	3109	9466	5	1990	9570	4	1113	7840
	(1) 現金預金	1	6660	2967	2	7545	1056	1	4233	5214
	(2) 未収金	2	6060	2828	2	4021	9506	2	6344	5585
	(3) 貯蔵品		389	3671		423	9008		535	7041
資産合計		70	0828	6683	73	9700	6494	75	8851	6547
負債・資本	3 流動負債	1	3109	9466	1	1990	9570	1	6133	3097
	(1) 未払金	1	1603	5802		9804	0294		8283	7386
	(2) その他流動負債		1506	3664		2186	9276		7849	5711
	ア 預り金		1506	3664		2186	9276		7849	5711
	イ その他流動負債			—			—			—
負債合計		1	3109	9466	1	1990	9570	1	6133	3097
	4 資本金	74	6859	7827	76	4306	2647	77	7329	3600
	(1) 自己資本金	5	3609	8224	3	5457	8504	2	1584	3600
	(2) 借入資本金	69	3249	9603	72	8848	4143	75	5745	0000
	ア 企業債	69	3249	9603	72	8848	4143	75	5745	0000
	5 剰余金	△ 8	9141	0610	△ 7	6596	5723	△ 5	9611	0150
	(1) 資本剰余金	6	6417	6263	4	8265	6543	3	4392	1640
	ア 補助金		215	9850		215	9850		215	9850
	イ 受贈財産評価額	1	2591	8190	1	2591	8190	1	2591	8190
	ウ その他資本剰余金	5	3609	8223	3	5457	8503	2	1584	3600
	(2) 利益剰余金(△欠損金)	△ 15	5558	6873	△ 12	4862	2266	△ 9	4003	1790
	ア 当年度未処分利益剰余金(△当年度未処理欠損金)	△ 15	5558	6873	△ 12	4862	2266	△ 9	4003	1790
資本合計		65	7718	7217	68	7709	6924	71	7718	3450
負債・資本合計		67	0828	6683	69	9700	6494	73	3851	6547

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
74	8517	1016	77	9371	6379	84.4	88.2	92.1	96.0	100
74	8132	0329	77	8957	2898	84.4	88.2	92.1	96.0	100
30	5289	3102	30	5289	3102	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	22	8214		22	8214	100.0	100.0	100.0	100.0	100
19	6139	6380	19	6139	6380	100.0	100.0	100.0	100.0	100
△	9179	3348	△	4589	6674	500.0	400.0	300.0	200.0	100
18	6960	3032	19	1549	9706	90.4	92.8	95.2	97.6	100
21	1007	7486	21	1007	7486	100.0	100.0	100.0	100.0	100
△ 2	4181	7928	△ 1	2090	8964	500.0	400.0	300.0	200.0	100
18	6825	9558	19	8916	8522	75.7	81.8	87.8	93.9	100
8	6755	3344	8	6373	1933	102.2	101.4	100.8	100.4	100
△ 2	5868	1925	△ 1	2954	1489	501.6	401.0	300.2	199.7	100
6	0887	1419	7	3419	0444	31.7	48.6	65.6	82.9	100
	8444	2909		8454	9589	102.4	102.4	99.3	99.9	100
△	1593	1769	△	785	9930	496.5	402.1	301.9	202.7	100
	6851	1140		7668	9659	62.0	71.6	78.5	89.3	100
	3395	1100		3395	1100	99.9	100.4	100.0	100.0	100
△	2099	7236	△	1304	7849	232.9	222.9	198.8	160.9	100
	1295	3864		2090	3251	17.0	23.9	38.4	62.0	100
	385	0687		414	3481	71.7	78.8	85.9	92.9	100
	385	0687		414	3481	71.7	78.8	85.9	92.9	100
3	1555	9012	5	3778	8595	80.2	96.7	76.4	58.7	100
	2180	5957		3568	0629	466.9	772.0	398.9	61.1	100
2	8656	6233	4	9421	3922	52.7	48.6	53.3	58.0	100
	718	6822		789	4044	49.3	53.7	67.9	91.0	100
78	0073	0028	83	3150	4974	84.1	88.8	91.1	93.6	100
2	4208	5129		8778	8595	149.3	136.6	183.8	275.8	100
	7849	3487		7762	0930	149.5	126.3	106.7	101.1	100
1	6359	1642		1016	7665	148.2	215.1	772.0	1608.9	100
1	6359	1547		1016	7665	148.2	215.1	772.0	1608.9	100
		95			—	—	—	—	—	—
2	4208	5129		8778	8595	149.3	136.6	183.8	275.8	100
78	7765	1125	79	8270	0000	93.6	95.7	97.4	98.7	100
1	0887	6125			—	—	—	—	—	—
77	6877	5000	79	8270	0000	86.8	91.3	94.7	97.3	100
77	6877	5000	79	8270	0000	86.8	91.3	94.7	97.3	100
△ 3	9900	6226	△ 1	8898	3621	471.7	405.3	315.4	211.1	100
2	3733	7430	1	2856	7985	516.6	375.4	267.5	184.6	100
	215	9850		215	9850	100.0	100.0	100.0	100.0	100
1	2630	1455	1	2640	8135	99.6	99.6	99.6	99.9	100
1	0887	6125			—	—	—	—	—	—
△ 6	3634	3656	△ 3	1755	1606	489.9	393.2	296.0	200.4	100
△ 6	3634	3656	△ 3	1755	1606	489.9	393.2	296.0	200.4	100
74	7864	4899	77	9371	6379	84.4	88.2	92.1	96.0	100
77	2073	0028	78	8150	4974	85.1	88.8	93.1	98.0	100

資料　5

経　営　分　析　比　率

区　　分		単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1　収益性に関する項目							
医業収支比率	(医業収益／医業費用 ×１００)	%	76.8	78.6	78.4	74.4	53.7
経常収支比率	(経常収益／経常費用 ×１００)	%	86.0	85.9	85.5	84.2	82.5
総収支比率	(総収益／総費用 ×１００)	%	85.9	85.7	85.8	84.0	82.5
自己資本回転率	(医業収益／自己資本)	回	△ 4.06	△ 3.96	△ 4.63	△ 5.70	△ 4.74
総資本回転率	(医業収益／総資本)	回	0.23	0.22	0.21	0.17	0.11
医業利益率	(医業利益／医業収益 ×１００)	%	△ 30.2	△ 27.2	△ 27.5	△ 34.3	△ 86.1
2　安全性に関する項目							
固定資産構成比率	(固定資産／総資産 ×１００)	%	93.8	93.0	94.6	96.0	93.5
自己資本構成比率	(自己資本／総資本 ×１００)	%	△ 5.3	△ 5.9	△ 5.2	△ 3.8	△ 2.4
固定長期適合率	(固定資産／長期資本 ×１００)	%	100.0	100.0	100.0	100.1	100.0
3　流動性に関する項目							
流動比率	(流動資産／流動負債 ×１００)	%	328.8	433.6	254.8	130.4	612.6
4　収益に対する割合に関する項目							
給与費対医業収益	(給与費／医業収益 ×１００)	%	82.9	82.0	82.3	83.1	116.5
5　許可病床１床当たりに関する項目							
１床当たり医業収益	(医業収益／許可病床数)	千円	15,566	15,671	15,514	13,644	8,951
１床当たり自己資本	(自己資本／許可病床数)	千円	△ 3,833	△ 3,958	△ 3,352	△ 2,396	△ 1,890
１床当たり総資本	(総資本／許可病床数)	千円	68,526	71,678	75,296	78,011	78,815

年　度　比　較　表

(A) - (B)	備	考
△ 1.8	医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益 2　経常費用＝医業費用＋医業外費用 3　総収益＝経常収益＋特別利益 4　総費用＝経常費用＋特別損失 5　医業利益＝医業収益－医業費用 6　自己資本＝自己資本金＋剰余金 7　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
0.1	通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	
0.2	事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。病院が純利益をあげるためには総収益が総費用を上回る必要がある。	
△ 0.10	自己資本の利用度を示すものである。比率が高いほど自己資本の利用度が高いことを表す。	
0.01	総資本に対しどれだけの医業収益が得られたかを示すものである。比率が高いほど総資本が効率的に使われていることを表す。	
△ 3.0	医療活動から生じる収益のうち，利益となるものの割合を示す指標である。比率が高いほど収益性が高いことを表す。	
0.8	総資産に占める固定資産の割合を示すものである。比率が高いほど資本が固定化の傾向にあることを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　総資産＝固定資産＋流動資産＋繰延勘定 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 4　長期資本＝自己資本＋固定負債(借入資本金を含む。)
0.6	総資本に対する自己資本の比率である。比率が高いほど病院経営が健全であることを表す。	
0.0	固定資産が自己資本と固定負債(借入資本金を含む。)の合計額（長期資本）でどの程度賄われているかを示す。100%以下が望ましいとされている。	
△ 104.8	流動負債に対する流動資産の比率であり，短期債務に対する支払能力を示すものである。100%以上であることが必要である。	
0.9	職員給与費が,医業収益の何%に当たるかをみる比率である。	1　給与費対医業収益は，退職給与金を除いて算出した数値である。
△ 105	許可病床１床当たりの医業収益の額を示す指標であり，多いほうが１病床の効率性が高いことを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　許可病床数は，各年度末現在の数値である。 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
125	高い金額は，資本投下額の多いことを表している。許可病床１床当たりの自己資本の額を示すが，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	
△ 3,152	許可病床１床当たりの総資本の投下効率を示すが，１床当たり自己資本と同様，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	

広島市病院事業（広島市立安佐市民病院）

資料　1

業　務　実　績　年

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口		人	118万2,403	117万7,934	117万5,466
年間患者延数		人	36万8,202	37万3,854	38万　802
入院患者延数		人	16万8,774	17万2,043	17万2,583
1日平均		人	462	470	473
外来患者延数		人	19万9,428	20万1,811	20万8,219
1日平均		人	817	827	860
診療科目別	内科	人	12万3,768	11万9,930	12万4,321
	外科	人	4万1,013	4万1,496	4万　35
	整形外科	人	3万8,647	4万1,162	4万1,858
	脳神経外科	人	1万3,602	1万3,741	1万3,069
	心臓血管外科	人	1万2,167	1万3,615	1万3,304
	小児科	人	1万2,306	1万4,664	1万5,440
	産婦人科	人	2万4,316	2万7,670	2万8,592
	皮膚科	人	1万8,962	1万8,795	1万8,191
	泌尿器科	人	1万5,801	1万6,806	1万8,330
	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	人	1万4,309	1万4,544	1万4,372
	眼科	人	2万　392	1万8,957	1万9,395
	精神科	人	1万　40	1万　166	9,830
	放射線科	人	9,496	9,224	1万　417
	麻酔科	人	1,506	1,826	1,823
	リハビリテーション科	人	3,028	2,577	2,436
	歯科	人	8,849	8,681	9,389
病床数		床	527	527	527
病床利用率		%	87.7	89.2	89.7
患者一人一日当たり	診療収入	円	3万7,253	3万5,743	3万3,853
	入院	円	6万1,021	5万8,336	5万6,522
	外来	円	1万7,139	1万6,483	1万5,063
	費用	円	3万8,243	3万7,444	3万5,787

（注）　内科の患者数は循環器内科，呼吸器内科，血液内科及び神経内科を含み，外科の患者

度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
117万1,559	116万7,963	101.2	100.9	100.6	100.3	100
37万9,328	39万　204	94.4	95.8	97.6	97.2	100
16万9,083	17万　629	98.9	100.8	101.1	99.1	100
463	467	98.9	100.6	101.3	99.1	100
21万　245	21万9,575	90.8	91.9	94.8	95.8	100
872	907	90.1	91.2	94.8	96.1	100
12万1,692	11万7,529	105.3	102.0	105.8	103.5	100
4万1,786	4万2,006	97.6	98.8	95.3	99.5	100
4万2,786	4万2,822	90.3	96.1	97.7	99.9	100
1万2,518	1万4,633	93.0	93.9	89.3	85.5	100
1万3,178	1万2,309	98.8	110.6	108.1	107.1	100
1万6,850	1万6,100	76.4	91.1	95.9	104.7	100
2万7,365	2万9,833	81.5	92.7	95.8	91.7	100
1万7,354	1万7,855	106.2	105.3	101.9	97.2	100
1万8,834	2万1,501	73.5	78.2	85.3	87.6	100
1万3,615	1万3,673	104.7	106.4	105.1	99.6	100
1万9,397	1万8,545	110.0	102.2	104.6	104.6	100
1万　329	1万9,288	52.1	52.7	51.0	53.6	100
1万　989	7,826	121.3	117.9	133.1	140.4	100
1,111	976	154.3	187.1	186.8	113.8	100
2,600	6,450	46.9	40.0	37.8	40.3	100
8,924	8,858	99.9	98.0	106.0	100.7	100
527	527	100.0	100.0	100.0	100.0	100
87.9	88.7	—	—	—	—	—
3万1,559	2万8,697	129.8	124.6	118.0	110.0	100
5万2,571	4万8,269	126.4	120.9	117.1	108.9	100
1万4,660	1万3,489	127.1	122.2	111.7	108.7	100
3万4,233	3万2,037	119.4	116.9	111.7	106.9	100

数は呼吸器外科及び乳腺・内分泌外科を含んでいる。

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
職員数	実数	人	620	615	613
	医師	人	72	67	64
	医療技術職員	人	90	85	84
	看護師	人	431	436	437
	事務・技術職員	人	26	26	26
	技能・業務職員	人	1	1	2
	嘱託・臨時職員	人	364	350	318
病床一〇〇床当たり職員数	医師	人	13.7	12.7	12.1
	医療技術職員	人	17.1	16.1	15.9
	看護師	人	81.8	82.7	82.9
	事務・技術職員	人	4.9	4.9	4.9
	技能・業務職員	人	0.2	0.2	0.4
	合計	人	117.6	116.7	116.3
職員一人一日当たり患者数	医師	人	17.8	19.3	20.8
	入院	人	6.4	7.0	7.4
	外来	人	11.4	12.3	13.4
	看護師	人	3.0	3.0	3.1
	入院	人	1.1	1.1	1.1
	外来	人	1.9	1.9	2.0
	事務・技術職員等	人	10.9	11.6	11.9
	入院	人	3.9	4.2	4.2
	外来	人	7.0	7.4	7.7
職員一人一日当たり診療収入	入院	円	4万5,510	4万4,588	4万3,598
	外来	円	2万2,594	2万2,168	2万1,143

(注) 職員数の実数は，各年度末現在の数値であり，休職者等を除く。

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
552	556	111.5	110.6	110.3	99.3	100
63	64	112.5	104.7	100.0	98.4	100
80	81	111.1	104.9	103.7	98.8	100
381	385	111.9	113.2	113.5	99.0	100
26	24	108.3	108.3	108.3	108.3	100
2	2	50.0	50.0	100.0	100.0	100
358	316	115.2	110.8	100.6	113.3	100
12.0	12.1	113.2	105.0	100.0	99.2	100
15.2	15.4	111.0	104.5	103.2	98.7	100
72.3	73.1	111.9	113.1	113.4	98.9	100
4.9	4.6	106.5	106.5	106.5	106.5	100
0.4	0.4	50.0	50.0	100.0	100.0	100
104.7	105.5	111.5	110.6	110.2	99.2	100
21.1	21.5	82.8	89.8	96.7	98.1	100
7.3	7.3	87.7	95.9	101.4	100.0	100
13.8	14.2	80.3	86.6	94.4	97.2	100
3.5	3.6	83.3	83.3	86.1	97.2	100
1.2	1.2	91.7	91.7	91.7	100.0	100
2.3	2.4	79.2	79.2	83.3	95.8	100
12.4	12.9	84.5	89.9	92.2	96.1	100
4.3	4.4	88.6	95.5	95.5	97.7	100
8.1	8.5	82.4	87.1	90.6	95.3	100
4万4,118	4万　584	112.1	109.9	107.4	108.8	100
2万3,169	2万2,012	102.6	100.7	96.1	105.3	100

資料　2

損　益　計　算　書

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収益	1　医業収益	141	5508	3438	137	9500	6800	133	1291	8309
	(1)　入院収益	102	9883	9263	100	3623	1813	97	5477	1602
	(2)　外来収益	34	1796	6286	33	2653	8752	31	3645	6712
	(3)　その他医業収益	4	3827	7889	4	3223	6235	4	2168	9995
	ア　室料差額収益	1	3002	3544	1	3018	5250	1	2644	8773
	イ　公衆衛生活動収益		2974	7837		3167	0856		3219	2510
	ウ　一般会計負担金	2	4214	4386	2	3392	4758	2	2802	4088
	エ　その他医業収益		3636	2122		3645	5371		3502	4624
	2　医業外収益	8	0483	4056	6	9925	2364	7	7878	9118
	(1)　受取利息配当金		202	7103		125	5035		73	2391
	(2)　補助金		2814	6717		2582	0000		3010	1000
	(3)　負担金交付金	6	6220	7663	5	4517	7402	6	2245	4144
	(4)　その他医業外収益	1	1245	2573	1	2699	9927	1	2550	1583
	3　特別利益		332	6205		626	9495		99	6686
	(1)　過年度損益修正益		332	6205		626	9495		99	6686
	合計	149	6324	3699	145	0052	8659	140	9270	4113
費用	1　医業費用	139	0599	9783	138	2003	8379	133	9658	1903
	(1)　給与費	75	6930	9893	74	9053	3652	72	4359	0111
	(2)　材料費	38	3961	9294	38	1023	7740	36	0445	7860
	(3)　経費	16	9838	5473	16	3539	1301	16	5709	4861
	(4)　減価償却費	7	3839	2869	8	2375	9203	8	1901	0843
	(5)　資産減耗費		1603	1244		2623	4325		3763	2704
	(6)　研究研修費		4426	1010		3388	2158		3479	5524
	2　医業外費用	1	2602	0364	1	3924	6997	1	5133	3260
	(1)　支払利息及び企業債取扱諸費	1	2602	0364	1	3924	6997	1	5132	7924
	(2)　繰延勘定償却			—			—			—
	(3)　雑損失			0			0			5336
	3　特別損失		4903	4182		3943	8573		7971	6363
	(1)　過年度損益修正損		4903	4182		3943	8573		7971	6363
	合計	140	8105	4329	139	9872	3949	136	2763	1526
当年度純利益（△純損失）		8	8218	9370	5	0180	4710	4	6507	2587

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			構成比					指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円	%	%	%	%	%					
123	9280	4745	116	1553	7528	94.6	95.1	94.5	93.8	93.4	121.9	118.8	114.6	106.7	100
88	8888	0282	82	3603	4748	68.8	69.2	69.2	67.3	66.2	125.0	121.9	118.4	107.9	100
30	8225	4021	29	6177	5249	22.8	22.9	22.3	23.3	23.8	115.4	112.3	105.9	104.1	100
4	2167	0442	4	1772	7531	2.9	3.0	3.0	3.2	3.4	104.9	103.5	100.9	100.9	100
1	2691	4245	1	1770	6350	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	110.5	110.6	107.4	107.8	100
	3763	4188		3291	7842	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	90.4	96.2	97.8	114.3	100
2	2139	3615	2	2914	6450	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	105.7	102.1	99.5	96.6	100
	3572	8394		3795	6889	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	95.8	96.0	92.3	94.1	100
8	2395	1103	8	2626	1748	5.4	4.8	5.5	6.2	6.6	97.4	84.6	94.3	99.7	100
	82	3582		288	1554	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3	43.6	25.4	28.6	100
	1466	8000		1583	2510	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	177.8	163.1	190.1	92.6	100
6	6540	7426	6	8577	9476	4.4	3.8	4.4	5.0	5.5	96.6	79.5	90.8	97.0	100
1	4305	2095	1	2176	8208	0.8	0.9	0.9	1.1	1.0	92.3	104.3	103.1	117.5	100
	45	0932		53	5319	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	621.4	1171.2	186.2	84.2	100
	45	0932		53	5319	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	621.4	1171.2	186.2	84.2	100
132	1720	6780	124	4233	4595	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	120.3	116.5	113.3	106.2	100
127	6884	2454	121	8911	3527	98.8	98.7	98.3	98.3	97.5	114.1	113.4	109.9	104.8	100
68	2298	5558	63	1783	5758	53.8	53.5	53.2	52.5	50.5	119.8	118.6	114.7	108.0	100
34	8052	4613	33	3859	8879	27.3	27.2	26.4	26.8	26.7	115.0	114.1	108.0	104.3	100
16	5893	2351	17	4948	0647	12.1	11.7	12.2	12.8	14.0	97.1	93.5	94.7	94.8	100
7	4884	9585	7	1740	9520	5.2	5.9	6.0	5.8	5.7	102.9	114.8	114.2	104.4	100
	2603	5995		3585	8654	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	44.7	73.2	104.9	72.6	100
	3151	4352		2993	0069	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	147.9	113.2	116.3	105.3	100
1	6083	8992	2	1122	7631	0.9	1.0	1.1	1.2	1.7	59.7	65.9	71.6	76.1	100
1	6083	8992	2	0844	9326	0.9	1.0	1.1	1.2	1.7	60.5	66.8	72.6	77.2	100
		—		277	8305	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	100
		0			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	5568	0457	1	0051	2128	0.3	0.3	0.6	0.4	0.8	48.8	39.2	79.3	55.4	100
	5568	0457	1	0051	2128	0.3	0.3	0.6	0.4	0.8	48.8	39.2	79.3	55.4	100
129	8536	1903	125	0085	3286	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	112.6	112.0	109.0	103.9	100
2	3184	4877	△	5851	8691	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料　3

資　本　的　収　支

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収入	資本的収入									
	(1) 企業債	28	2910	0000	4	0490	0000	6	0620	0000
	(2) 出資金	4	6420	0522	4	5576	7324	4	8178	7191
	(3) 補助金		978	6000			—			—
	(4) 負担金		1125	4000		1351	6576		1359	7629
	(5) 固定資産売却代金		159	0120			—		143	5560
	(6) 敷金返還金			—		8	0000		15	6000
	合計（A）	33	1593	0642	8	7426	3900	11	0317	6380
支出	資本的支出									
	(1) 建設改良費	11	7623	4445	4	0677	5575	7	0785	3754
	(2) 企業債償還金	25	4235	4374	8	2840	8801	8	7412	0672
	(3) 出資金			—			—			—
	合計（B）	37	1858	8819	12	3518	4376	15	8197	4426
収支差引額（A－B）		△ 4	0265	8177	△ 3	6092	0476	△ 4	7879	8046
補塡財源等	(1) 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		105	4529		42	0681		74	6598
	(2) 過年度分損益勘定留保資金	3	7580	3648	3	6049	9795	4	7805	1448
	(3) 同意済企業債未発行分		2580	0000			—			—
	合計	4	0265	8177	3	6092	0476	4	7879	8046

(注)　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
9	2280	0000	15	0800	0000	187.6	26.9	40.2	61.2	100
6	9493	5085	4	2094	0401	110.3	108.3	114.5	165.1	100
	5608	6105		5784	9170	16.9	—	—	97.0	100
	6001	1547		4635	2529	24.3	29.2	29.3	129.5	100
		—			—	—	—	—	—	—
	62	2000			—	—	—	—	—	—
17	3445	4737	20	3314	2100	163.1	43.0	54.3	85.3	100
9	7940	7540	8	0497	0203	146.1	50.5	87.9	121.7	100
11	9575	4556	15	4603	3894	164.4	53.6	56.5	77.3	100
		—		20	0000	—	—	—	—	100
21	7516	2096	23	5120	4097	158.2	52.5	67.3	92.5	100
△ 4	4070	7359	△ 3	1806	1997	126.6	113.5	150.5	138.6	100
	117	8285		100	4192	—	—	—	—	—
4	3952	9074	3	1705	7805	—	—	—	—	—
		—			—	—	—	—	—	—
4	4070	7359	3	1806	1997	—	—	—	—	—

資料　4

貸　借　対　照　表

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
資産	1　固定資産	91	2743	1899	87	0145	6921	91	4044	5607
	(1) 有形固定資産	91	2318	7421	86	9736	0443	91	3626	9129
	ア　土地	23	1107	0801	23	1107	0801	23	1107	0801
	イ　建物	65	9445	6019	65	0932	8163	65	0932	8163
	減価償却累計額	△ 34	4606	7072	△ 32	9338	7621	△ 31	4020	3651
	年度末償却未済高	31	4838	8947	32	1594	0542	33	6912	4512
	ウ　構築物	77	6480	0000	74	8949	5202	74	8949	5202
	減価償却累計額	△ 66	0406	8903	△ 65	6031	3265	△ 65	1210	0799
	年度末償却未済高	11	6073	1097	9	2918	1937	9	7739	4403
	エ　医療機器	74	7299	2703	68	6596	0590	69	2179	3761
	減価償却累計額	△ 50	6025	6493	△ 46	9477	7307	△ 44	9851	6360
	年度末償却未済高	24	1273	6210	21	7118	3283	24	2327	7401
	オ　備品	2	9303	4330	2	7063	6382	2	4658	3676
	減価償却累計額	△ 2	2115	2944	△ 2	1934	0371	△ 2	2170	6729
	年度末償却未済高		7188	1386		5129	6011		2487	6947
	カ　車両		6107	9031		6114	6419		6222	5594
	減価償却累計額	△	4908	4810	△	4245	8550	△	3170	0529
	年度末償却未済高		1199	4221		1868	7869		3052	5065
	キ　建設仮勘定		638	4759			―			―
	(2) 無形固定資産		225	8478		225	8478		225	8478
	ア　電話加入権		225	8478		225	8478		225	8478
	(3) 投資		198	6000		183	8000		191	8000
	ア　その他投資		198	6000		183	8000		191	8000
	2　流動資産	82	1376	4813	69	3122	9659	56	4584	8793
	(1) 現金預金	57	9337	2478	44	9614	4356	32	3931	4949
	(2) 未収金	22	8355	7632	23	2111	9750	22	7382	8274
	(3) 貯蔵品	1	3681	4703	1	1394	5553	1	3268	5570
	(4) その他流動資産		2	0000		2	0000		2	0000
資産合計		173	4119	6712	156	3268	6580	147	8629	4400

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
93	0917	0006	91	0150	8647	100.3	95.6	100.4	102.3	100
93	0483	7528	90	9655	4169	100.3	95.6	100.4	102.3	100
23	1107	0801	23	1107	0801	100.0	100.0	100.0	100.0	100
64	7677	8546	64	6359	7306	102.0	100.7	100.7	100.2	100
△ 29	8895	3128	△ 28	3842	2709	121.4	116.0	110.6	105.3	100
34	8782	5418	36	2517	4597	86.8	88.7	92.9	96.2	100
74	2532	5631	71	9575	5949	107.9	104.1	104.1	103.2	100
△ 64	4871	3751	△ 63	9139	2686	103.3	102.6	101.9	100.9	100
9	7661	1880	8	0436	3263	144.3	115.5	121.5	121.4	100
73	1121	5176	70	2381	5416	106.4	97.8	98.5	104.1	100
△ 48	5763	1629	△ 47	0820	4996	107.5	99.7	95.5	103.2	100
24	5358	3547	23	1561	0420	104.2	93.8	104.6	106.0	100
3	0243	2470	3	0340	9407	96.6	89.2	81.3	99.7	100
△ 2	7079	3988	△ 2	6598	0449	83.1	82.5	83.4	101.8	100
	3163	8482		3742	8958	192.0	137.0	66.5	84.5	100
	6571	6334		3858	7023	158.3	158.5	161.3	170.3	100
△	2160	8934	△	3568	0893	137.6	119.0	88.8	60.6	100
	4410	7400		290	6130	412.7	643.1	1050.4	1517.7	100
		—			—	—	—	—	—	—
	225	8478		225	8478	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	225	8478		225	8478	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	207	4000		269	6000	73.7	68.2	71.1	76.9	100
	207	4000		269	6000	73.7	68.2	71.1	76.9	100
47	0671	6780	38	3409	0443	214.2	180.8	147.3	122.8	100
26	3011	7991	18	1214	3290	319.7	248.1	178.8	145.1	100
19	6968	7285	19	2072	7172	118.9	120.8	118.4	102.5	100
1	0689	1504	1	0119	9981	135.2	112.6	131.1	105.6	100
	2	0000		2	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
140	1588	6786	129	3559	9090	134.1	120.9	114.3	108.4	100

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
負債・資本	3 流動負債	14	9456	0589	14	4174	0375	11	4417	2754
	(1) 未払金	13	3819	9469	12	9301	7885	10	5368	4614
	(2) その他流動負債	1	5636	1120	1	4872	2490		9048	8140
	ア 預り金	1	5636	1120	1	4872	2490		9048	8140
	負債合計	14	9456	0589	14	4174	0375	11	4417	2754
	4 資本金	221	4156	1027	213	9061	4879	213	5835	6356
	(1) 自己資本金	170	2331	1470	165	5911	0948	161	0334	3624
	(2) 借入資本金	51	1824	9557	48	3150	3931	52	5501	2732
	ア 企業債	51	1824	9557	48	3150	3931	52	5501	2732
	5 剰余金	△ 62	9492	4904	△ 71	9966	8674	△ 77	1623	4710
	(1) 資本剰余金	9	2354	4598	9	0099	0198	8	8622	8872
	ア 補助金	2	0779	1275	1	9800	5275	1	9800	5275
	イ 受贈財産評価額		5538	9542		5538	9542		5414	4792
	ウ 寄附金		50	0000		50	0000		50	0000
	エ その他資本剰余金	6	5986	3781	6	4709	5381	6	3357	8805
	(2) 利益剰余金（△欠損金）	△ 72	1846	9502	△ 81	0065	8872	△ 86	0246	3582
	ア 当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	△ 72	1846	9502	△ 81	0065	8872	△ 86	0246	3582
	資本合計	158	4663	6123	141	9094	6205	136	4212	1646
負債・資本合計		173	4119	6712	156	3268	6580	147	8629	4400

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
10	6865	9075	12	0829	4437	123.7	119.3	94.7	88.4	100
9	6747	0129	11	0204	4453	121.4	117.3	95.6	87.8	100
1	0118	8946	1	0624	9984	147.2	140.0	85.2	95.2	100
1	0118	8946	1	0624	9984	147.2	140.0	85.2	95.2	100
10	6865	9075	12	0829	4437	123.7	119.3	94.7	88.4	100
211	4448	9837	207	2250	9308	106.8	103.2	103.1	102.0	100
156	2155	6433	149	2662	1348	114.0	110.9	107.9	104.7	100
55	2293	3404	57	9588	7960	88.3	83.4	90.7	95.3	100
55	2293	3404	57	9588	7960	88.3	83.4	90.7	95.3	100
△ 81	9726	2126	△ 85	4520	4655	73.7	84.3	90.3	95.9	100
8	7027	4043	7	5417	6391	122.5	119.5	117.5	115.4	100
1	9800	5275	1	4191	9170	146.4	139.5	139.5	139.5	100
	5315	4792		5315	4792	104.2	104.2	101.9	100.0	100
	50	0000		50	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
6	1861	3976	5	5860	2429	118.1	115.8	113.4	110.7	100
△ 90	6753	6169	△ 92	9938	1046	77.6	87.1	92.5	97.5	100
△ 90	6753	6169	△ 92	9938	1046	77.6	87.1	92.5	97.5	100
129	4722	7711	121	7730	4653	130.1	116.5	112.0	106.3	100
140	1588	6786	133	8559	9090	129.6	116.8	110.5	104.7	100

資料　5

経　営　分　析　比　率

区　　分	単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1　収益性に関する項目						
医業収支比率 (医業収益/医業費用 ×100)	%	101.8	99.8	99.4	97.1	95.3
経常収支比率 (経常収益/経常費用 ×100)	%	106.6	103.8	104.0	102.2	100.3
総収支比率 (総収益/総費用 ×100)	%	106.3	103.6	103.4	101.8	99.5
自己資本回転率 (医業収益/自己資本)	回	1.41	1.55	1.68	1.80	1.89
総資本回転率 (医業収益/総資本)	回	0.86	0.91	0.92	0.90	0.89
医業収益医業利益率 (医業利益/医業収益 ×100)	%	1.8	△ 0.2	△ 0.6	△ 3.0	△ 4.9
2　安全性に関する項目						
固定資産構成比率 (固定資産/総資産 ×100)	%	52.6	55.7	61.8	66.4	70.4
自己資本構成比率 (自己資本/総資本 ×100)	%	61.9	59.9	56.7	53.0	47.7
固定長期適合率 (固定資産/長期資本 ×100)	%	57.6	61.3	67.0	71.9	74.7
3　流動性に関する項目						
流動比率 (流動資産/流動負債 ×100)	%	549.6	480.8	493.4	440.4	317.3
4　収益に対する割合に関する項目						
給与費対医業収益 (給与費/医業収益 ×100)	%	51.9	52.0	52.2	53.4	53.1
5　許可病床１床当たりに関する項目						
１床当たり医業収益 (医業収益/許可病床数)	千円	26,860	26,176	25,262	23,516	22,041
１床当たり自己資本 (自己資本/許可病床数)	千円	19,059	16,837	15,001	13,098	11,666
１床当たり総資本 (総資本/許可病床数)	千円	31,285	28,861	27,327	25,998	24,702

年　度　比　較　表

(A) - (B)	備	考
2.0	医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益 2　経常費用＝医業費用＋医業外費用 3　総収益＝経常収益＋特別利益 4　総費用＝経常費用＋特別損失 5　医業利益＝医業収益－医業費用 6　自己資本＝自己資本金＋剰余金 7　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
2.8	通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	
2.7	事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。病院が純利益をあげるためには総収益が総費用を上回る必要がある。	
△ 0.14	自己資本の利用度を示すものである。比率が高いほど自己資本の利用度が高いことを表す。	
△ 0.05	総資本に対しどれだけの医業収益が得られたかを示すものである。比率が高いほど総資本が効率的に使われていることを表す。	
2.0	医療活動から生じる収益のうち，利益となるものの割合を示す指標である。比率が高いほど収益性が高いことを表す。	
△ 3.1	総資産に占める固定資産の割合を示すものである。比率が高いほど資本が固定化の傾向にあることを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　総資産＝固定資産＋流動資産＋繰延勘定 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 4　長期資本＝自己資本＋固定負債(借入資本金を含む。)
2.0	総資本に対する自己資本の比率である。比率が高いほど病院経営が健全であることを表す。	
△ 3.7	固定資産が自己資本と固定負債（借入資本金を含む。）の合計額（長期資本）でどの程度賄われているかを示す。100%以下が望ましいとされている。	
68.8	流動負債に対する流動資産の比率であり，短期債務に対する支払能力を示すものである。100%以上であることが必要である。	
△ 0.1	職員給与費が，医業収益の何%に当たるかをみる比率である。	1　給与費対医業収益は，退職給与金を除いて算出した数値である。
684	許可病床１床当たりの医業収益の額を示す指標であり，多いほうが１病床の効率性が高いことを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　許可病床数は，各年度末現在の数値である。 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
2,222	高い金額は，資本投下額の多いことを表している。許可病床１床当たりの自己資本の額を示すが，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	
2,424	許可病床１床当たりの総資本の投下効率を示すが，１床当たり自己資本と同様，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	

広島市病院事業（広島市医師会運営・安芸市民病院）

資料　1

業　務　実　績　年

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口		人	118万2,403	117万7,934	117万5,466
年間患者延数		人	8万7,625	8万9,348	9万3,968
入院患者延数		人	4万8,093	4万7,902	4万9,174
1日平均		人	132	131	135
外来患者延数		人	3万9,532	4万1,446	4万4,794
1日平均		人	163	170	184
診療科目別	内科	人	4万1,243	4万　679	3万7,143
	外科	人	3万6,655	3万8,481	4万6,084
	小児科	人	9,474	9,454	9,888
	リハビリテーション科	人	253	734	853
病床数		床	140	140	140
	一般病床	床	80	80	80
	療養病床	床	60	60	60
病床利用率		%	94.1	93.5	96.2
	一般病床	%	91.6	90.6	94.1
	療養病床	%	97.5	97.3	99.1
患者一人一日当たり	診療収入	円	1万8,190	1万7,506	1万7,550
	入院	円	2万5,773	2万5,132	2万5,406
	外来	円	8,964	8,693	8,925
	費用	円	2万1,549	2万　741	2万　541

(注)　内科の患者数は，呼吸器内科及び循環器内科を含んでいる。

度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
117万1,559	116万7,963	101.2	100.9	100.6	100.3	100
9万4,562	9万2,048	95.2	97.1	102.1	102.7	100
4万9,410	5万　164	95.9	95.5	98.0	98.5	100
135	137	96.4	95.6	98.5	98.5	100
4万5,152	4万1,884	94.4	99.0	106.9	107.8	100
185	172	94.8	98.8	107.0	107.6	100
3万7,208	3万7,470	110.1	108.6	99.1	99.3	100
4万5,845	4万5,485	80.6	84.6	101.3	100.8	100
1万　752	8,339	113.6	113.4	118.6	128.9	100
757	754	33.6	97.3	113.1	100.4	100
140	140	100.0	100.0	100.0	100.0	100
80	80	100.0	100.0	100.0	100.0	100
60	60	100.0	100.0	100.0	100.0	100
96.7	98.2	—	—	—	—	—
95.4	97.0	—	—	—	—	—
98.4	99.7	—	—	—	—	—
1万7,335	1万7,913	101.5	97.7	98.0	96.8	100
2万5,290	2万5,472	101.2	98.7	99.7	99.3	100
8,630	8,859	101.2	98.1	100.7	97.4	100
2万　559	2万1,158	101.8	98.0	97.1	97.2	100

区分		単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
職員数	実数	人	137	133	129
	医師	人	10	10	10
	医療技術職員	人	18	15	16
	看護師	人	85	83	79
	事務・技術職員	人	10	10	8
	技能・業務職員	人	14	15	16
	嘱託・臨時職員	人	29	31	33
病床一〇〇床当たり職員数	医師	人	7.1	7.1	7.1
	医療技術職員	人	12.9	10.7	11.4
	看護師	人	60.7	59.3	56.4
	事務・技術職員	人	7.1	7.1	5.7
	技能・業務職員	人	10.0	10.7	11.4
	合計	人	97.9	95.0	92.1
職員一人一日当たり患者数	医師	人	29.5	30.1	31.9
	入院	人	13.2	13.1	13.5
	外来	人	16.3	17.0	18.4
	看護師	人	3.5	3.6	4.0
	入院	人	1.6	1.6	1.7
	外来	人	1.9	2.0	2.3
	事務・技術職員等	人	7.0	7.6	8.0
	入院	人	3.1	3.3	3.4
	外来	人	3.9	4.3	4.6
職員一人一日当たり診療収入	入院	円	2万4,788	2万4,731	2万6,533
	外来	円	1万　688	1万1,102	1万2,702

（注）　職員数の実数は，各年度末現在の数値であり，指定管理者である（社）広島市医師会

平成21年度	平成20年度	指			数	
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
127	126	108.7	105.6	102.4	100.8	100
10	10	100.0	100.0	100.0	100.0	100
15	15	120.0	100.0	106.7	100.0	100
79	77	110.4	107.8	102.6	102.6	100
9	9	111.1	111.1	88.9	100.0	100
14	15	93.3	100.0	106.7	93.3	100
35	23	126.1	134.8	143.5	152.2	100
7.1	7.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100
10.7	10.7	120.6	100.0	106.5	100.0	100
56.4	55.0	110.4	107.8	102.5	102.5	100
6.4	6.4	110.9	110.9	89.1	100.0	100
10.0	10.7	93.5	100.0	106.5	93.5	100
90.7	90.0	108.8	105.6	102.3	100.8	100
32.0	30.9	95.5	97.4	103.2	103.6	100
13.5	13.7	96.4	95.6	98.5	98.5	100
18.5	17.2	94.8	98.8	107.0	107.6	100
4.0	4.0	87.5	90.0	100.0	100.0	100
1.7	1.8	88.9	88.9	94.4	94.4	100
2.3	2.2	86.4	90.9	104.5	104.5	100
8.5	7.9	88.6	96.2	101.3	107.6	100
3.6	3.5	88.6	94.3	97.1	102.9	100
4.9	4.4	88.6	97.7	104.5	111.4	100
2万6,957	2万7,784	89.2	89.0	95.5	97.0	100
1万2,575	1万2,119	88.2	91.6	104.8	103.8	100

の職員を含む。

資料　2

損　益　計　算　書

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収益	1　医業収益	16	8201	1240	16	4276	1476	17	2451	2187
	(1)　入院収益	12	3950	2151	12	0387	9284	12	4932	9689
	(2)　外来収益	3	5436	1957	3	6028	9932	3	9980	7038
	(3)　その他医業収益		8814	7132		7859	2260		7537	5460
	ア　室料差額収益		3530	4762		3448	8571		3210	5905
	イ　公衆衛生活動収益		3399	9612		2726	5240		2231	1542
	ウ　一般会計負担金		1563	7782		1340	0349		1738	6099
	エ　その他医業収益		320	4976		343	8100		357	1914
	2　医業外収益	1	1840	0358	1	2411	4286	1	3273	4804
	(1)　受取利息配当金		3	5676		2	9177		3	9440
	(2)　補助金		291	3000		231	0000		110	0000
	(3)　負担金交付金		7358	5814		7390	5675		7757	3698
	(4)　その他医業外収益		4186	5868		4786	9434		5402	1666
	3　特別利益			105		242	8428		115	5706
	(1)　過年度損益修正益			105		242	8428		115	5706
	合計	18	0041	1703	17	6930	4190	18	5840	2697
費用	1　医業費用	18	3463	6207	18	0259	3363	18	8711	8118
	(1)　給与費		980	8696		986	6830		951	6111
	(2)　材料費			—			—			—
	(3)　経費	17	4532	8635	17	0543	2760	17	8406	1380
	(4)　減価償却費		7919	1856		8608	7690		9347	2535
	(5)　資産減耗費		30	7020		120	6083		6	8092
	(6)　研究研修費			—			—			—
	2　医業外費用		3699	4648		3865	2598		4005	7975
	(1)　支払利息及び企業債取扱諸費		3699	4648		3865	2598		4005	7975
	3　特別損失		1663	9217		1193	6508		303	8102
	(1)　固定資産売却損		1563	9096			—			—
	(2)　過年度損益修正損		100	0121		1193	6508		303	8102
	合計	18	8827	0072	18	5318	2469	19	3021	4195
当年度純利益(△純損失)		△	8785	8369	△	8387	8279	△	7181	1498

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			構成比					指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円	%	%	%	%	%					
17	2164	5341	17	2298	9999	93.4	92.8	92.8	91.2	91.0	97.6	95.3	100.1	99.9	100
12	4959	7328	12	7777	7742	68.8	68.0	67.2	66.2	67.5	97.0	94.2	97.8	97.8	100
3	8967	6488	3	7106	3984	19.7	20.4	21.5	20.6	19.6	95.5	97.1	107.7	105.0	100
	8237	1525		7414	8273	4.9	4.4	4.1	4.4	3.9	118.9	106.0	101.7	111.1	100
	3268	4762		3629	1619	2.0	1.9	1.7	1.7	1.9	97.3	95.0	88.5	90.1	100
	2742	5233		1577	0986	1.9	1.5	1.2	1.5	0.8	215.6	172.9	141.5	173.9	100
	1877	8673		1868	1634	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0	83.7	71.7	93.1	100.5	100
	348	2857		340	4034	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	94.2	101.0	104.9	102.3	100
1	6582	7910	1	7123	9141	6.6	7.0	7.1	8.8	9.0	69.1	72.5	77.5	96.8	100
	6	0513		33	4898	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	8.7	11.8	18.1	100
	159	6000			—	0.2	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—
	8628	5027		8551	6409	4.1	4.2	4.2	4.6	4.5	86.0	86.4	90.7	100.9	100
	7788	6370		8538	7834	2.3	2.7	2.9	4.1	4.5	49.0	56.1	63.3	91.2	100
	14	2185		2	6868	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	9038.4	4301.4	529.2	100
	14	2185		2	6868	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	9038.4	4301.4	529.2	100
18	8761	5436	18	9425	6008	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.0	93.4	98.1	99.6	100
18	9632	0914	18	9856	3943	97.2	97.3	97.8	97.5	97.5	96.6	94.9	99.4	99.9	100
	1001	3739		1002	1476	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	97.9	98.5	95.0	99.9	100
	86	3630			—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—
17	8841	8434	17	8700	8739	92.4	92.0	92.4	92.0	91.8	97.7	95.4	99.8	100.1	100
	9702	5111	1	0147	2819	4.2	4.6	4.8	5.0	5.2	78.0	84.8	92.1	95.6	100
		—		5	1975	0.0	0.1	0.0	—	0.0	590.7	2320.5	131.0	—	100
		—			8934	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	100
	4152	3596		4244	6277	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2	87.2	91.1	94.4	97.8	100
	4152	3596		4244	6277	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2	87.2	91.1	94.4	97.8	100
	623	5224		655	4509	0.9	0.6	0.2	0.3	0.3	253.9	182.1	46.4	95.1	100
		—			—	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	623	5224		655	4509	0.1	0.6	0.2	0.3	0.3	15.3	182.1	46.4	95.1	100
19	4407	9734	19	4756	4729	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.0	95.2	99.1	99.8	100
△	5646	4298	△	5330	8721	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料　3

資　本　的　収　支

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
収入	資本的収入									
	(1) 企業債		1820	0000		2770	0000		4860	0000
	(2) 出資金		6327	7458		5846	7002		5530	2879
	(3) 補助金			―			―			―
	(4) 負担金		137	3206		126	6568		119	6688
	(5) 固定資産売却代金		1662	8656			―			―
	合計（A）		9947	9320		8743	3570	1	0509	9567
支出	資本的支出									
	(1) 建設改良費		3494	9399		2776	5612		4865	3325
	(2) 企業債償還金	1	1033	0241	1	0099	5618		9497	3518
	(3) 出資金			―			―			―
	合計（B）	1	4527	9640	1	2876	1230	1	4362	6843
収支差引額（A－B）		△	4580	0320	△	4132	7660	△	3852	7276
補塡財源等	(1) 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		7	5567		5	6359		8	0475
	(2) 過年度分損益勘定留保資金		2912	4753		4127	1301		3844	6801
	(3) 同意済企業債未発行分		1660	0000			―			―
	合計		4580	0320		4132	7660		3852	7276

(注)　金額は，消費税及び地方消費税相当分を含んだものである。

年　度　比　較　表

平成21年度	平成20年度	指数				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億　万　円	万　円					
2570 0000	2280 0000	79.8	121.5	213.2	112.7	100
5665 5529	4081 4839	155.0	143.2	135.5	138.8	100
216 0000	—	—	—	—	—	—
166 7853	135 4072	101.4	93.5	88.4	123.2	100
—	—	—	—	—	—	—
8618 3382	6496 8911	153.1	134.6	161.8	132.7	100
2802 6061	2209 8433	158.2	125.6	220.2	126.8	100
9785 4173	6652 2862	165.9	151.8	142.8	147.1	100
—	80 0000	—	—	—	—	100
1 2588 0234	8942 1295	162.5	144.0	160.6	140.8	100
△ 3969 6852	△ 2445 2384	187.3	169.0	157.6	162.3	100
4 9351	3 5466	—	—	—	—	—
3964 7501	2441 6918	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
3969 6852	2445 2384	—	—	—	—	—

資料　4

貸　借　対　照　表

科目		平成24年度			平成23年度			平成22年度		
		億	万	円	億	万	円	億	万	円
資産	1　固定資産	27	5693	8677	28	3383	1473	28	9722	2759
	(1) 有形固定資産	27	5613	8677	28	3303	1473	28	9642	2759
	ア 土地	12	2873	2248	12	6100	0000	12	6100	0000
	イ 立木		38	7450		38	7450		38	7450
	ウ 建物	14	7200	2039	14	6605	9215	14	6605	9215
	減価償却累計額	△ 3	3734	5065	△ 3	0093	5419	△ 2	6452	5773
	年度末償却未済高	11	3465	6974	11	6512	3796	12	0153	3442
	エ 構築物	4	4176	2460	4	3104	4137	4	3104	4137
	減価償却累計額	△ 1	7789	9481	△ 1	5924	8487	△ 1	4059	7493
	年度末償却未済高	2	6386	2979	2	7179	5650	2	9044	6644
	オ 医療機器	4	5526	6794	4	4073	8604	4	2434	6637
	減価償却累計額	△ 3	3508	0010	△ 3	1311	3616	△ 2	8815	0156
	年度末償却未済高	1	2018	6784	1	2762	4988	1	3619	6481
	カ 備品		2600	2704		2338	3329		2243	1099
	減価償却累計額	△	1823	2271	△	1704	9003	△	1694	9615
	年度末償却未済高		777	0433		633	4326		548	1484
	キ 車両		438	2643		438	2643		456	0619
	減価償却累計額	△	384	0834	△	361	7380	△	318	3361
	年度末償却未済高		54	1809		76	5263		137	7258
	(2) 投資		80	0000		80	0000		80	0000
	ア その他投資		80	0000		80	0000		80	0000
	2　流動資産	5	1021	7529	5	4086	0560	5	1356	7162
	(1) 現金預金	1	7823	3017	1	7333	8035	1	9851	9020
	(2) 未収金	3	3198	4512	3	6752	2525	3	1504	8142
	(3) その他流動資産			—			—			—
資産合計		32	6715	6206	33	7469	2033	34	1078	9921
負債・資本	3　流動負債	1	2784	9462	1	2004	7343	1	1489	8138
	(1) 未払金	1	2521	6832		9741	0760	1	0300	1689
	(2) その他流動負債		263	2630		2263	6583		1189	6449
	ア 預り金		263	2630		2263	6583		1189	6449
負債合計		1	2784	9462	1	2004	7343	1	1489	8138
	4　資本金	24	0602	6447	24	3487	9230	24	4970	7846
	(1) 自己資本金	4	2639	6277	3	6311	8819	3	0465	1817
	(2) 借入資本金	19	7963	0170	20	7176	0411	21	4505	6029
	ア 企業債	19	3772	1437	20	2985	1678	21	0314	7296
	イ 他会計借入金		4190	8733		4190	8733		4190	8733
	5　剰余金	4	5328	0297	5	3976	5460	6	2618	3937
	(1) 資本剰余金	10	0173	1690	10	0035	8484	10	0289	8682
	ア 補助金	1	3713	6000	1	3713	6000	1	3713	6000
	イ 受贈財産評価額	8	5608	5896	8	5608	5896	8	5989	2662
	ウ その他資本剰余金		850	9794		713	6588		587	0020
	(2) 利益剰余金(△欠損金)	△ 5	4845	1393	△ 4	6059	3024	△ 3	7671	4745
	ア 当年度未処分利益剰余金(△当年度未処理欠損金)	△ 5	4845	1393	△ 4	6059	3024	△ 3	7671	4745
資本合計		28	5930	6744	29	7464	4690	30	7589	1783
負債・資本合計		29	8715	6206	30	9469	2033	31	9078	9921

年　度　比　較　表

平成21年度			平成20年度			指数				
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
億	万	円	億	万	円					
29	4225	8628	30	1130	7029	91.6	94.1	96.2	97.7	100
29	4145	8628	30	1050	7029	91.6	94.1	96.2	97.7	100
12	6100	0000	12	6100	0000	97.4	100.0	100.0	100.0	100
	38	7450		38	7450	100.0	100.0	100.0	100.0	100
14	6605	9215	14	6605	9215	100.4	100.0	100.0	100.0	100
△ 2	2811	6127	△ 1	9170	6481	176.0	157.0	138.0	119.0	100
12	3794	3088	12	7435	2734	89.0	91.4	94.3	97.1	100
4	2391	5947	4	1815	1430	105.6	103.1	103.1	101.4	100
△ 1	2211	2274	△ 1	0364	7407	171.6	153.6	135.6	117.8	100
3	0180	3673	3	1450	4023	83.9	86.4	92.4	96.0	100
3	8317	3387	3	6195	2836	125.8	121.8	117.2	105.9	100
△ 2	5173	9516	△ 2	1172	3490	158.3	147.9	136.1	118.9	100
1	3143	3871	1	5022	9346	80.0	85.0	90.7	87.5	100
	2229	5873		2229	5873	116.6	104.9	100.6	100.0	100
△	1548	8294	△	1390	1538	131.2	122.6	121.9	111.4	100
	680	7579		839	4335	92.6	75.5	65.3	81.1	100
	456	0619		356	8977	122.8	122.8	127.8	127.8	100
△	247	7652	△	192	9836	199.0	187.4	165.0	128.4	100
	208	2967		163	9141	33.1	46.7	84.0	127.1	100
	80	0000		80	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	80	0000		80	0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100
3	4422	7562	3	6100	4912	141.3	149.8	142.3	95.4	100
	2316	5587		675	7009	2637.8	2565.3	2938.0	342.8	100
3	2106	1975	3	5414	9233	93.7	103.8	89.0	90.7	100
		—		9	8670	—	—	—	—	100
32	8648	6190	33	7231	1941	96.9	100.1	101.1	97.5	100
1	4884	0866	1	6653	1528	76.8	72.1	69.0	89.4	100
1	3952	4536	1	4643	2423	85.5	66.5	70.3	95.3	100
	931	6330		2009	9105	13.1	112.6	59.2	46.4	100
	931	6330		2009	9105	13.1	112.6	59.2	46.4	100
1	4884	0866	1	6653	1528	76.8	72.1	69.0	89.4	100
24	4077	8485	24	5627	7129	98.0	99.1	99.7	99.4	100
2	4934	8938	1	9269	3409	221.3	188.4	158.1	129.4	100
21	9142	9547	22	6358	3720	87.5	91.5	94.8	96.8	100
21	4952	0814	22	2167	4987	87.2	91.4	94.7	96.8	100
	4190	8733		4190	8733	100.0	100.0	100.0	100.0	100
6	9686	6839	7	4950	3284	60.5	72.0	83.5	93.0	100
10	0177	0086	9	9794	2233	100.4	100.2	100.5	100.4	100
1	3713	6000	1	3497	6000	101.6	101.6	101.6	101.6	100
8	5996	0754	8	5996	0754	99.5	99.5	100.0	100.0	100
	467	3332		300	5479	283.1	237.5	195.3	155.5	100
△ 3	0490	3247	△ 2	4843	8949	220.8	185.4	151.6	122.7	100
△ 3	0490	3247	△ 2	4843	8949	220.8	185.4	151.6	122.7	100
31	3764	5324	32	0578	0413	89.2	92.8	95.9	97.9	100
32	8648	6190	33	7231	1941	88.6	91.8	94.6	97.5	100

資料　5

経　営　分　析　比　率

区　　分	単位	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1　収益性に関する項目						
医業収支比率 (医業収益／医業費用 ×１００)	%	91.7	91.1	91.4	90.8	90.8
経常収支比率 (経常収益／経常費用 ×１００)	%	96.2	96.0	96.4	97.4	97.6
総収支比率 (総収益／総費用 ×１００)	%	95.3	95.5	96.3	97.1	97.3
自己資本回転率 (医業収益／自己資本)	回	1.89	1.79	1.84	1.82	1.82
総資本回転率 (医業収益／総資本)	回	0.55	0.52	0.53	0.52	0.51
医業収益医業利益率 (医業利益／医業収益 ×１００)	%	△ 9.1	△ 9.7	△ 9.4	△ 10.1	△ 10.2
2　安全性に関する項目						
固定資産構成比率 (固定資産／総資産 ×１００)	%	84.4	84.0	84.9	89.5	89.3
自己資本構成比率 (自己資本／総資本 ×１００)	%	29.4	29.2	29.2	28.8	27.9
固定長期適合率 (固定資産／長期資本 ×１００)	%	96.4	95.3	94.2	93.8	93.9
3　流動性に関する項目						
流動比率 (流動資産／流動負債 ×１００)	%	399.1	450.5	447.0	231.3	216.8
4　収益に対する割合に関する項目						
給与費対医業収益 (給与費／医業収益 ×１００)	%	54.7	55.6	52.0	48.6	48.9
5　許可病床１床当たりに関する項目						
１床当たり医業収益 (医業収益／許可病床数)	千円	12,014	11,734	12,318	12,297	12,307
１床当たり自己資本 (自己資本／許可病床数)	千円	6,366	6,549	6,704	6,744	6,770
１床当たり総資本 (総資本／許可病床数)	千円	21,721	22,448	23,133	23,781	24,146

年　度　比　較　表

(A) - (B)	備	考
0.6	医療活動に要する費用が，医療活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　経常収益＝医業収益＋医業外収益 2　経常費用＝医業費用＋医業外費用 3　総収益＝経常収益＋特別利益 4　総費用＝経常費用＋特別損失 5　医業利益＝医業収益－医業費用 6　自己資本＝自己資本金＋剰余金 7　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
0.2	通常の事業活動に要する費用が，通常の事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。比率が高いほど良いとされている。	
△ 0.2	事業活動に要する費用が，事業活動から生じる収益でどの程度賄われているかを示す指標である。病院が純利益をあげるためには総収益が総費用を上回る必要がある。	
0.10	自己資本の利用度を示すものである。比率が高いほど自己資本の利用度が高いことを表す。	
0.03	総資本に対しどれだけの医業収益が得られたかを示すものである。比率が高いほど総資本が効率的に使われていることを表す。	
0.6	医療活動から生じる収益のうち，利益となるものの割合を示す指標である。比率が高いほど収益性が高いことを表す。	
0.4	総資産に占める固定資産の割合を示すものである。比率が高いほど資本が固定化の傾向にあることを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　総資産＝固定資産＋流動資産＋繰延勘定 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 4　長期資本＝自己資本＋固定負債（借入資本金を含む。）
0.2	総資本に対する自己資本の比率である。比率が高いほど病院経営が健全であることを表す。	
1.1	固定資産が自己資本と固定負債（借入資本金を含む。）の合計額（長期資本）でどの程度賄われているかを示す。100%以下が望ましいとされている。	
△ 51.4	流動負債に対する流動資産の比率であり，短期債務に対する支払能力を示すものである。100%以上であることが必要である。	
△ 0.9	職員給与費が，医業収益の何%に当たるかをみる比率である。	1　給与費（退職に係る費用を除く。）は，指定管理者である（社）広島市医師会が作成し広島市に提出した管理運営業務の収支決算書に基づき算出したものである。
280	許可病床１床当たりの医業収益の額を示す指標であり，多いほうが１病床の効率性が高いことを表す。	＊算式に用いた用語は次のとおりである。 1　許可病床数は，各年度末現在の数値であり，一般病床及び療養病床を合計した数値である。 2　自己資本＝自己資本金＋剰余金 3　総資本＝資本＋負債 ＊自己資本及び総資本は，平均値(平均値＝(期首＋期末)×１／２)である。
△ 183	高い金額は，資本投下額の多いことを表している。許可病床１床当たりの自己資本の額を示すが，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	
△ 727	許可病床１床当たりの総資本の投下効率を示すが，１床当たり自己資本と同様，１床当たり医業収益との関連で見ていく指標である。	